
豊見城市都市計画マスタープラン

基礎的調査報告書

平成 27 年 3 月
豊見城市

目 次

第1章 都市計画マスタープランの改定について.....	1
1-1 改定の必要性.....	1
1-2 改定のポイント.....	2
第2章 都市構造上の課題の整理.....	7
2-1 本市の基本的な状況.....	7
2-2 これまでの都市計画施策とその成果.....	12
2-3 都市構造に係る現況の整理.....	13
2-4 市民アンケート結果の整理.....	31
2-5 都市構造上の課題の整理.....	45
第3章 都市づくりの目標.....	47
3-1 都市の将来像.....	47
巻末資料	
巻末-1 アンケート調査結果（単純集計）.....	51
巻末-2 有識者ヒアリング結果.....	80

第1章 都市計画マスタープランの改定について

1-1 改定の必要性

平成21年3月に「豊見城市都市計画マスタープラン」(以下、「現行都市マス」という。)を策定して以降、県の沖縄21世紀ビジョンや都市計画区域マスタープラン、本市の第4次豊見城市総合計画、第4次豊見城市国土利用計画など、上位・関連計画が策定されており、また、新庁舎建設等のプロジェクトが進捗するなど、本市を取り巻く情勢は変化している。

都市計画マスタープランは本市の都市づくりの指針となるため、これらの情勢の変化を的確に捉え、現行都市マスの改定(以下、「改定都市マス」という。)を行う必要がある。

平成21年以降の本市の主な状況変化を以下に整理する。

図表 平成21年以降の主な状況変化

①上位・関連計画の策定

[沖縄県]

- 沖縄21世紀ビジョン(平成22年3月策定)
- 那覇広域都市計画区域マスタープラン(平成22年8月策定) 等

[豊見城市]

- 第4次豊見城市総合計画(平成23年3月策定)
- 第4次豊見城市国土利用計画(平成24年3月策定)
- 西海岸地区整備基本構想(平成25年2月策定)
- 中心市街地活性化計画検討調査(平成25年3月策定)
- 豊見城城址跡地利用基本計画(平成26年3月策定) 等

②プロジェクトの着手・完了

- 国際物流特区(平成26年6月指定)
- 新庁舎建設事業(平成26年度基本構想および基本計画策定中)
- 西海岸地区活性化事業(平成26年度着手)
- 沖縄西海岸道路 豊見城道路・糸満道路(平成27年度全線開通予定)
- 東風平豊見城線(平成30年度事業完了予定)
- 那覇空港第2滑走路増設(平成31年度事業完了予定)
- 那覇空港自動車道 豊見城・名嘉地IC~那覇空港IC(着手後概ね10年を目標) 等

1-2 改定のポイント

沖縄県の中南部都市圏では 21 世紀ビジョンの策定以降、本市を取り巻く情勢は変化している。この変化に対応していくためには、豊見城市として独自ビジョンを定め、どのような取り組みを行い、いかに地域の特性を活かした都市形成を図っていくかを考えていく必要がある。さらには、県都那覇市の隣接都市として、県内の広域的な役割や価値を見出していくことが重要である。

そこで、「①市の自立性・求心力を高める都市づくり」と「②広域都市圏の一体的な発展に貢献する都市づくり」を大きなテーマとして、将来都市構造や具体的な取り組みを改定都市マスに反映する。

【都市づくりの基本方向】

テーマ①「市の自立性・求心力を高める都市づくり」

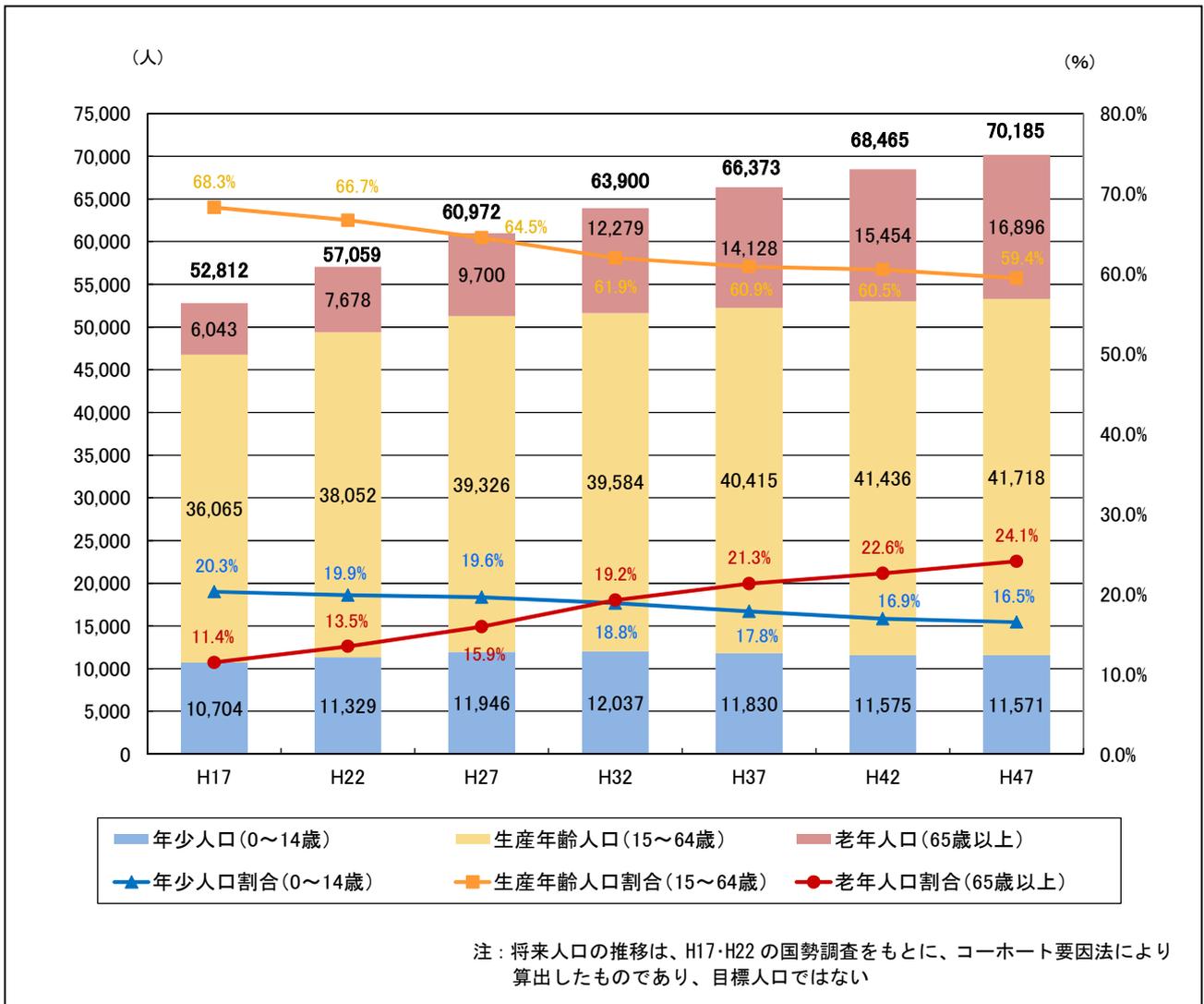
《人口増加への対応》

全国的に人口減少時代に突入しているなか、本市においては、依然として人口増加（国勢調査 H12～H22 期間の 10 年で約 7,500 人増加）の傾向にある。また、将来人口の推移をみると、今後もしばらくは人口増加が続くものの、少子・高齢化の進展が予想される。

第 4 次豊見城市総合計画では、このような見通しを踏まえつつ、各種施策を推進することで、人口推計を上回る目標（平成 32 年：70,000 人）を掲げており、今後も住宅需要の受け皿づくりを進める必要がある。さらに、少子・高齢社会に対応すべく、若者世代の定住促進や高齢者にやさしい都市づくりを進めていく必要がある。

平成 32 年の目標人口 **70,000 人**

図表 将来人口の推移

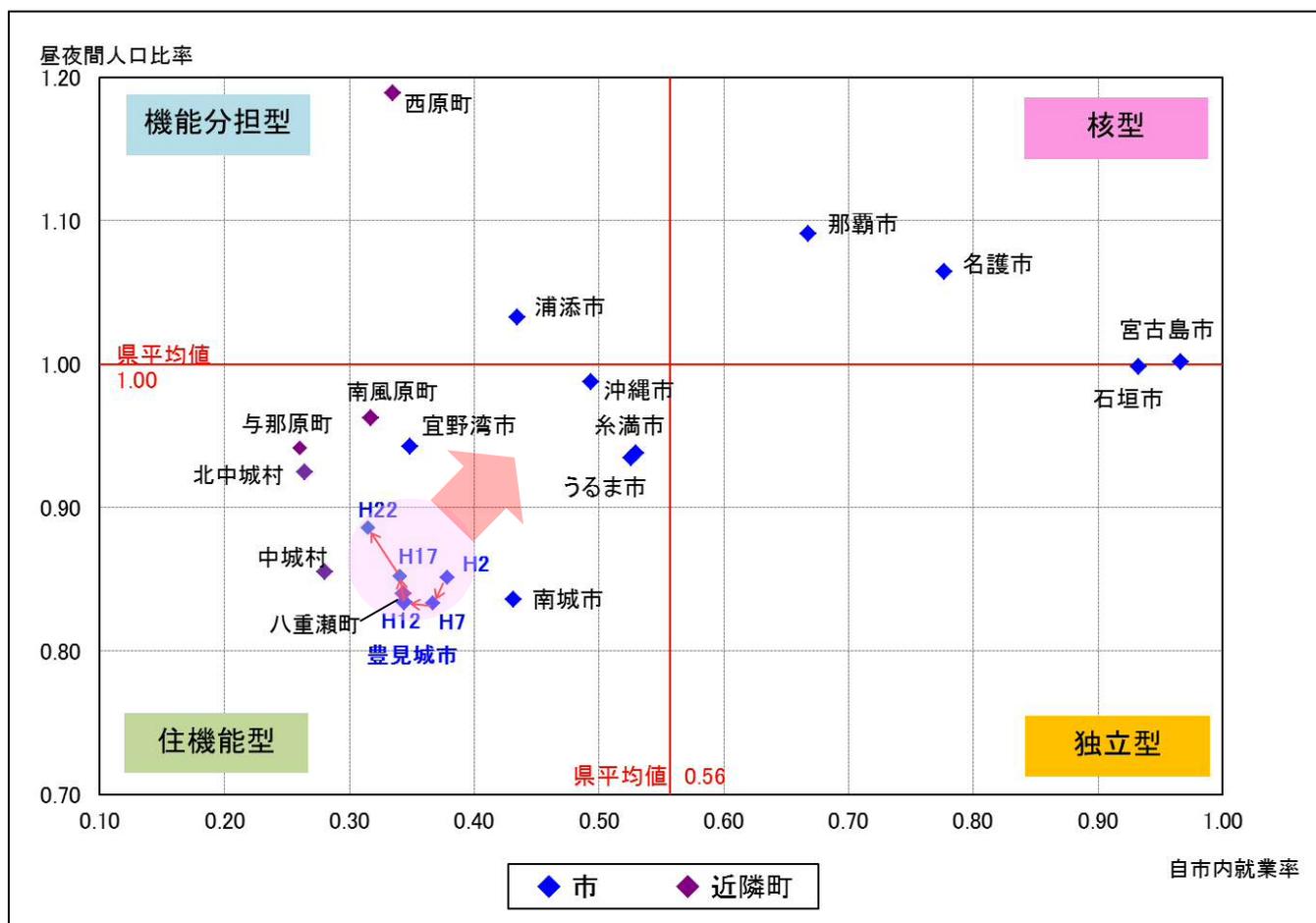


《市の自立性・求心力の向上》

本市は、豊崎地区の新市街地の形成により、人口増加など都市として着実に成長している。しかしながら、就業面や商業面で那覇市等の周辺都市への依存度が高く、市としての経済的な自立性や求心力は低い状況にある。

そのため、都市構造の課題を踏まえ、都市に不足する機能（就業、商業、公共交通 等）の確保などを通じ、職住近接による自立性・求心力を高める都市づくりを進める必要がある。

図表 自市内就業率と昼夜間人口比率の状況



[都市の性格]

核型：生活圏における中心都市として機能
 独立型：1都市である程度独立した生活圏を形成
 住機能型：周辺都市等の住宅都市として機能
 機能分担型：職等の機能に特化

資料：国勢調査

テーマ②「広域都市圏の一体的な発展に貢献する都市づくり」

《上位計画の位置づけ》

■都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（平成22年8月策定 沖縄県）

中南部都市圏の西海岸エリアを高次都市機能集積ゾーンとして位置づけている。また、沖縄市から糸満市までの軸状の都市圏を都市圏軸と位置づけ、交通軸の強化等により都市圏全体での連携と交流を深め、中南部都市圏として一体性を高めていくことが重要とされている。

本文記載内容

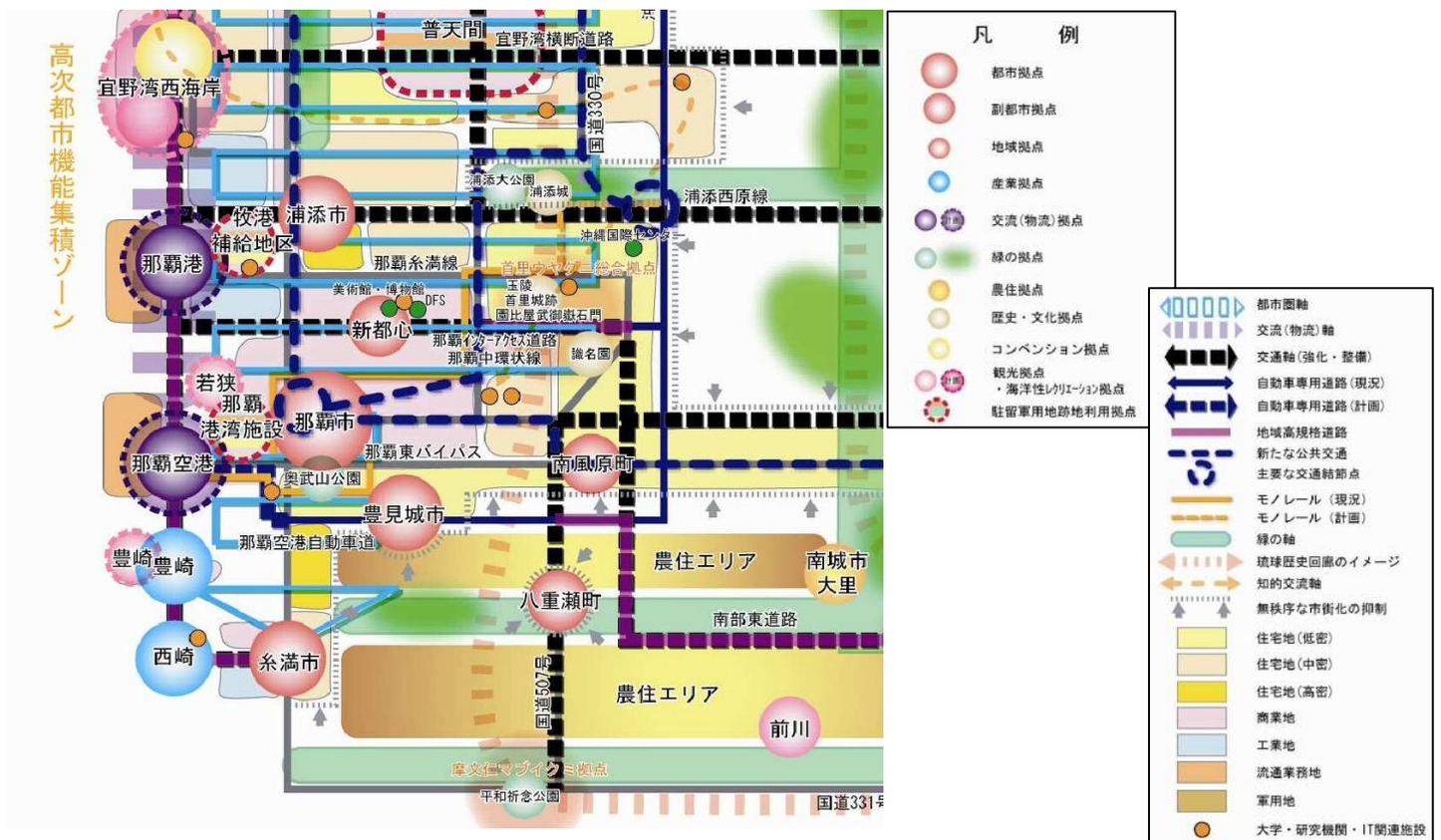
●将来都市構造

中南部都市圏においては、西海岸側を都市的土地利用が主体の高次都市機能集積ゾーン、東海岸側を緑地等の自然的土地利用が主体の自然環境共生ゾーンと位置づけ、将来においても、その都市構造を基本としつつ交通軸の強化等により、都市圏全体での連携と交流を深めていくことが重要といえます。さらに今後は、嘉手納基地より南の駐留軍用地の大規模返還を機に本島中南部においては、那覇市と沖縄市を中心とした2つの都市圏域が一体となった、長大な都市圏軸が形成されていくと予想されます。

そのため、この軸状に集積する現在の社会資本の蓄積を有効活用し、広域交通拠点の拡張整備を推進するとともに、普天間飛行場等駐留軍用地の跡地に新たな都市機能を配置するなど都市機能の偏在を是正しつつ、軸状都市圏構造のさらなる強化を図り、中南部都市圏の一体性を高めていくことが重要と考えられます。

また、沖縄自動車道、那覇空港自動車道、沖縄西海岸道路、国道58号、国道330号を基軸に、国道331号、中部縦貫道路等の南北交通軸とともに、南部東道路、那覇インターアクセス道路、浦添西原線、宜野湾横断道路等の東西交通軸を強化して、各拠点間の円滑な交流・連携と活発な都市活動を支える広域交通網を充実させていきます。

図表 将来都市構造付図 概念図



《広域的な連携の強化》

本市は、隣接する那覇市の市街地拡大に伴い住宅地が形成され、住宅都市として発展してきた。今後も人口増加が予想されており、住宅需要を受け止める住宅都市として、広域的にも重要な役割を担っている。一方、西海岸地域は、沖縄西海岸道路や那覇空港自動車道の開通（一部暫定）を契機として、産業や物流機能等の高次都市機能の集積が進んでいる。豊崎地区等の西海岸地域は、広域交流により活力を創出する場として重要な地域である。

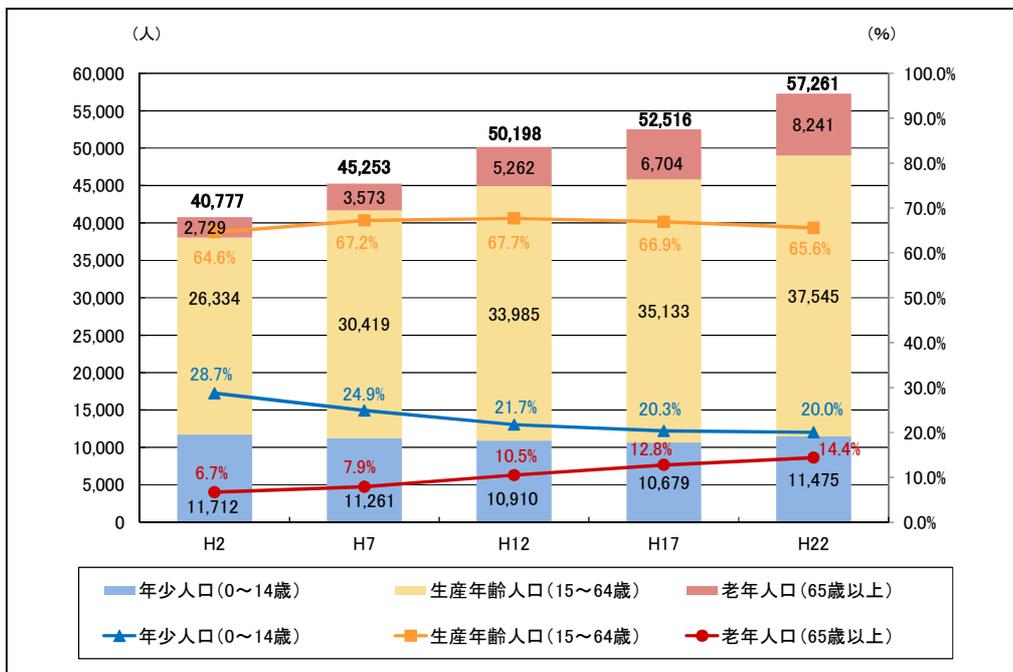
そのため、本市では、これらの地理的優位性を活かし、広域的な視点に立った都市づくりをより一層進めていく必要がある。

第2章 都市構造上の課題の整理

2-1 本市の基本的な状況

- ①居住人口
 - H22 総人口は 57,261 人で、H17 から約 9%増加
 - H22 人口構成は、0～14 歳が 20%、15～64 歳が 66%、65 歳以上が 14%で、県平均（18%、65%、17%）に比べて少子高齢化は進んでいない

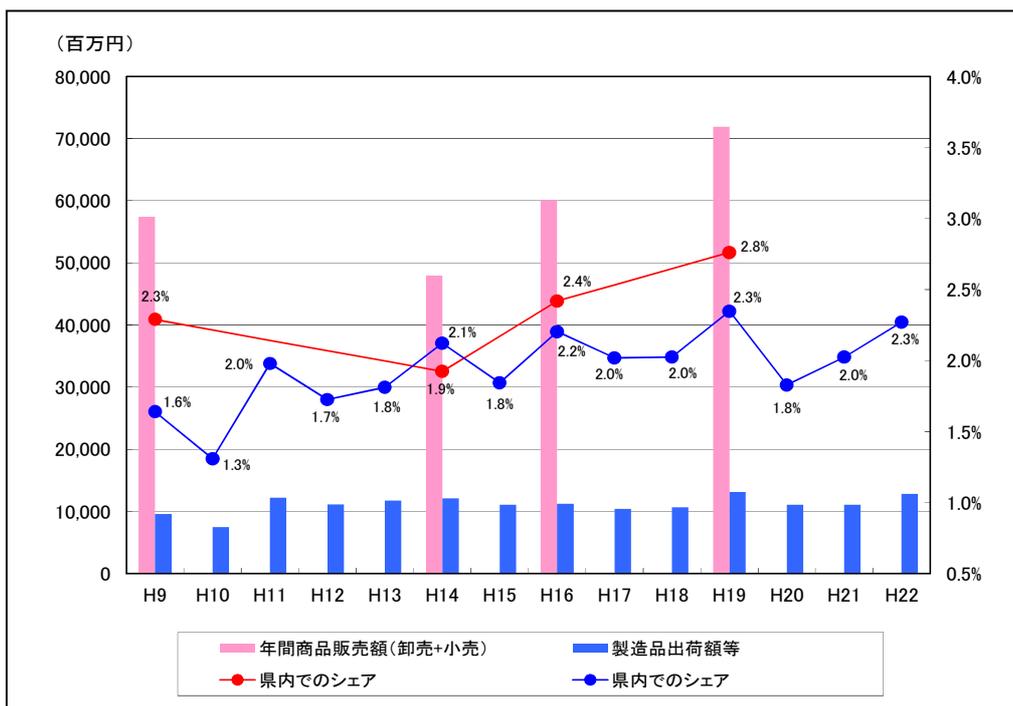
図表 人口の推移



資料：国勢調査

- ②商工業
 - 年間商品販売額は 700 億円、製造品出荷額は 100 億円程度の産業規模。県内シェアは年間商品販売額・製造品出荷額ともに 5%以下であるが若干の増加傾向

図表 年間商品販売額と製造品出荷額等の状況



資料：国勢調査
工業統計

③就業構造

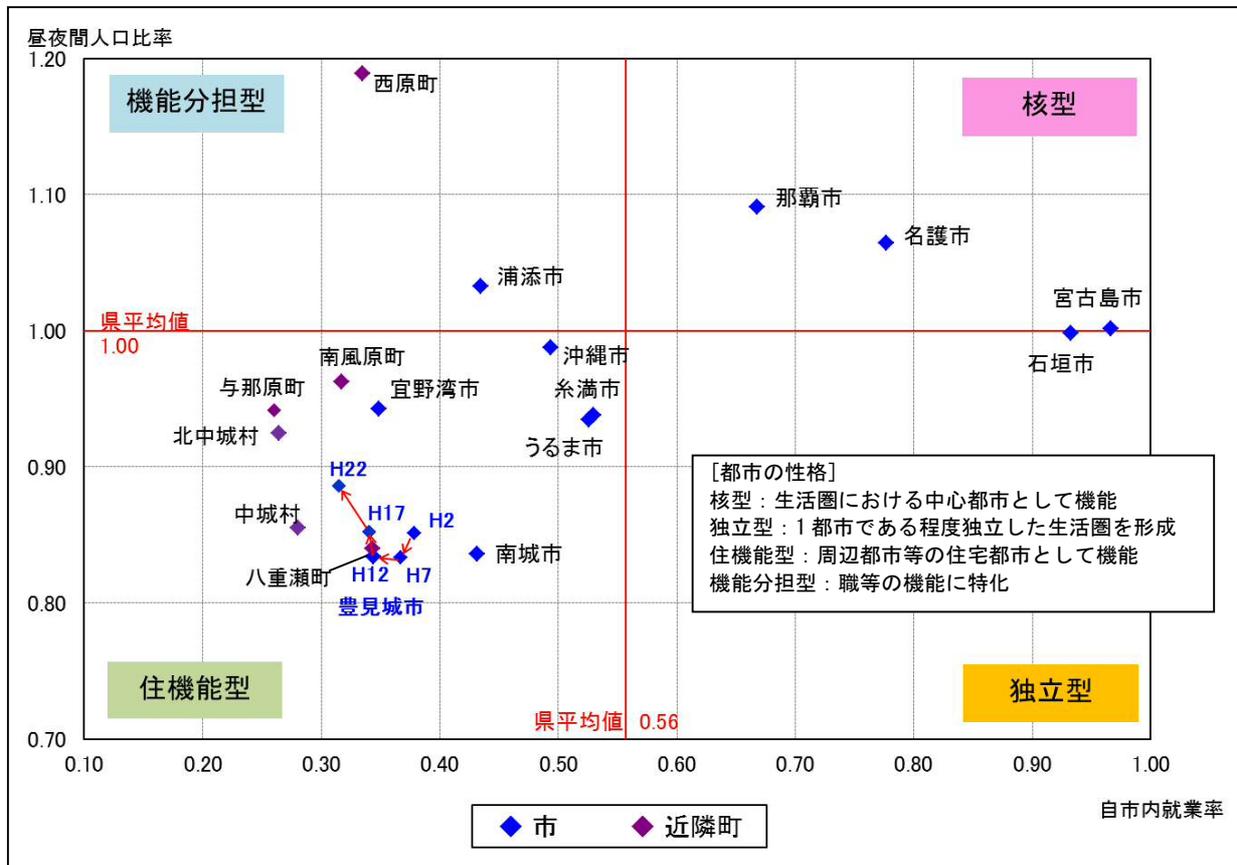
- H22 就業者数は、24,666人でH17と比べて9%増加
- H22 就業者構成は、1次産業が3.7%、2次産業が12.2%、3次産業が74.8%、県平均(5.0%、14.0%、72.3%)に比べて1次・2次の割合は小さく、3次の割合は大きい。H17と比べて1次・2次は1%・2.7%減少、3次は4.2%減少
- 都市の性格は住機能型に分類され、県全体からみて、求心力は高くない

図表 産業人口の推移

区分	種別	平成17年		平成22年	
		人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
豊見城市	第1次産業	1,072	4.7%	912	3.7%
	第2次産業	3,377	14.9%	3,003	12.2%
	第3次産業	17,892	79.0%	18,439	74.8%
	分類不能	313	1.4%	2,312	9.4%
	合計	22,654	100.0%	24,666	100.0%
沖縄県	第1次産業	32,873	5.9%	28,713	5.0%
	第2次産業	91,358	16.3%	81,142	14.0%
	第3次産業	427,738	76.3%	418,321	72.3%
	分類不能	8,508	1.5%	50,462	8.7%
	合計	560,477	100.0%	578,638	100.0%

資料：国勢調査

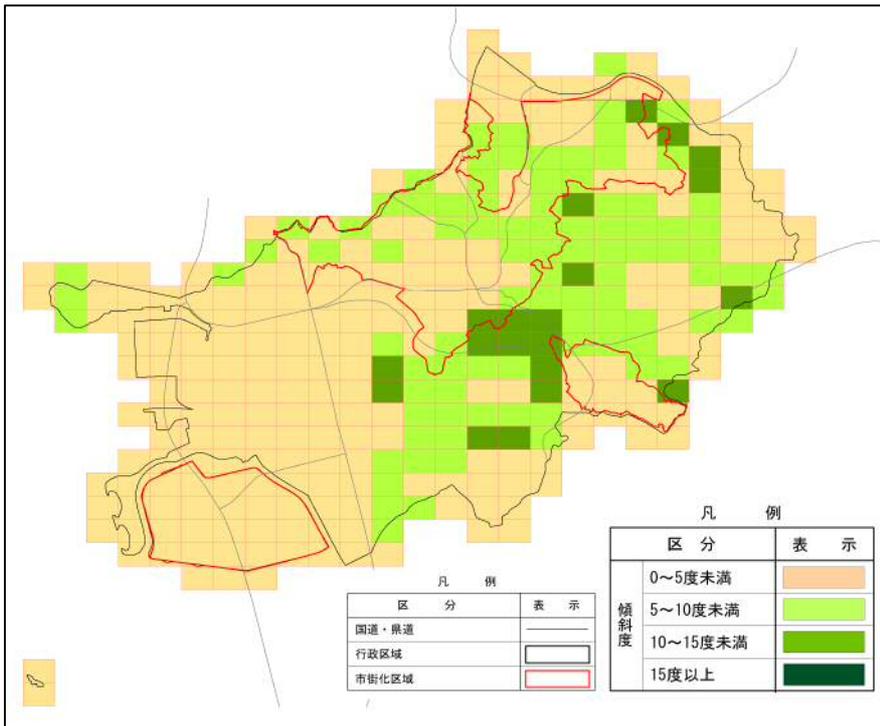
図表 自市内就業率と昼夜間人口比率の状況



④地形勾配

●地形的に開発が容易な土地は、市中央部、市西部、市南東部にまとまりをもって分布

図表 傾斜度



区分	特性
0～5度未満	都市開発一般に適する
5～10度未満	都市開発の限界
10～15度未満	都市開発不適
15度以上	都市開発不可

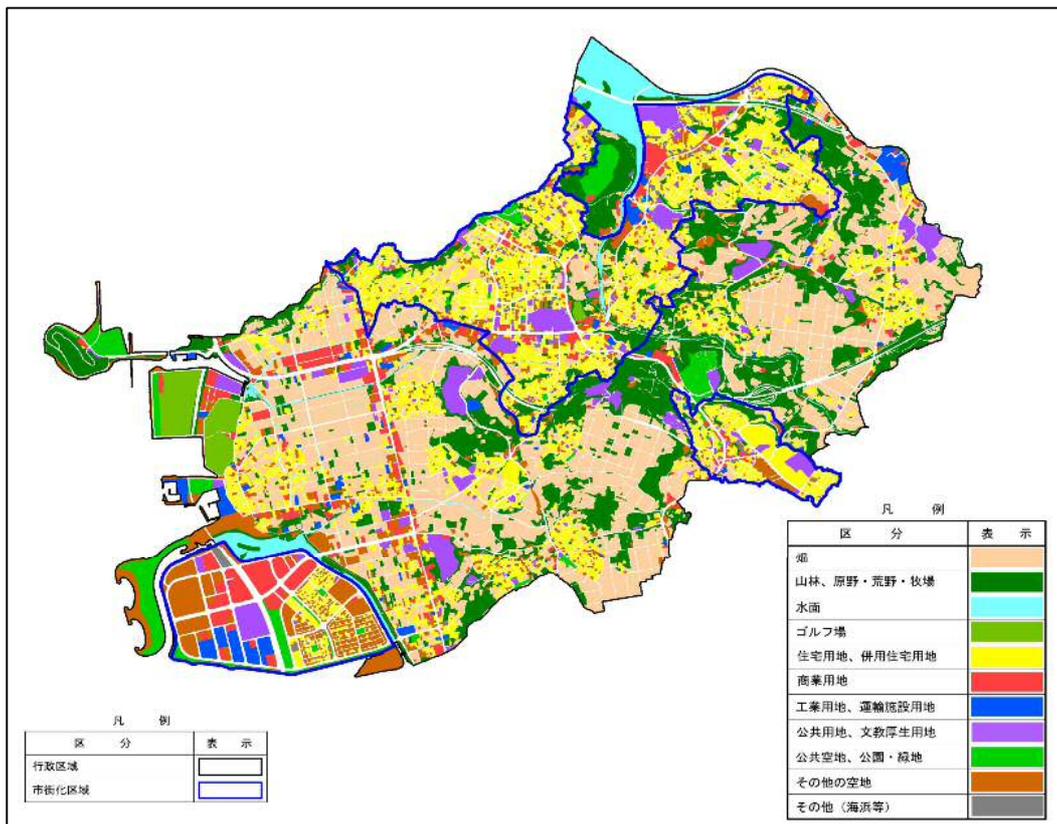
資料：都市の土地利用計画のたて方
(日本都市計画学会 昭和55年5月)

資料：国土数値情報の標高・傾斜度5次メッシュデータ（平成23年度 国土交通省）

⑤土地利用

●市街化区域内では、自然的土地利用（畑、山林、原野・荒野・牧場、水面、ゴルフ場）が16%
●住宅用地は市街化区域内を中心にまとまりをもって広く分布、市街化調整区域においても小さなまとまりをもって各地に散在。商業用地は市全域で国県道沿道を中心に分布。工業用地は豊崎地区ではまとまりをもって分布、全体的には散在傾向

図表 土地利用現況



図表 土地利用現況

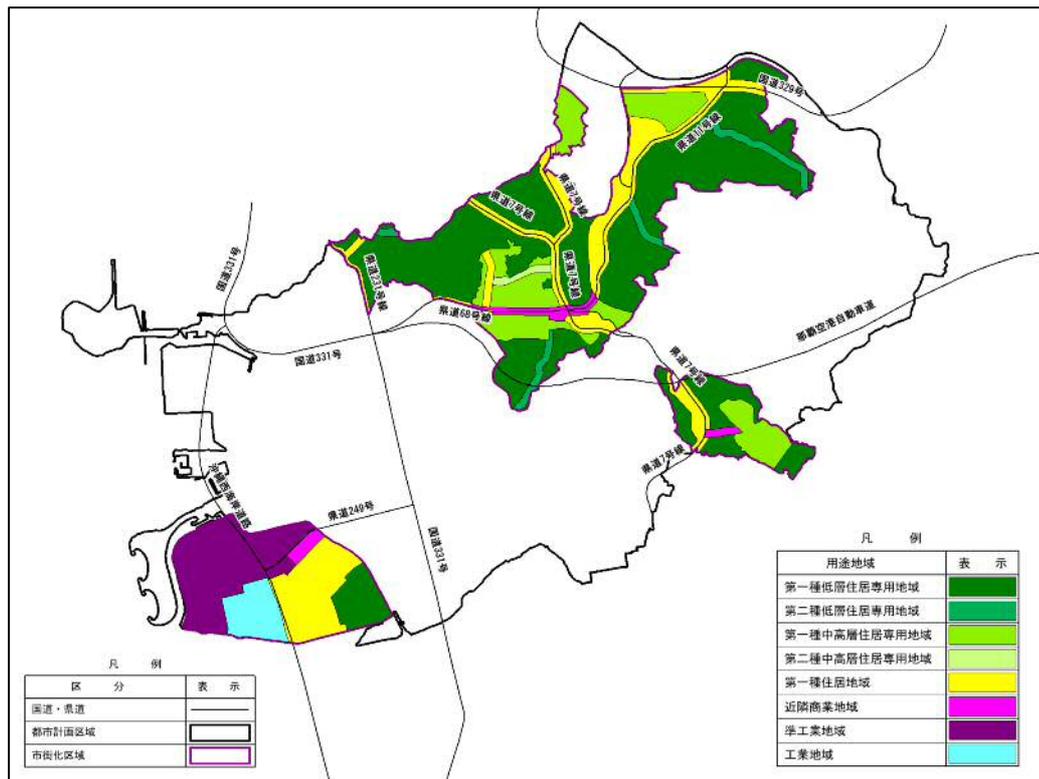
区分	市街化区域		市街化調整区域		合計	
	面積(ha)	割合	面積(ha)	割合	面積(ha)	割合
農地	40.4	6.7%	431.8	33.7%	472.2	25.0%
山林	31.8	5.2%	228.8	17.8%	260.6	13.8%
水面	3.2	0.5%	28.6	2.2%	31.8	1.7%
その他自然地	18.9	3.1%	97.6	7.6%	116.5	6.2%
宅地	252.7	41.7%	187.4	14.6%	440.2	23.3%
住宅用地	197.0	32.5%	126.5	9.9%	323.5	17.1%
商業用地	45.0	7.4%	44.2	3.4%	89.1	4.7%
工業用地	10.8	1.8%	16.8	1.3%	27.6	1.5%
公共・公益用地	57.8	9.5%	87.4	6.8%	145.1	7.7%
道路用地	111.0	18.3%	139.9	10.9%	251.0	13.3%
交通施設用地	3.5	0.6%	4.7	0.4%	8.2	0.4%
その他の公的施設用地	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
その他の空地	86.7	14.3%	75.8	5.9%	162.5	8.6%
計	606.0	100.0%	1282.1	100.0%	1888.1	100.0%

資料：H24 都市計画基礎調査

⑥土地利用規制
(都市計画法)

- 線引き都市計画が指定されており、都市計画区域内で市街化区域は30%
- 用途地域は、計8種・約589.3haの指定があり、住居系が83.8%、商業系が2.5%、工業系が13.8%

図表 都市計画法による土地利用規制の状況

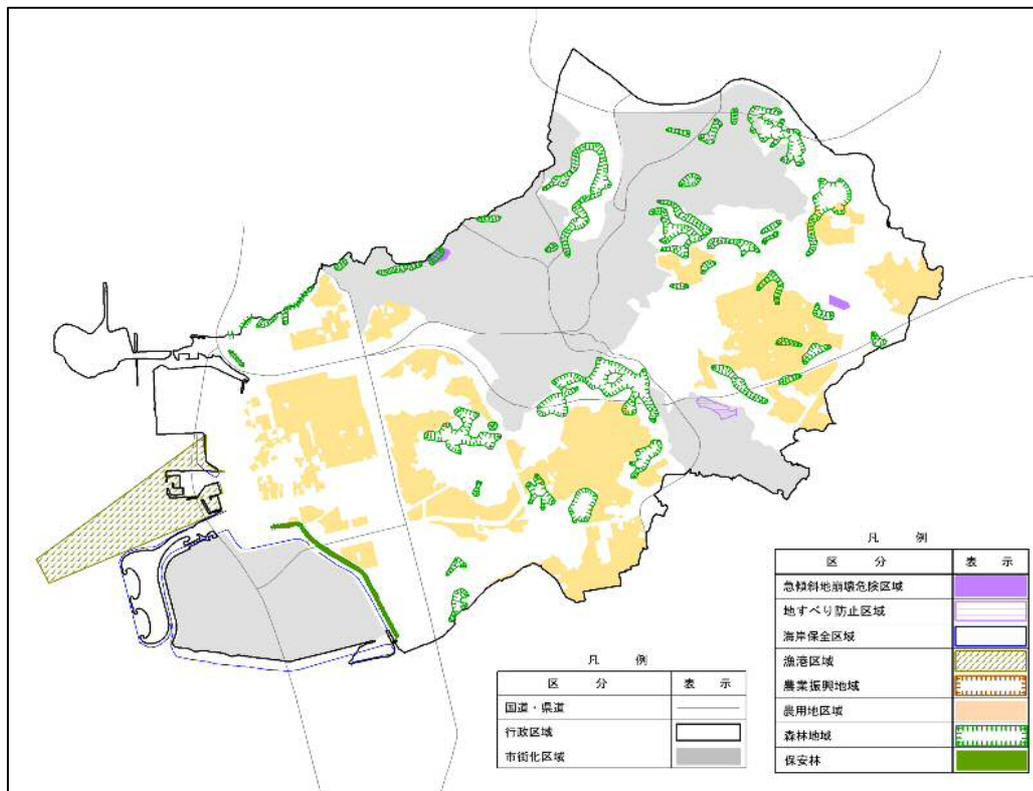


資料：H24 都市計画基礎調査

⑦土地利用規制
(その他)

- 開発を厳しく制限する農業振興地域農用地区域が市街化調整区域にま
まりをもって分布
- 一部の崖地で土砂災害に係る規制が分布
- 豊崎地区の東部で保安林（防風林）が分布

図表 都市計画法以外の主要な土地利用規制の状況



資料：H24 都市計画基礎調査

2-2 これまでの都市計画施策とその成果

平成 21 年の豊見城市都市計画マスタープラン（以下、「当初都市マス」という。）策定前後の主な都市計画施策とその成果を以下のとおり整理する。

図表 主な都市計画施策の実績とその成果

年度	都市計画施策	成果・期待される効果
H13	<ul style="list-style-type: none"> 用途変更（豊崎第一地区） 市内一周バスの運行開始 	<ul style="list-style-type: none"> 豊崎地区の良好な住宅地・商業地の形成 市内の交通利便性の向上
H14	<ul style="list-style-type: none"> 市道 40 号線 等 	<ul style="list-style-type: none"> 既存集落の交通利便性の向上
H15	<ul style="list-style-type: none"> 用途変更（豊崎第二地区） 	<ul style="list-style-type: none"> 交通利便性の高い産業拠点の形成
H16	<ul style="list-style-type: none"> 市道 6 号線 	<ul style="list-style-type: none"> 瀬長島へのアクセス向上
H17	<ul style="list-style-type: none"> 豊崎近隣公園 用途変更（豊見城中央線 漫湖バイパス～根差部交差点） 用途変更（豊崎第二地区） 	<ul style="list-style-type: none"> 豊崎地区の住環境の向上 幹線道路沿道の利便性向上 豊崎地区の観光レクリエーション機能の向上
H18	<ul style="list-style-type: none"> 市道 290 号線 等 	<ul style="list-style-type: none"> 豊崎地区の交通利便性の向上
H19	<ul style="list-style-type: none"> 用途変更（高嶺地区） 用途変更（平良・高嶺地区） 	<ul style="list-style-type: none"> 平良地区、高嶺地区の生活利便性の向上
H20	<ul style="list-style-type: none"> 市道 254 号線 等 	<ul style="list-style-type: none"> 既成市街地の交通利便性向上
H22	<ul style="list-style-type: none"> 豊崎都市緑地 	<ul style="list-style-type: none"> 豊崎地区の住環境・レクリエーション機能の向上
H24	<ul style="list-style-type: none"> 用途変更（豊見城中央線 根差部交差点～高安 NHK 入口交差点） 	<ul style="list-style-type: none"> 幹線道路沿道の利便性向上
H25	<ul style="list-style-type: none"> 市道 3 号線 等（宜保土地区画整理事業） 	<ul style="list-style-type: none"> 宜保地区の良好な住宅地の形成
H26	<ul style="list-style-type: none"> 宜保 3 号公園 用途変更（豊見城中央線沿道地区） 	<ul style="list-style-type: none"> 宜保地区の住環境の向上 中心市街地の利便性の向上
H27～ (完了予定)	<ul style="list-style-type: none"> 豊崎総合公園（H27 完了予定） 瀬長島観光拠点整備事業（H28 完了予定） 宜保地区土地区画整理事業（H28 完了予定） 中心市街地地区土地区画整理事業（H28 完了予定） 饒波川線（H28 完了予定） 谷口線（H35 完了予定） 	<ul style="list-style-type: none"> 市内外を対象とした観光レクリエーション機能の向上 中心市街地の良好な住宅地・商業地の形成 中心市街地の都市機能の集積 中心市街地へのアクセス性の向上

2-3 都市構造に係る現況の整理

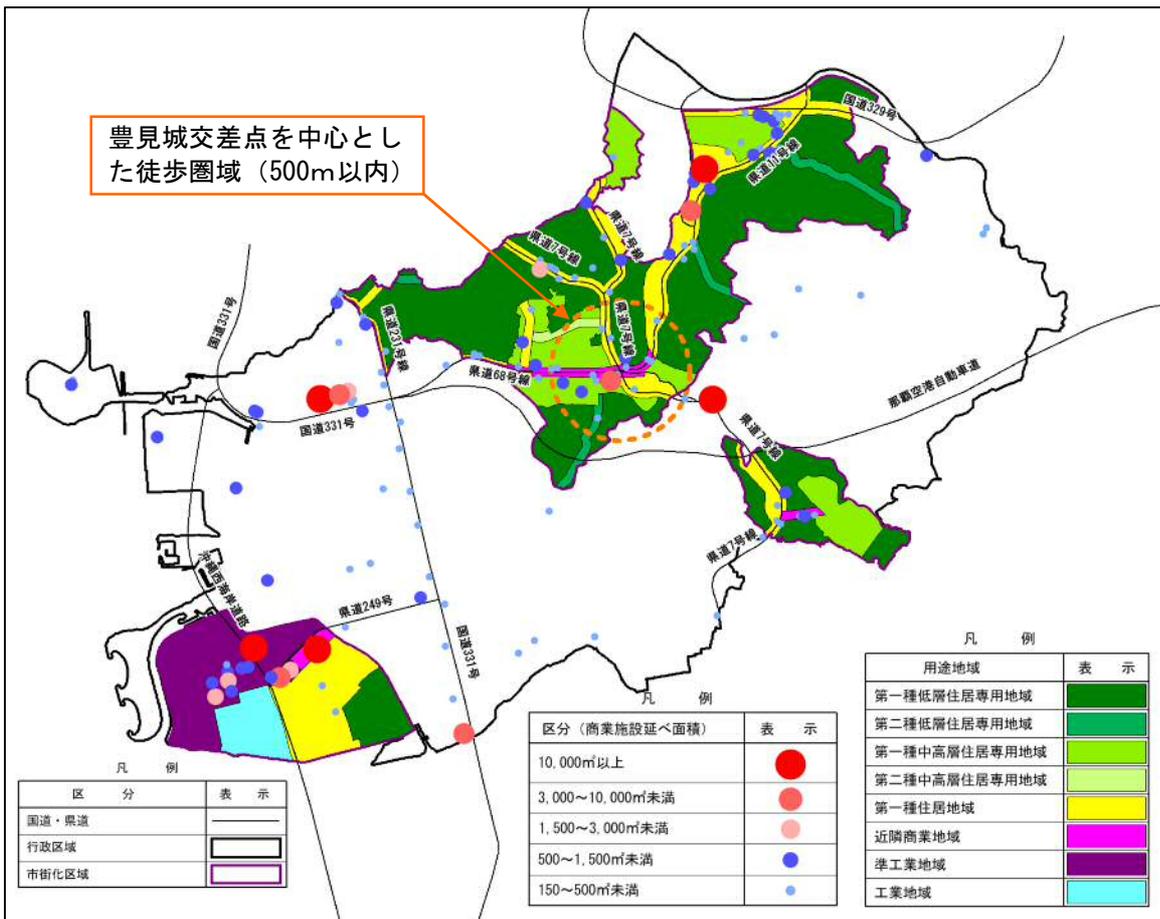
都市構造に係る現況を都市づくりに関する5つの視点（①まちの顔、②居住、③交流、④働く場、⑤社会情勢）から整理する。

①「まちの顔」に関する現況

[現況整理における中心市街地の定義]

豊見城交差点を中心とした徒歩圏500m以内（徒歩5～10分程度）を便宜的に中心市街地（まちの顔）と設定する。

図表①-1 商業施設の集積状況



資料：H24 都市計画基礎調査

- ・ 中心市街地周辺で小中規模な商業施設が分布
- ・ 商業系用途地域が指定されているが、商業施設の集積状況は高くない
- ・ 一方、市街化調整区域の国道331号、県道7号線沿道で大規模商業施設が立地

・「まちの顔」として商業機能の集積が必要

図表①-2 買物動向

商品	買物場所 市内 (%)	市外(%)					市外計	合計 (%)
		那覇市	糸満市	南風原町	浦添市	その他		
婦人服	49.2	31.1	3.3	11.2	0.4	4.8	50.8	100.0
紳士服	50.4	32.5	3.2	11.4	0.4	2.1	49.6	100.0
子供服	55.3	26.3	3.8	10.9	0.5	3.2	44.7	100.0
呉服・寝具	51.6	25.3	2.3	17.0	0.9	2.9	48.4	100.0
シャツ・下着類	56.6	21.7	4.4	12.3	0.5	4.5	43.4	100.0
靴・かばん	47.5	36.2	4.2	8.2	0.5	3.4	52.5	100.0
時計・メガネ・貴金属	50.1	31.9	4.2	9.9	0.5	3.4	49.9	100.0
家庭用電気器具	71.6	12.3	3.9	10.0	0.8	1.4	28.4	100.0
家具・室内装飾品	49.2	22.8	3.8	17.9	0.5	5.8	50.8	100.0
スポーツ・レジャー用品	55.8	23.7	9.1	7.8	0.5	3.1	44.2	100.0
書籍・CD・文具	64.8	21.2	2.7	8.6	0.4	2.3	35.2	100.0
化粧品・医薬品	63.5	19.0	2.7	9.9	0.4	4.5	36.5	100.0
日用雑貨	71.8	11.7	4.2	10.0	0.8	1.5	28.2	100.0
一般食料品	76.5	6.9	4.8	7.9	0.4	3.5	23.5	100.0
生鮮食料品	74.6	7.1	6.6	8.2	0.4	3.1	25.4	100.0
中元・お歳暮	68.3	16.8	5.3	5.3	0.4	3.9	31.7	100.0
外食(食事)	50.5	33.7	4.0	8.0	0.9	2.9	49.5	100.0
H22総合	51.8	28.8	3.5	11.8	0.5	3.6	48.2	100.0
(参考)H19総合	43.1	38.9	2.6	13.1	0.8	1.5	56.9	100.0
(参考)H16総合	54.8	37.4	1.5	5.1	0.0	1.2	45.2	100.0

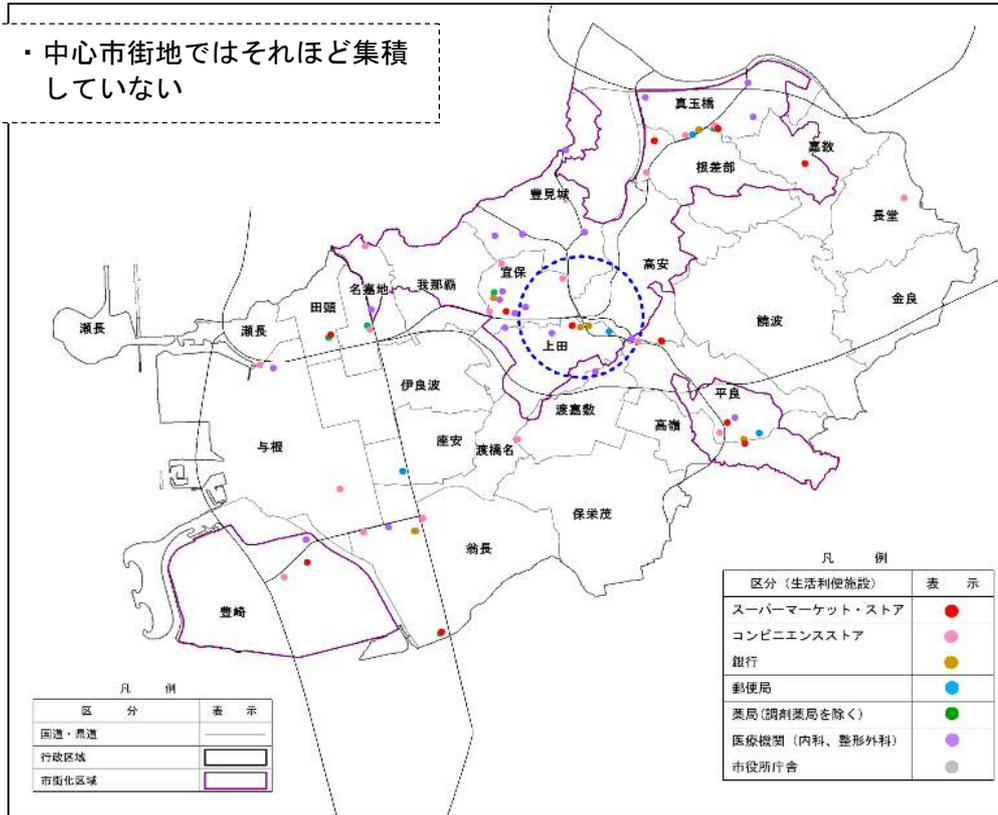
資料：平成16年、平成19年、平成22年沖縄県買物動向調査報告書（沖縄県）

- ・市全体として市内での購入は約5割。一般食料品や日用雑貨などの日用品は市内での購入が多く、靴・かばん、婦人服などの嗜好品は市外での購入が多い傾向
- ・H16～H19で市内での購入が減少したが、H19～H22では市内での購入が増加



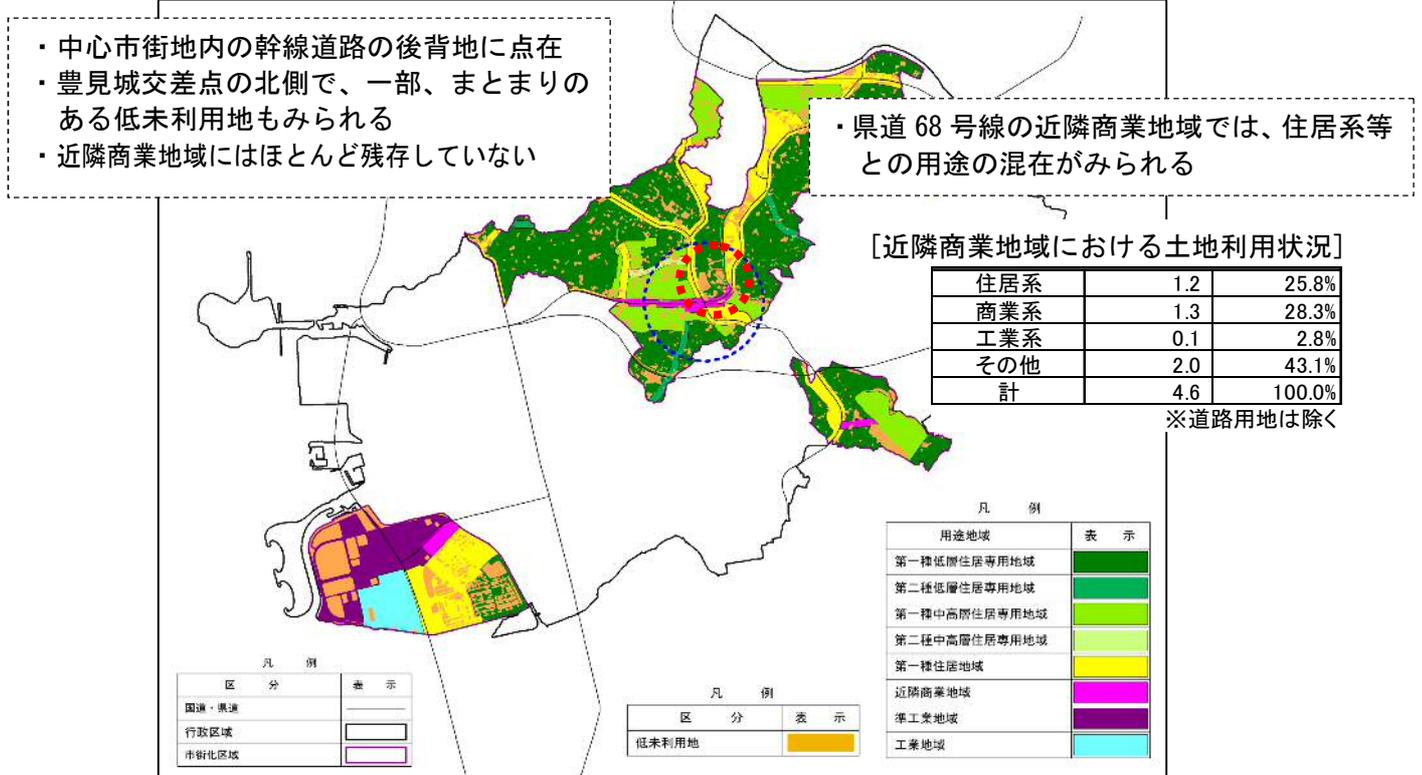
・市内での購入を促す魅力ある商業拠点の形成が必要

図表①-3 生活利便施設の集積状況



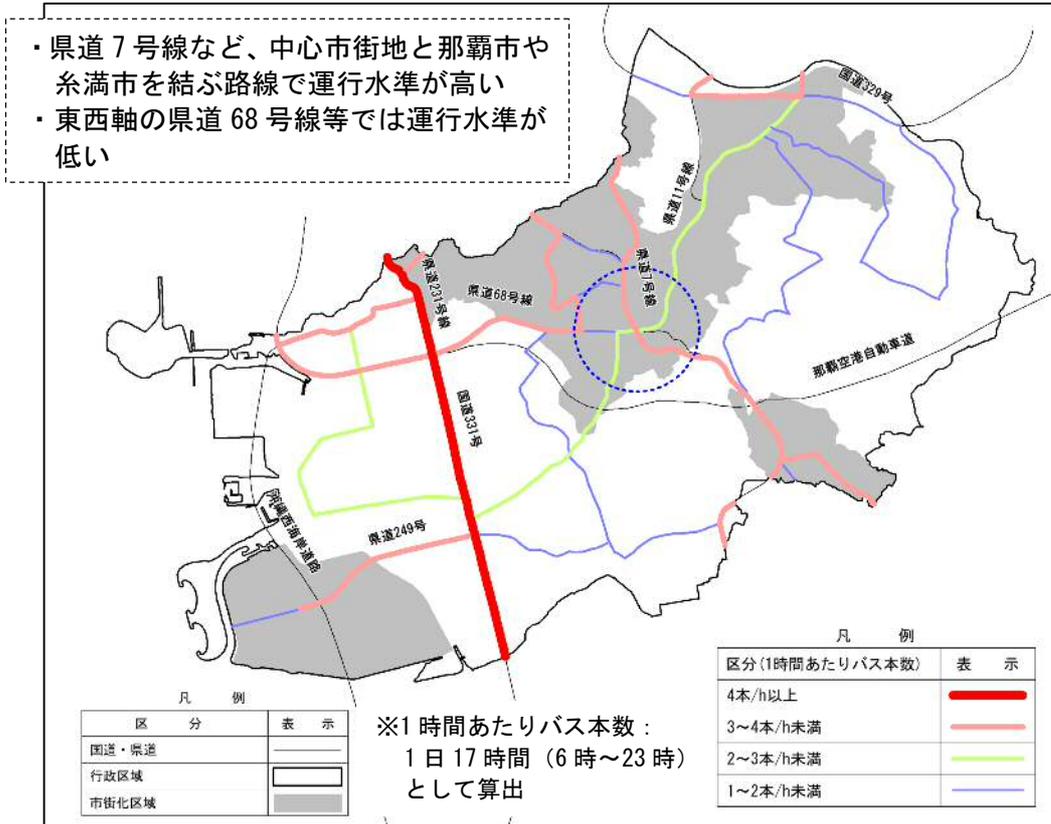
・ 多様な都市機能の集積による求心力の向上が必要

図表①-4 市街化区域内の低未利用地と用途地域の状況



・ 中心市街地内の低未利用地の有効活用が必要
・ 商業系用途地域における適正な土地利用誘導や適正な用途地域の配置が必要

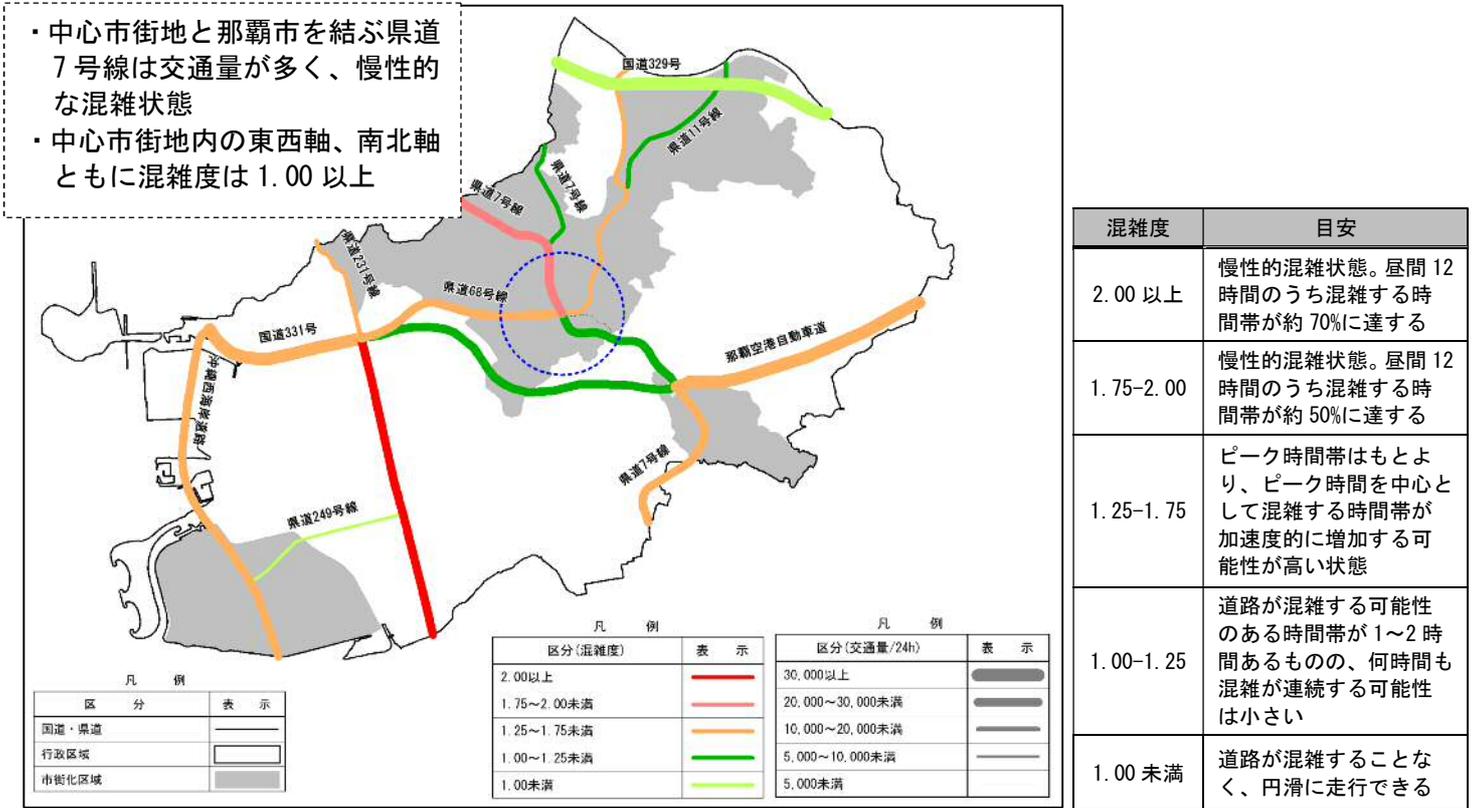
図表①-5 公共交通の運行水準



資料：国土数値情報 バスルート（平成23年度）

・中心市街地と豊崎等を結ぶ市内（東西方向）の公共交通の強化が必要

図表①-6 道路混雑度と交通量

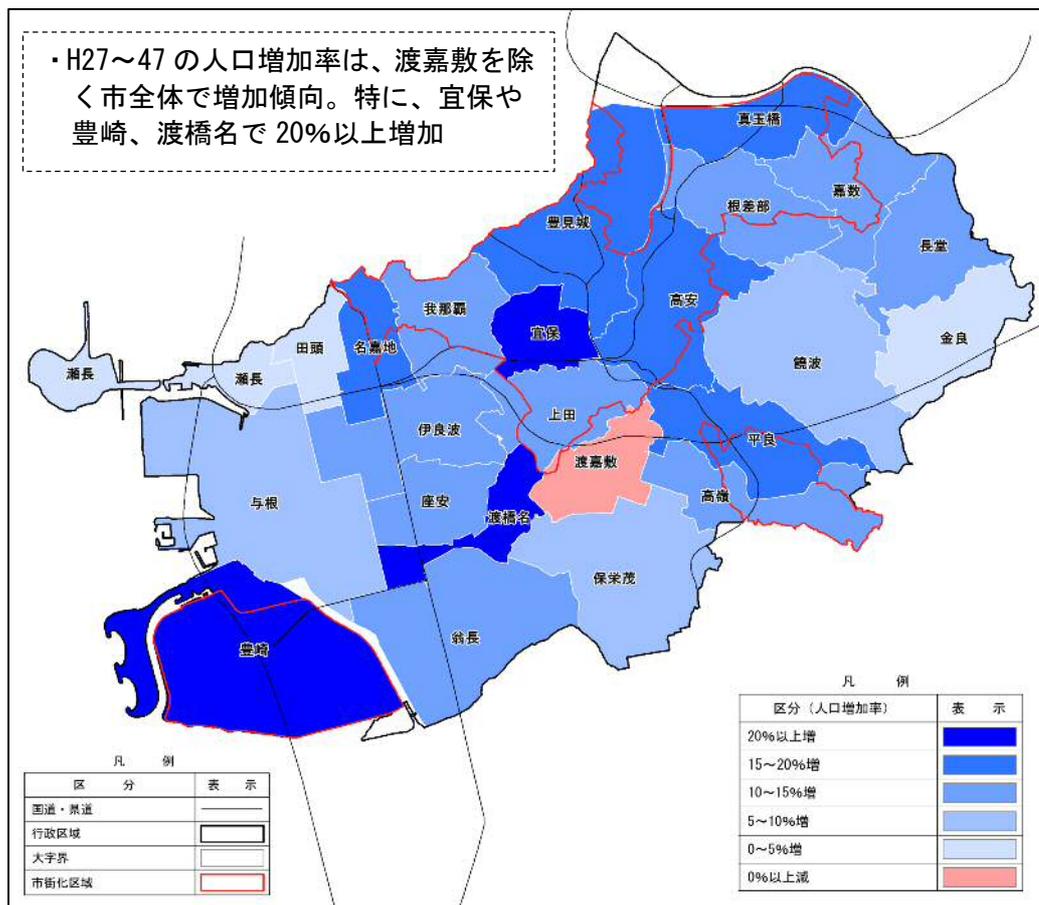


資料：H22 交通センサス

・中心市街地と市内外を結ぶ幹線道路の整備が必要

②「居住」に関する現況

図表②-1 人口増加率 H27-47



※住民基本台帳の人口をもとにコーホート要因法を用いて推計



・人口増加に対応した受け皿の確保が必要

[推計について]

国の調査機関等で一般的に使用されるコーホート要因法を採用した。

コーホート要因法とは、地域の将来人口を予測する際に、特定の社会的集団（男女・年齢別人口）ごとに人口予測を行う方法である。この各集団（コーホート）の人口を、地域の人口の将来自然増減要因（出生、死亡）と将来社会増減要因（転入・転出）の変化率を用いて推計する。

なお、今回の推計では国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口（H25.3推計）」の変化率を用いた。

図表②-2 都市計画道路の整備状況

区分	計画 (km)	改良済 (km)	概成済 (km)	人口 (千人)	都市計画区域面積 (km ²)	整備率	整備水準 (km/千人)	計画水準 (km/km ²)	
豊見城市	自動車専用道路	6.2	3.9	0.0			63.2%	0.07	0.32
	幹線街路	22.2	15.9	0.5			74.1%	0.28	1.14
	区画街路	0.3	0.3	0.0			100.0%	0.01	0.02
	特殊街路	1.4	0.3	0.0			23.2%	0.01	0.07
	合計	30.1	20.5	0.5	58.8	19.4	69.8%	0.36	1.55
那覇広域	自動車専用道路	21.7	13.4	0.0			61.6%	0.02	0.10
	幹線街路	338.2	280.2	10.4			85.9%	0.37	1.56
	区画街路	18.6	13.1	3.3			88.0%	0.02	0.09
	特殊街路	23.7	18.6	2.1			87.4%	0.03	0.11
	合計	402.3	325.3	15.8	783.2	217.4	84.8%	0.44	1.85
沖縄県	自動車専用道路	21.8	13.5	0.0			61.7%	0.01	0.02
	幹線街路	620.2	505.7	29.6			86.3%	0.40	0.55
	区画街路	30.2	19.0	5.2			80.1%	0.02	0.03
	特殊街路	33.2	28.1	2.1			90.9%	0.02	0.03
	合計	705.4	566.2	37.0	1,331.6	1,117.8	85.5%	0.45	0.63

資料：平成 24 年都市計画年報

- ・ 那覇広域や沖縄県と比較して、整備率、整備水準は低い

図表②-3 都市公園の整備状況

区分	計画面積 (ha) A	供用面積 (ha) B	人口 (千人) C	整備率 B/A	1人あたり公園面積 (m ² /人) B/C
豊見城市	32.2	28.5	59.8	88.4%	4.76
那覇広域	712.4	449.4	790.2	63.1%	5.69
沖縄県	2,105.6	1,238.1	1,408.1	58.8%	8.79

資料：平成 24 年都市計画年報

- ・ 那覇広域や沖縄県と比較して整備率は高いが、1人あたり公園面積は小さい

図表②-4 下水道の整備状況

区分	排水面積 計画 (ha) A	排水面積 供用 (ha) B	利用可能 人口 C	人口 D	整備率 B/A	普及率 C/D
豊見城市	924.3	506.8	42,216	59,790	54.8%	70.6%
那覇広域	11,297.0	8,557.0	586,434	792,168	75.7%	74.0%
沖縄県	18,750.0	14,254.0	832,907	1,410,140	76.0%	59.1%

資料：沖縄県下水道課（平成 24 年度）

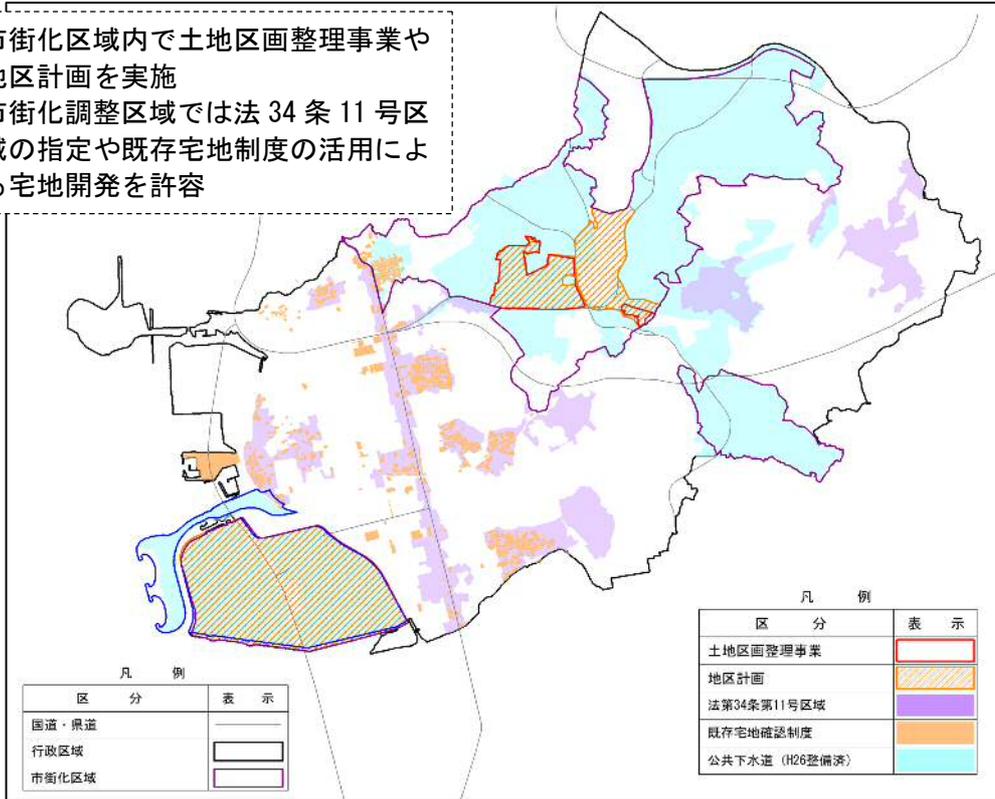
- ・ 那覇広域や沖縄県と比較して整備率が低い



- ・ 都市施設の整備率、整備水準の向上が必要

図表②-5 都市基盤整備の状況

- ・市街化区域内で土地区画整理事業や地区計画を実施
- ・市街化調整区域では法34条11号区域の指定や既存宅地制度の活用による宅地開発を許容

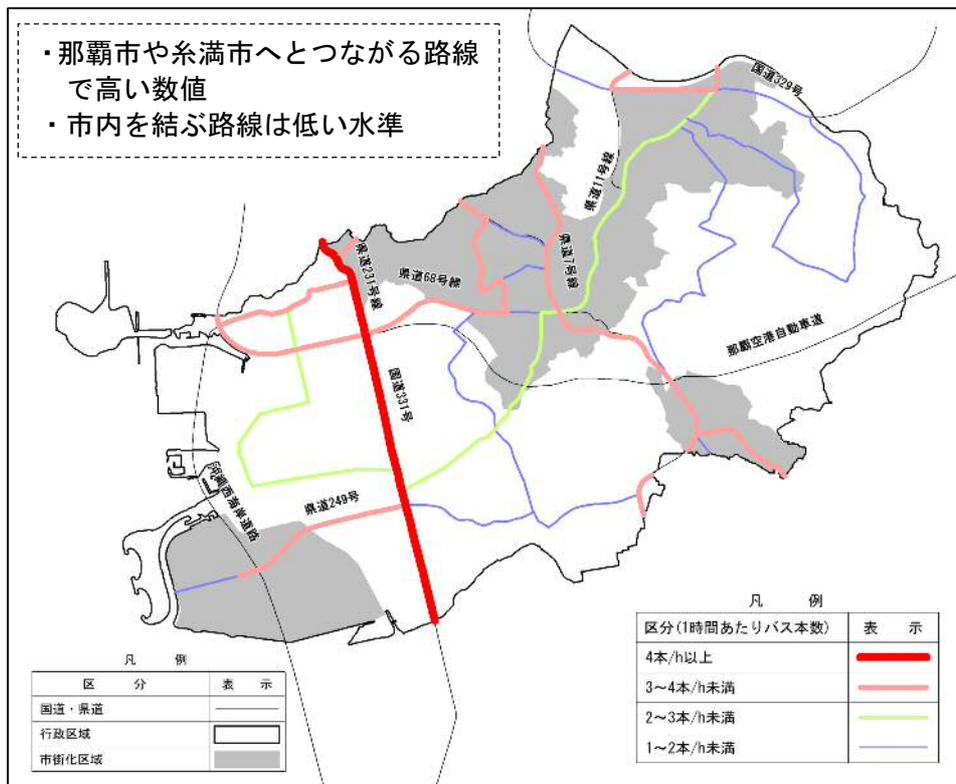


資料：H24 都市計画基礎調査、都市計画課資料

・継続的な都市基盤の整備と基盤整備された場所の有効活用が必要

図表②-6 公共交通の運行水準

- ・那覇市や糸満市へとつながる路線で高い数値
- ・市内を結ぶ路線は低い水準

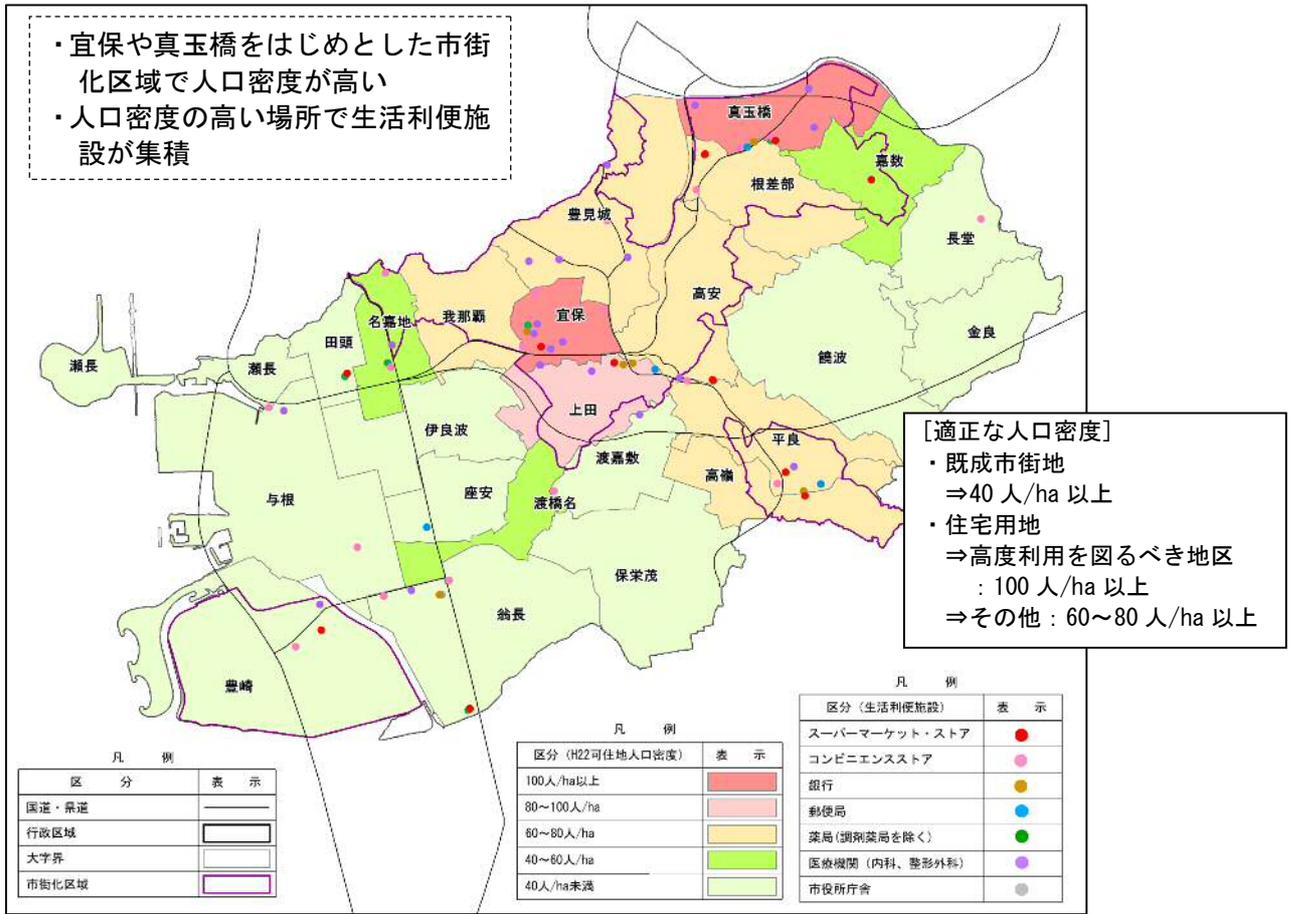


資料：国土数値情報 バスルート（平成23年度）

※1時間あたりバス本数：1日17時間（6時～23時）として算出

・市内の市街地を結ぶ公共交通の維持・利便性の向上が必要

図表②-7 H22 可住地人口密度と生活利便施設の分布状況



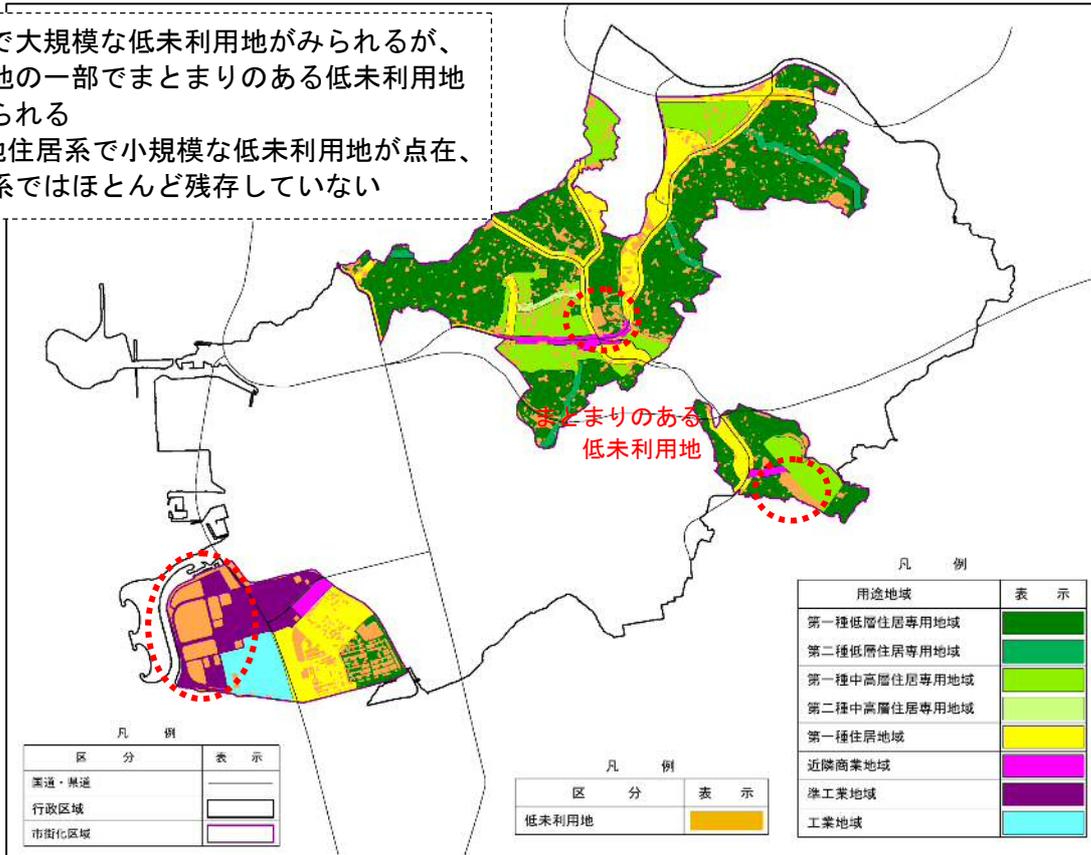
資料 : i タウンページ、GoogleMap、住民基本台帳



・人口密度が高く、生活利便施設が集積している場所の維持・活用が必要

図表②-8 市街化区域内の低未利用地と用途地域の状況

- ・豊崎で大規模な低未利用地がみられるが、その他の一部でまとまりのある低未利用地もみられる
- ・その他住居系で小規模な低未利用地が点在、商業系ではほとんど残存していない



資料：H24 都市計画基礎調査

[市街化区域内における低未利用地の残存状況]

用途分類	面積(ha)		割合
	低未利用地	全体	
住居専用系	57.1	372.1	15.3%
住居系	18.3	121.4	15.1%
商業系	0.5	14.7	3.3%
工業系	24.4	81.1	30.0%
計	100.3	589.3	17.0%

- ・県道 68 号線や豊見城団地の近隣商業地域では、住居系等との用途の混在がみられる

[近隣商業地域における土地利用状況]

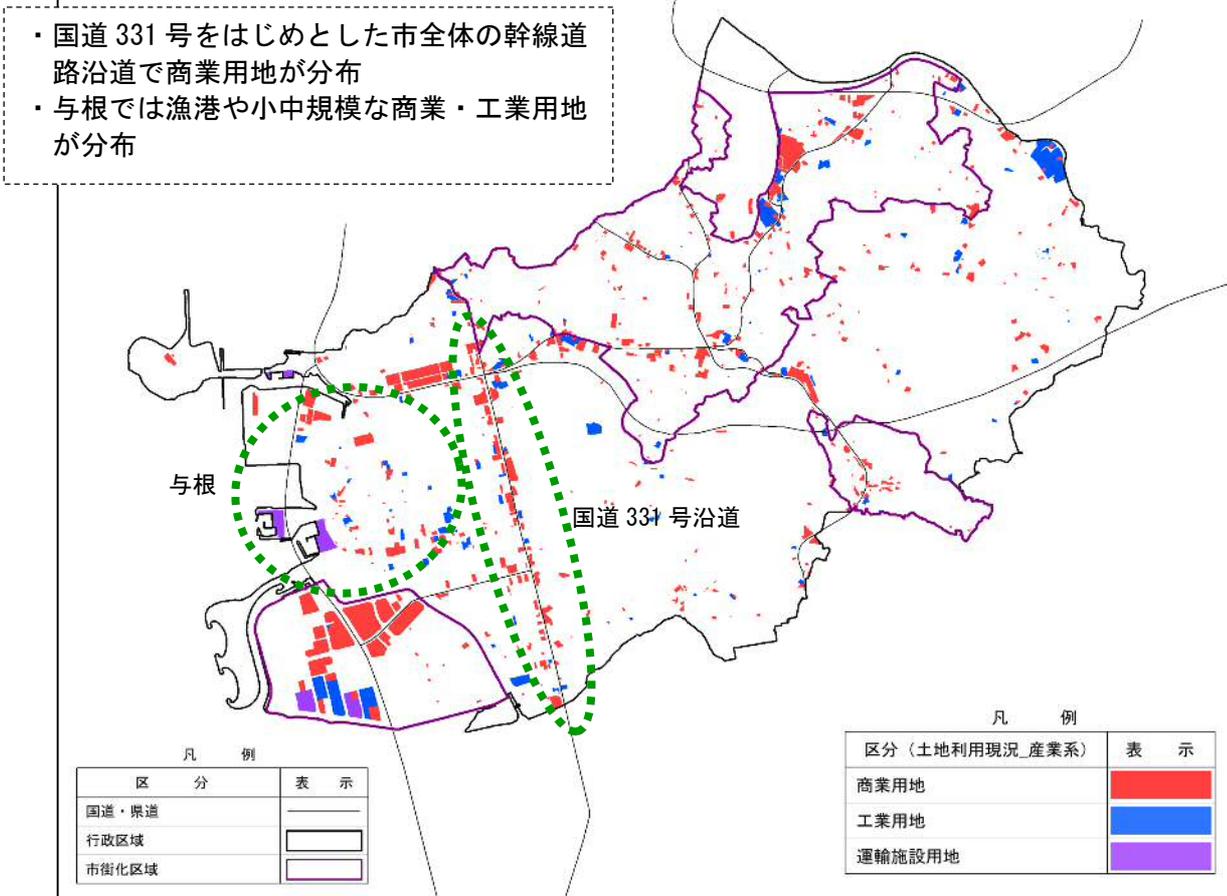
用途分類	県道68号線		豊見城団地		豊崎	
	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)
住居系	1.2	25.8%	0.4	32.1%	0.0	0.0%
商業系	1.3	28.3%	0.5	41.4%	2.9	100.0%
工業系	0.1	2.8%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
その他	2.0	43.1%	0.3	26.6%	0.0	0.0%
計	4.6	100.0%	1.3	100.0%	2.9	100.0%

※道路用地は除く



- ・まとまりのある低未利用地の有効活用が必要
- ・商業系用途地域では適正な土地利用誘導が必要
- ・利便性の高い場所では商業系用途の指定など適正な用途配置が必要

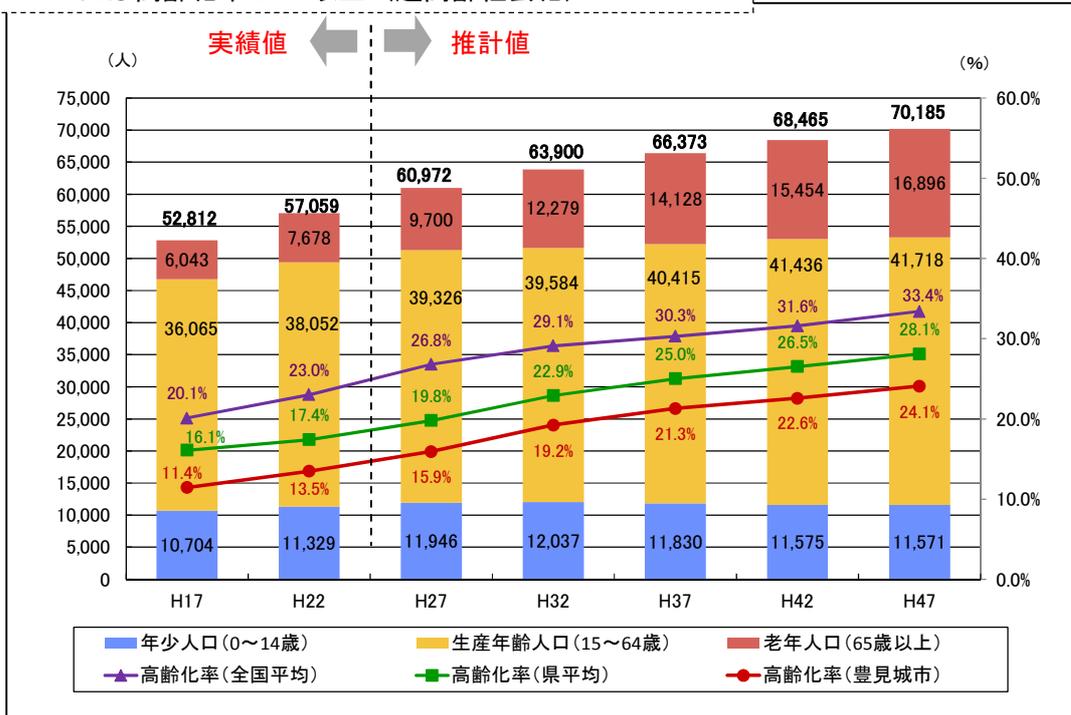
図表②-9 産業系土地利用の分布状況



・ 市街化区域周辺で立地する工業・産業系施設と隣接する住宅地との調和が必要

図表②-10 人口の推移

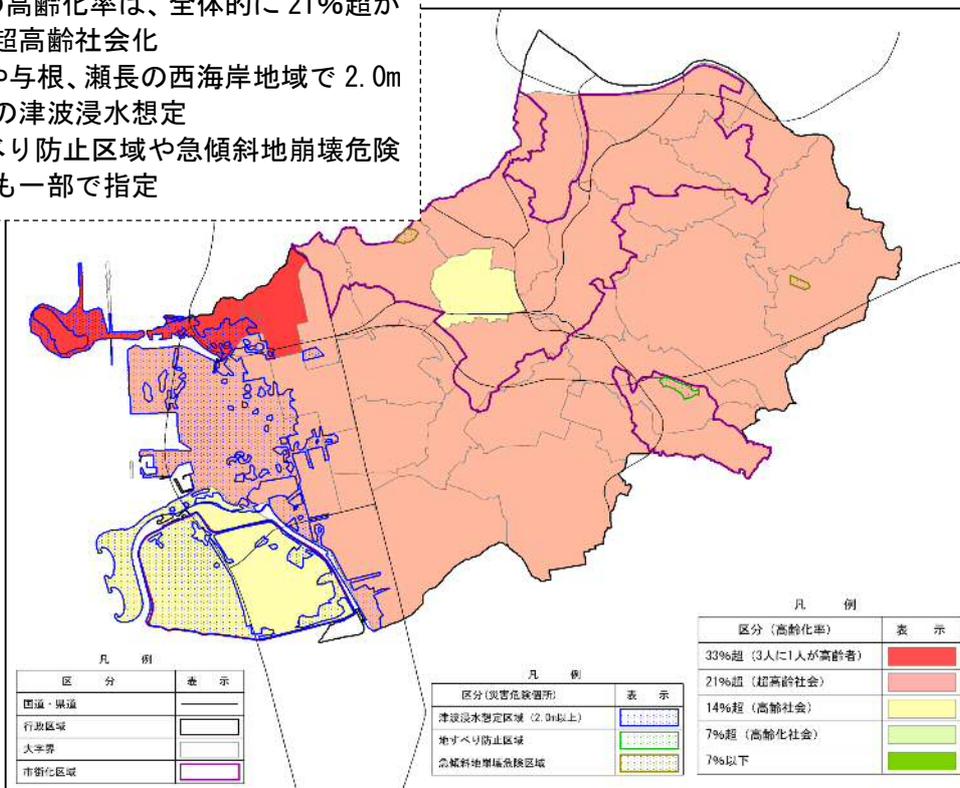
- ・人口の推移は全体的に増加傾向
- ・全国平均や県平均と比較すると高齢化の進展は遅いが、H37には高齢化率21%以上（超高齢社会化）



※住民基本台帳の人口をもとにコーホート要因法を用いて推計

図表②-11 H47 字別高齢化率と災害危険箇所

- ・H47 の高齢化率は、全体的に21%超が多く超高齢社会化
- ・豊崎や与根、瀬長の西海岸地域で2.0m以上の津波浸水想定
- ・地すべり防止区域や急傾斜地崩壊危険区域も一部で指定

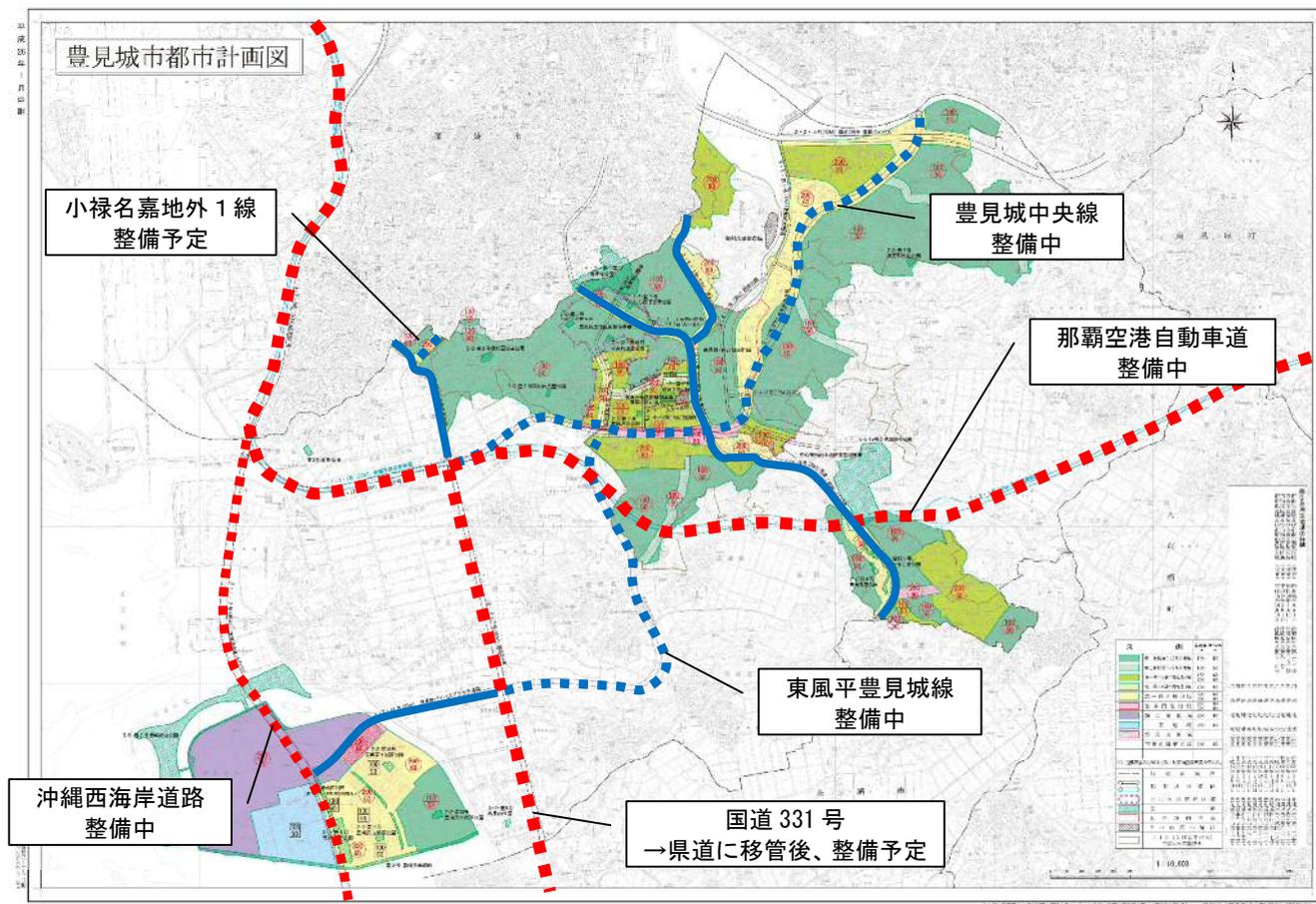


資料：沖縄県津波被害想定調査（平成25年3月）、H24都市計画基礎調査
 ※住民基本台帳の人口をもとにコーホート要因法を用いて推計

・超高齢社会を見据えた都市づくりが必要

③「交流」に関する現況

図表③-1 国道及び県道の整備状況



資料：都市計画図（都市計画課発行）

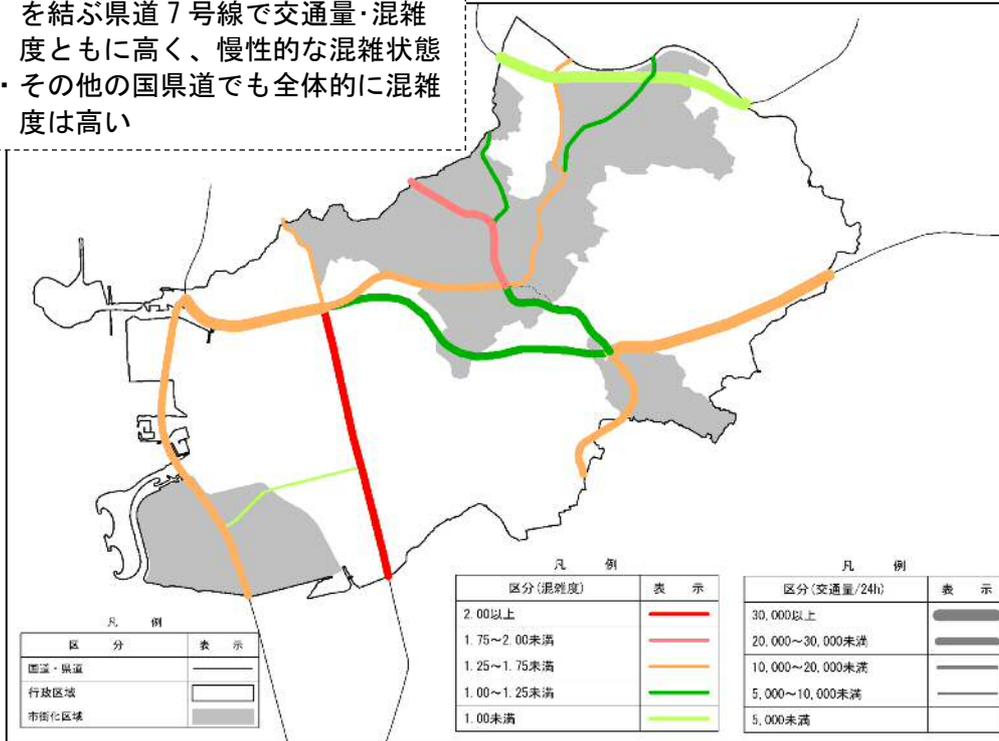
- ・ 国道 331 号、那覇空港自動車道、沖縄西海岸道路の広域インフラの拡幅整備を予定
- ・ 中心市街地を通る東西軸である豊見城中央線の拡幅整備を予定
- ・ 中心市街地と豊崎を結ぶ東風平豊見城線の整備を予定



・ 広域インフラを活かした近隣都市や市内拠点間の連携・交流の強化

図表③-2 道路混雑度と交通量

- ・国道 331 号や中心市街地と那覇市を結ぶ県道 7 号線で交通量・混雑度ともが高く、慢性的な混雑状態
- ・その他の国県道でも全体的に混雑度は高い



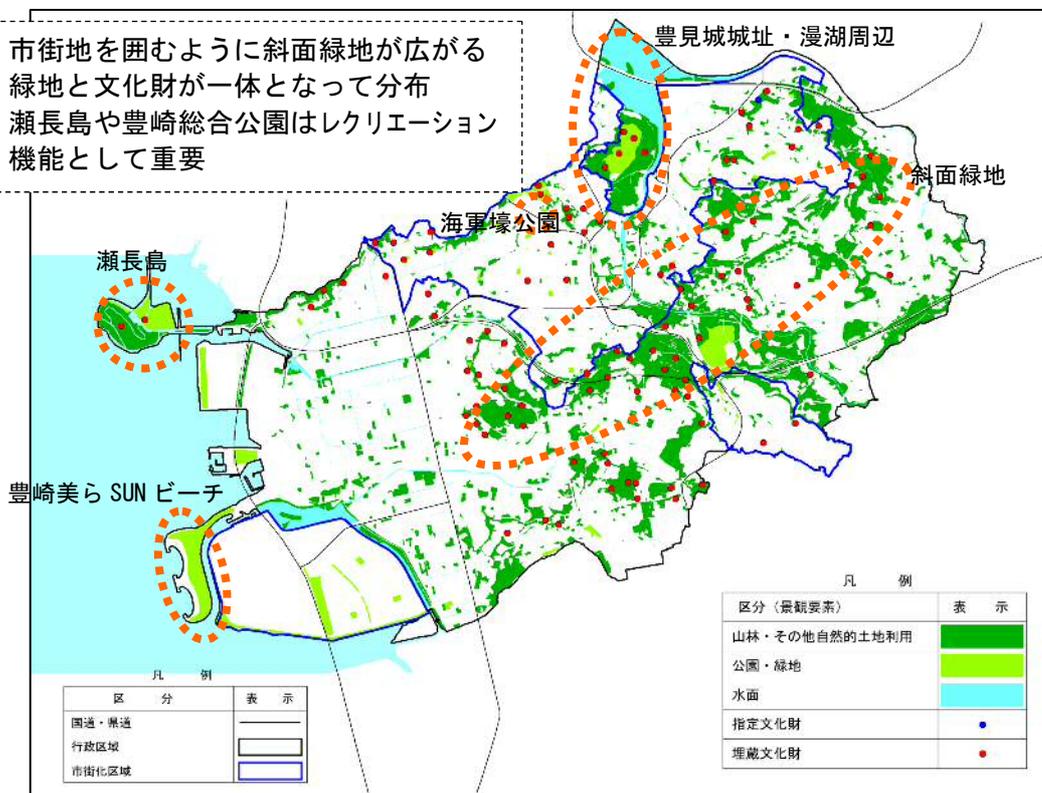
混雑度	目安
2.00 以上	慢性的な混雑状態。昼間 12 時間のうち混雑する時間帯が約 70%に達する
1.75-2.00	慢性的な混雑状態。昼間 12 時間のうち混雑する時間帯が約 50%に達する
1.25-1.75	ピーク時間帯はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性が高い状態
1.00-1.25	道路が混雑する可能性のある時間帯が 1~2 時間あるものの、何時間も混雑が連続する可能性は小さい
1.00 未満	道路が混雑することなく、円滑に走行できる

資料：H22 交通センサス

・広域的な幹線道路や市内を結ぶ幹線道路の整備が必要

図表③-3 主な景観要素の分布状況

- ・市街地を囲むように斜面緑地が広がる
- ・緑地と文化財が一体となって分布
- ・瀬長島や豊崎総合公園はレクリエーション機能として重要

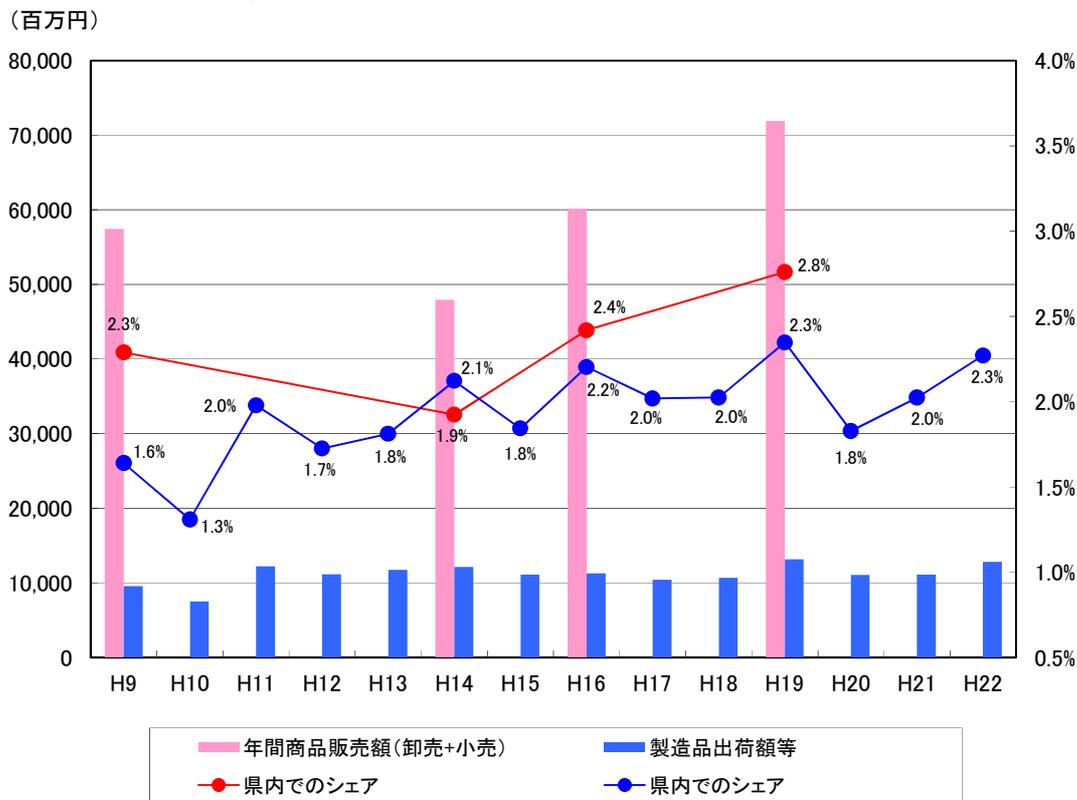


資料：H24 都市計画基礎調査

・景観資源の一体的な保全・活用が必要

④ 「働く場」に関する現況

図表④-1 年間商品販売額と製造品出荷額等の状況



資料：商業統計、工業統計

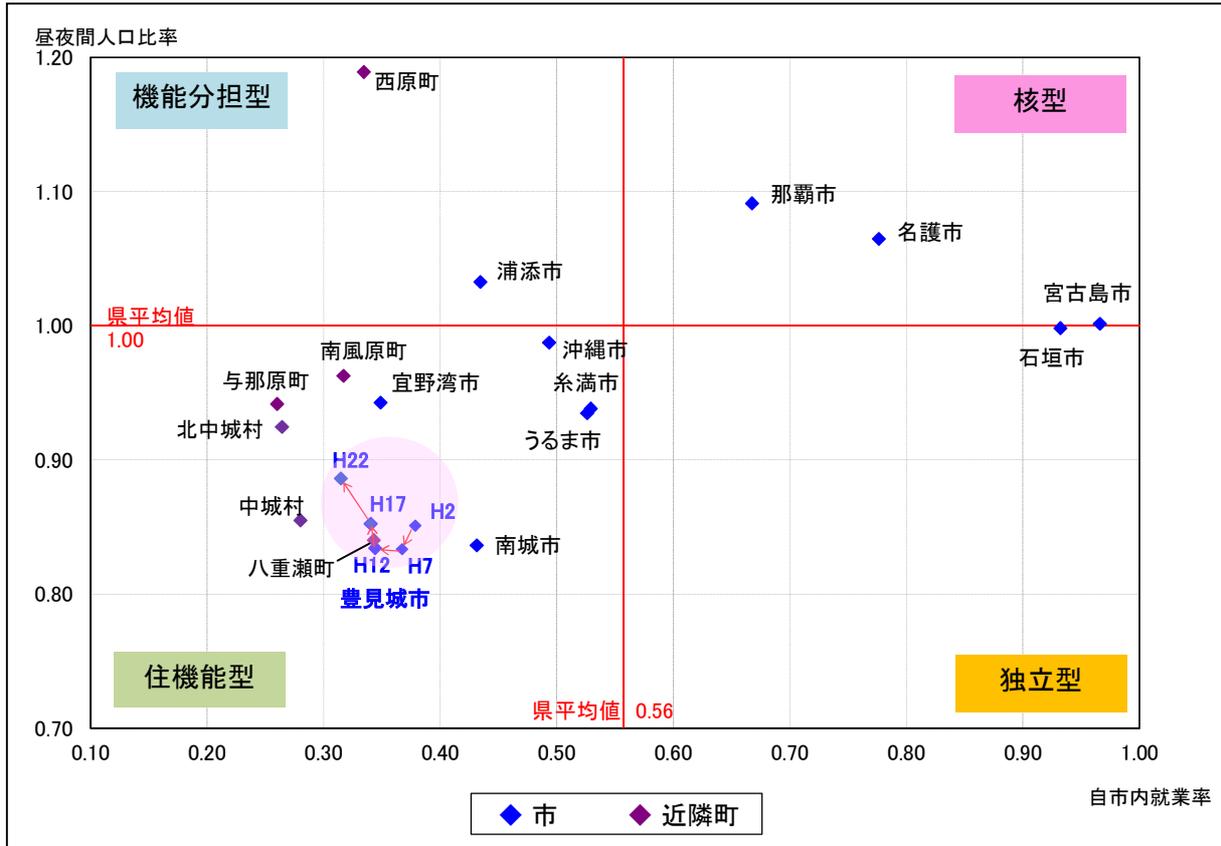
[近隣他市町との比較]

区分	豊見城市	宜野湾市	浦添市	糸満市	南城市	西原町	南風原町
H19年間商品販売額	2.8%	5.2%	22.3%	3.0%	0.8%	0.8%	3.1%
H22製造品出荷額等	2.3%	1.0%	9.4%	6.5%	3.8%	37.5%	1.4%
H22人口	57,261	91,928	110,351	57,320	39,758	34,766	35,244

- ・年間消費販売額は700億円、製造品出荷額は100億円程度の産業規模。県内シェアは年間消費販売額・製造品出荷額ともに5%以下であるが若干の増加傾向
- ・近隣市町と比較して、年間商品販売額、製造品出荷額ともにやや低い水準となっている

・地理的優位性を活かした産業振興による県内シェアの拡大が必要

図表④-2 自市内就業率と昼夜間人口比率



[都市の性格]

- 核型：生活圏における中心都市として機能
- 独立型：1都市である程度独立した生活圏を形成
- 住機能型：周辺都市等の住宅都市として機能
- 機能分担型：職等の機能に特化

資料：国勢調査

・都市の性格は住機能型に分類され、求心力は高くない。昼夜間人口は増加傾向、自市内就業率は減少傾向



・職住近接による自立性を高める都市づくりが必要

図表④-3 H12～H22 流出・流入人口（就業者数）

市町村	H12				H22			
	流出		流入		流出		流入	
	就業者数(人)	割合(%)	就業者数(人)	割合(%)	就業者数(人)	割合(%)	就業者数(人)	割合(%)
豊見城市内	7,516	34.4%	7,516	52.2%	7,764	31.5%	7,764	40.9%
那覇市	9,484	43.4%	2,889	20.1%	9,054	36.7%	3,699	19.5%
宜野湾市	211	1.0%	196	1.4%	321	1.3%	265	1.4%
浦添市	1,110	5.1%	383	2.7%	1,182	4.8%	554	2.9%
糸満市	1,465	6.7%	1,350	9.4%	1,787	7.2%	1,934	10.2%
南城市	233	1.1%	441	3.1%	262	1.1%	564	3.0%
八重瀬町	357	1.6%	606	4.2%	425	1.7%	749	3.9%
南風原町	578	2.6%	493	3.4%	692	2.8%	649	3.4%
その他	877	4.0%	532	3.7%	3,179	12.9%	2,816	14.8%
合計	21,831	100.0%	14,406	100.0%	24,666	100.0%	18,994	100.0%

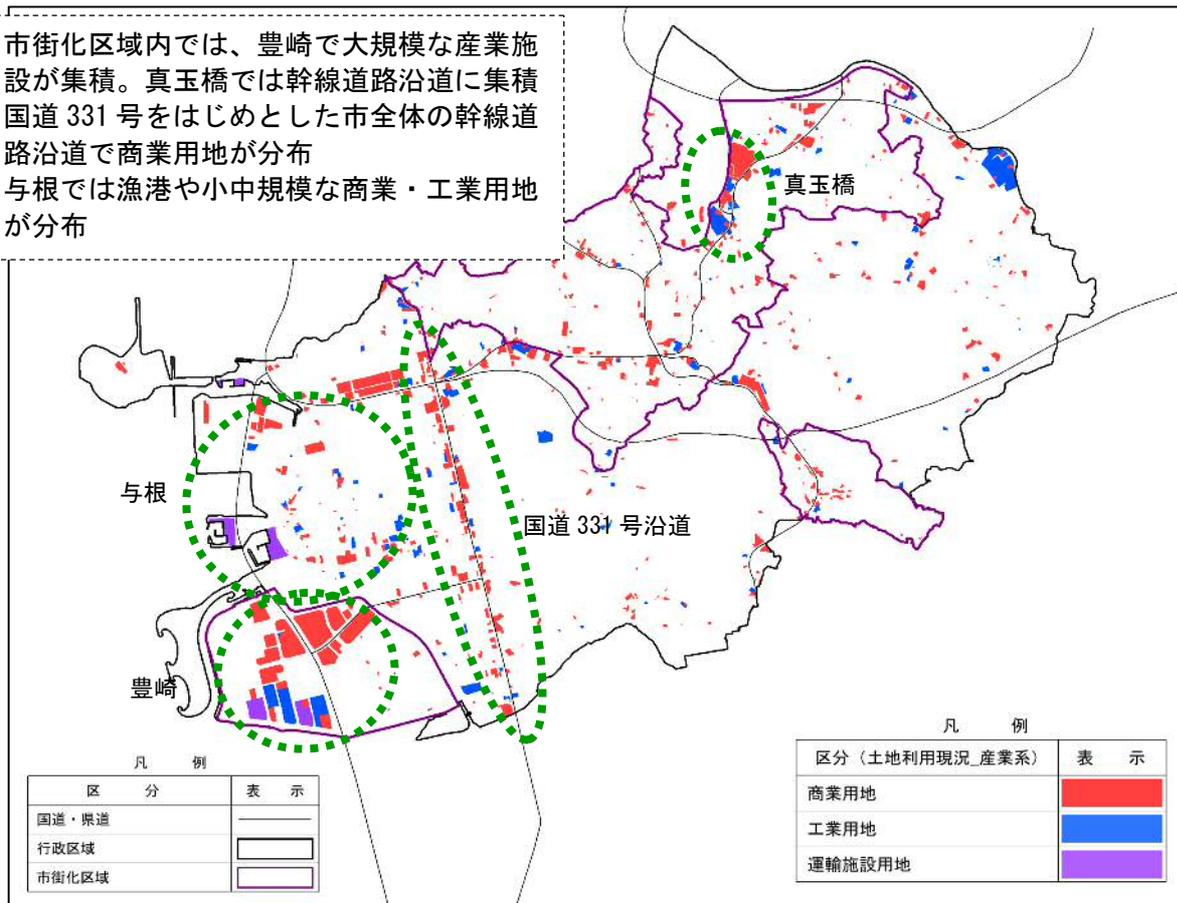
資料：国勢調査

- ・ H12～H22 では流出・流入人口ともに増加しているが、H22 で約 6,000 人の流出超過
- ・ 本市以外では、流出・流入人口ともに那覇市が最も多く、次に糸満市が多い
- ・ 隣接都市以外のその他の割合も大きく増加

・ 流入超過への転換を図るため自立性の向上に寄与する産業振興が必要

図表④-4 産業系土地利用の分布状況

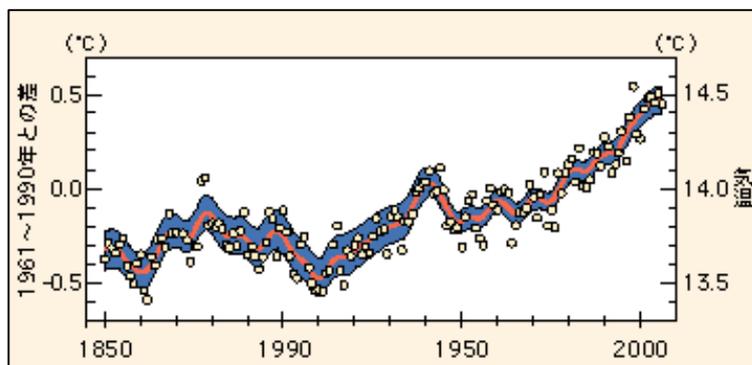
- ・ 市街化区域内では、豊崎で大規模な産業施設が集積。真玉橋では幹線道路沿道に集積
- ・ 国道 331 号をはじめとした市全体の幹線道路沿道で商業用地が分布
- ・ 与根では漁港や小中規模な商業・工業用地が分布



・ 西海岸地域の地理的優位性を活かした産業施設用地のさらなる集積が必要

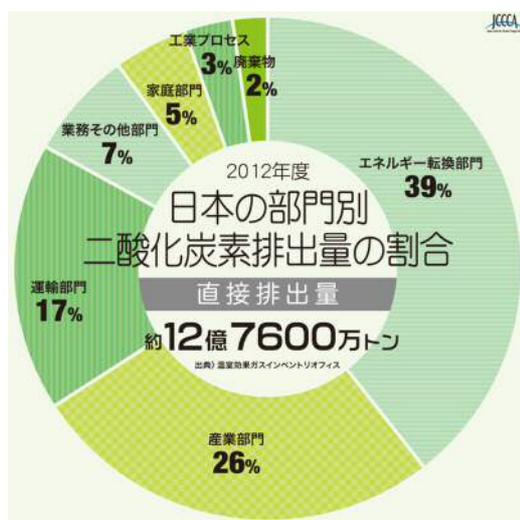
⑤「社会情勢」に関する現況

図表⑤-1 世界の平均気温の変化



出典：IPCC 第4次評価報告書第1作業部会報告書

図表⑤-2 日本の部門別二酸化炭素排出量の割合（2012年度）



出典：全国地球温暖化防止活動推進センターHP

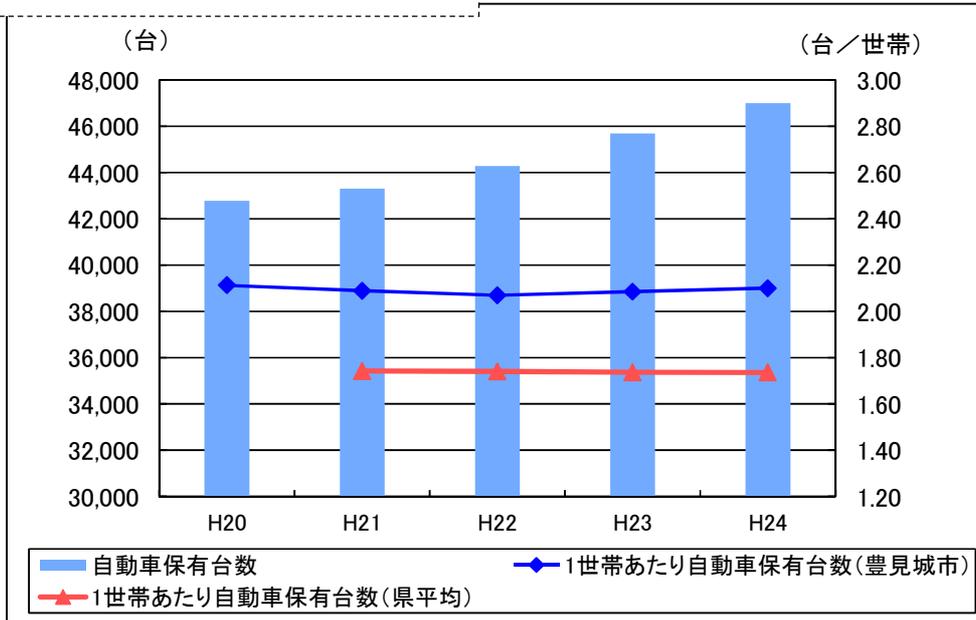
- ・地球温暖化など世界規模で環境問題が深刻化
- ・市民生活では運輸部門の排出量が多い



- ・二酸化炭素排出の抑制など低炭素まちづくりが必要

図表⑤-3 自家用車保有数

・年々増加傾向にあり、一世帯あたりの保有台数は約2台と県平均よりも高い



資料：沖縄県統計年鑑、住民基本台帳



・環境負荷の低減に向けて公共交通の充実が必要

2-4 市民アンケート結果の整理

1) 調査概要

図表 調査概要

項目	概要						
調査の目的	<p>■下記の内容を調査し、「豊見城市都市計画マスタープラン」改定の基礎資料として活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のまちづくりに関する満足度・重要度について ・市全体のまちづくりに関する将来のイメージについて ・市全体の今後の土地利用について（分野ごと） ・市民参加のまちづくりについて 						
調査対象	<p>■平成26年7月31日時点で豊見城市在住の18歳以上の方について、字別に無作為抽出（計3,500人）</p>						
調査の実施方法	<p>■郵送によるアンケート用紙の配布・回収</p>						
調査実施期間	<p>■平成26年9月12日（金） ～ 9月29日（月）</p>						
発送・回収状況	<p>■発送・回収状況は以下のとおり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発送数</th> <th>回収数</th> <th>回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,500件</td> <td>1,167件</td> <td>33.3%</td> </tr> </tbody> </table>	発送数	回収数	回収率	3,500件	1,167件	33.3%
発送数	回収数	回収率					
3,500件	1,167件	33.3%					

2) 主な意見

市民アンケートの主な意見を都市づくりに関する5つの視点（①まちの顔、②居住、③交流、④働く場、⑤社会情勢）から整理する。

①まちの顔

図表 市全体のまちづくりで重要な場所（アンケート結果）

問10 「豊見城市」全体のまちづくりを図る際に、重要な場所（要所）として、重点的に活用、整備すべき場所・資源を教えてください。※2つに〇印

選択肢	件数	比率	
1. 市の中心部(旧市役所周辺)の活性化	376	17.5%	17.5%
2. 真玉橋や根差部などの東部地域	153	7.1%	7.1%
3. 県道11号や国道331号など幹線道路の沿道	271	12.6%	12.6%
4. 瀬長島や豊崎などの西海岸地域	313	14.6%	14.6%
5. ラムサール条約登録湿地の漫湖周辺	124	5.8%	5.8%
6. 豊見城城址の周辺一帯	281	13.1%	13.1%
7. 地域を流下する饒波川	88	4.1%	4.1%
8. 与根漁港などの漁港	47	2.2%	2.2%
9. 豊かな緑に被われた丘陵地	136	6.3%	6.3%
10. 平坦地に広がる農業地域	107	5.0%	5.0%
11. 海辺や海岸	118	5.5%	5.5%
12. 特に活用すべき場所・資源は無い	31	1.4%	1.4%
13. その他	40	1.9%	1.9%
無回答	63	2.9%	2.9%
計	2,148	100.0%	

・「市の中心部（旧市役所周辺）」が17.5%と最も多いが、2番目に多い「豊崎などの西海岸地域」と大きな差はない



- ・ 中心市街地の活性化に寄与する取組みが必要
- ・ 中心市街地の一極集中ではなく、西海岸地域等との役割・機能分担が必要

参考：アンケート結果（主な設問における年齢別の比較）

[39歳以下]

問10 「豊見城市」全体のまちづくりを図る際に、重要な場所（要所）として、重点的に活用、整備すべき場所・資源を教えてください。※2つに○印

選択肢	件数	比率	
1. 市の中心部(旧市役所周辺)の活性化	91	15.6%	15.6%
2. 真玉橋や根差部などの東部地域	46	7.9%	7.9%
3. 県道11号や国道331号など幹線道路の沿道	72	12.4%	12.4%
4. 瀬長島や豊崎などの西海岸地域	113	19.4%	19.4%
5. ラムサール条約登録湿地の漫湖周辺	39	6.7%	6.7%
6. 豊見城城址の周辺一帯	61	10.5%	10.5%
7. 地域を流下する饒波川	18	3.1%	3.1%
8. 与根漁港などの漁港	19	3.3%	3.3%
9. 豊かな緑に被われた丘陵地	32	5.5%	5.5%
10. 平坦地に広がる農業地域	22	3.8%	3.8%
11. 海辺や海岸	42	7.2%	7.2%
12. 特に活用すべき場所・資源は無い	8	1.4%	1.4%
13. その他	14	2.4%	2.4%
無回答	5	0.9%	0.9%
計	582	100.0%	

・39歳以下では、「豊崎などの西海岸地域」が最も多く、40歳以上では「市の中心部」が最も多い

[40歳以上]

選択肢	件数	比率	
1. 市の中心部(旧市役所周辺)の活性化	276	18.3%	18.3%
2. 真玉橋や根差部などの東部地域	102	6.8%	6.8%
3. 県道11号や国道331号など幹線道路の沿道	193	12.8%	12.8%
4. 瀬長島や豊崎などの西海岸地域	197	13.0%	13.0%
5. ラムサール条約登録湿地の漫湖周辺	84	5.6%	5.6%
6. 豊見城城址の周辺一帯	213	14.1%	14.1%
7. 地域を流下する饒波川	65	4.3%	4.3%
8. 与根漁港などの漁港	28	1.9%	1.9%
9. 豊かな緑に被われた丘陵地	101	6.7%	6.7%
10. 平坦地に広がる農業地域	82	5.4%	5.4%
11. 海辺や海岸	74	4.9%	4.9%
12. 特に活用すべき場所・資源は無い	23	1.5%	1.5%
13. その他	25	1.7%	1.7%
無回答	47	3.1%	3.1%
計	1,510	100.0%	

②居住

図表 将来のイメージ（アンケート結果）

問9 あなたは「豊見城市」が将来どのようなイメージのまちになってほしいと思いますか？
※3つに○印

選択肢	件数	比率	
1. 農業を活かしたのどかなまち	262	7.8%	7.8%
2. 商業・サービス業の盛んなまち	165	4.9%	4.9%
3. 水産業の盛んなまち	11	0.3%	0.3%
4. 工業が盛んで働く場が充実したまち	65	1.9%	1.9%
5. 住みやすい住環境のまち	758	22.6%	22.6%
6. 山・川などの自然が豊かなまち	137	4.1%	4.1%
7. 歴史・文化の趣のあるまち	75	2.2%	2.2%
8. 多くの人を訪れる観光や交流のまち	117	3.5%	3.5%
9. 高齢者や障害者が住みやすい福祉のまち	500	14.9%	14.9%
10. 防災性に優れた安全に暮らせるまち	408	12.2%	12.2%
11. 美しい街並み・景観のあるまち	220	6.6%	6.6%
12. 地域活動が活発なふれあいのまち	196	5.9%	5.9%
13. 交通の便の良いまち	387	11.6%	11.6%
14. その他	15	0.4%	0.4%
無回答	32	1.0%	1.0%
計	3,348	100.0%	

・ 将来のまちのイメージとして「住みやすい住環境のまち」を希望する意見が最も多い

・ 誰もが暮らしやすい都市づくりが必要

参考：アンケート結果（主な設問における年齢別の比較）

[39歳以下]

問9 あなたは「豊見城市」が将来どのようなイメージのまちになってほしいと思いますか？
※3つに○印

選択肢	件数	比率	
1. 農業を活かしたのどかなまち	65	7.2%	7.2%
2. 商業・サービス業の盛んなまち	54	6.0%	6.0%
3. 水産業の盛んなまち	1	0.1%	0.1%
4. 工業が盛んで働く場が充実したまち	8	0.9%	0.9%
5. 住みやすい住環境のまち	226	25.1%	25.1%
6. 山・川などの自然が豊かなまち	45	5.0%	5.0%
7. 歴史・文化の趣のあるまち	17	1.9%	1.9%
8. 多くの人が訪れる観光や交流のまち	35	3.9%	3.9%
9. 高齢者や障害者が住みやすい福祉のまち	77	8.5%	8.5%
10. 防災性に優れた安全に暮らせるまち	115	12.8%	12.8%
11. 美しい街並み・景観のあるまち	84	9.3%	9.3%
12. 地域活動が活発なふれあいのまち	52	5.8%	5.8%
13. 交通の便の良いまち	112	12.4%	12.4%
14. その他	6	0.7%	0.7%
無回答	4	0.4%	0.4%
計	901	100.0%	

- ・ 39歳以下、40歳以上ともに、「住みやすい住環境のまち」が最も多い
- ・ 40歳以上では、「福祉のまち」が39歳以下と比較して多い傾向にある

[40歳以上]

選択肢	件数	比率	
1. 農業を活かしたのどかなまち	188	8.0%	8.0%
2. 商業・サービス業の盛んなまち	108	4.6%	4.6%
3. 水産業の盛んなまち	10	0.4%	0.4%
4. 工業が盛んで働く場が充実したまち	56	2.4%	2.4%
5. 住みやすい住環境のまち	517	21.9%	21.9%
6. 山・川などの自然が豊かなまち	92	3.9%	3.9%
7. 歴史・文化の趣のあるまち	57	2.4%	2.4%
8. 多くの人が訪れる観光や交流のまち	79	3.3%	3.3%
9. 高齢者や障害者が住みやすい福祉のまち	408	17.3%	17.3%
10. 防災性に優れた安全に暮らせるまち	283	12.0%	12.0%
11. 美しい街並み・景観のあるまち	132	5.6%	5.6%
12. 地域活動が活発なふれあいのまち	138	5.8%	5.8%
13. 交通の便の良いまち	260	11.0%	11.0%
14. その他	9	0.4%	0.4%
無回答	23	1.0%	1.0%
計	2,360	100.0%	

図表 これからのまちづくり（アンケート結果）

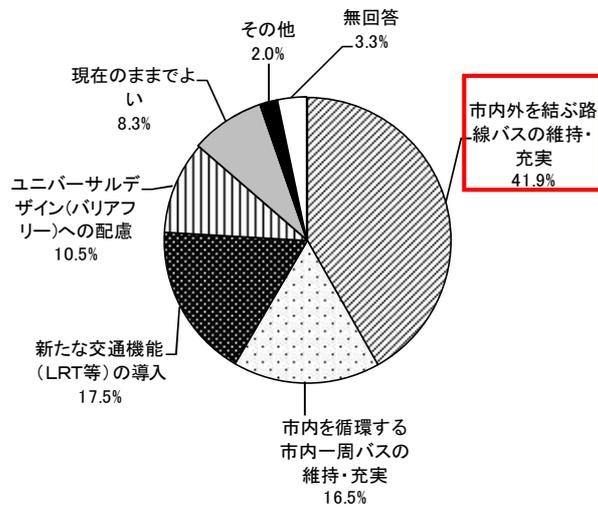
問14 これからの「豊見城市」のまちづくりについて、何が重要だと感じますか？

次に示す分野ごとにお答えください。※それぞれ1つに○印

【公共交通について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 市内外を結ぶ路線バスの維持・充実	487	41.9%
2. 市内を循環する市内一周バスの維持・充実	192	16.5%
3. 新たな交通機能(LRT等)の導入	204	17.5%
4. ユニバーサルデザイン(バリアフリー)への配慮	122	10.5%
5. 現在のままでよい	97	8.3%
6. その他	23	2.0%
無回答	38	3.3%
計	1,163	100.0%

複数回答による集計除外4名



・ 重要な公共交通施策では「市内外を結ぶ路線バスの維持・充実」が最も多い



・ 市内外の拠点間を結ぶ公共交通網の維持・充実が必要

参考：アンケート結果（主な設問における年齢別の比較）

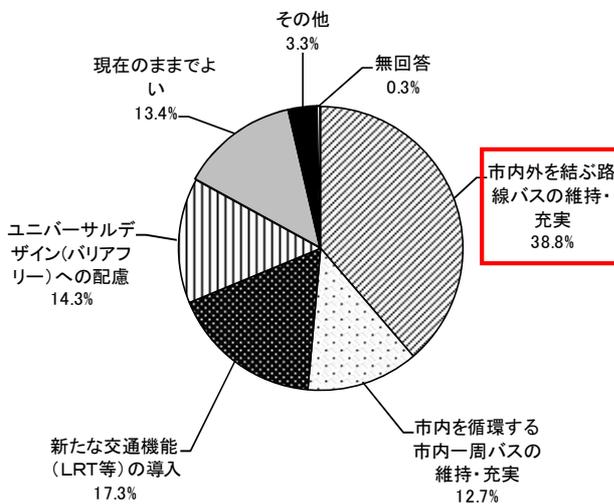
[39歳以下]

問14 これからの「豊見城市」のまちづくりについて、何が重要だと感じますか？

次に示す分野ごとにお答えください。※それぞれ1つに○印

【公共交通について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 市内外を結ぶ路線バスの維持・充実	119	38.8%
2. 市内を循環する市内一周バスの維持・充実	39	12.7%
3. 新たな交通機能(LRT等)の導入	53	17.3%
4. ユニバーサルデザイン(バリアフリー)への配慮	44	14.3%
5. 現在のままでよい	41	13.4%
6. その他	10	3.3%
無回答	1	0.3%
計	307	100.0%

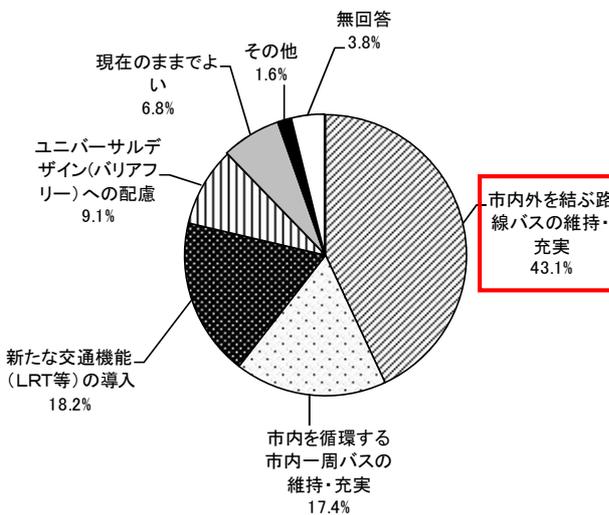


- ・39歳以下、40歳以上ともに、「バスの維持・充実」の意見が最も多い
- ・新たな交通機能については同程度（約2割）
- ・39歳以下の方が、ユニバーサルデザインへの配慮を望んでいる

[40歳以上]

【公共交通について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 市内外を結ぶ路線バスの維持・充実	354	43.1%
2. 市内を循環する市内一周バスの維持・充実	143	17.4%
3. 新たな交通機能(LRT等)の導入	150	18.2%
4. ユニバーサルデザイン(バリアフリー)への配慮	75	9.1%
5. 現在のままでよい	56	6.8%
6. その他	13	1.6%
無回答	31	3.8%
計	822	100.0%



複数回答による集計除外4名

③交流

図表 将来の土地利用（アンケート結果）

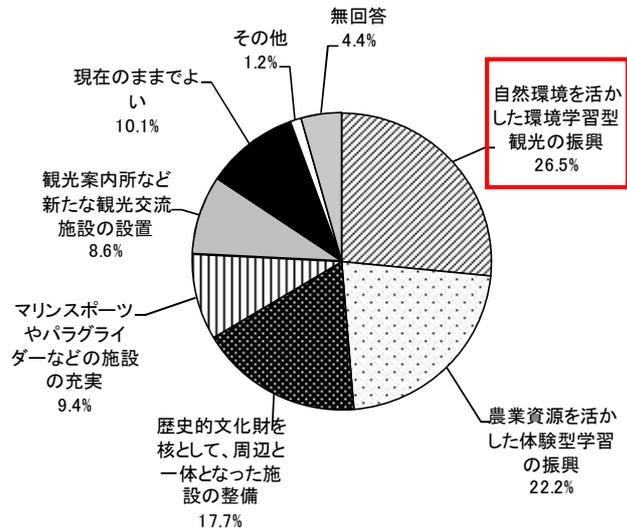
問13 「豊見城市」の将来の土地利用について、何が重要だと思いますか？

以下に示すそれぞれの分野ごとにお答えください。＊それぞれ1つに○印

【観光・レクリエーションの土地利用について】＊1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 自然環境を活かした環境学習型観光の振興	309	26.5%
2. 農業資源を活かした体験型学習の振興	258	22.2%
3. 歴史的文化財を核として、周辺と一体となった施設の整備	206	17.7%
4. マリンスポーツやパラグライダーなどの施設の充実	109	9.4%
5. 観光案内所など新たな観光交流施設の設置	100	8.6%
6. 現在のままでよい	117	10.1%
7. その他	14	1.2%
無回答	51	4.4%
計	1,164	100.0%

複数回答による集計除外3名



・重要と考える観光・レクリエーションの土地利用では、「自然環境を活かした環境学習型観光の振興」が最も多い



・自然環境を活かした観光振興等による地域活性化が必要

図表 将来の土地利用（アンケート結果）

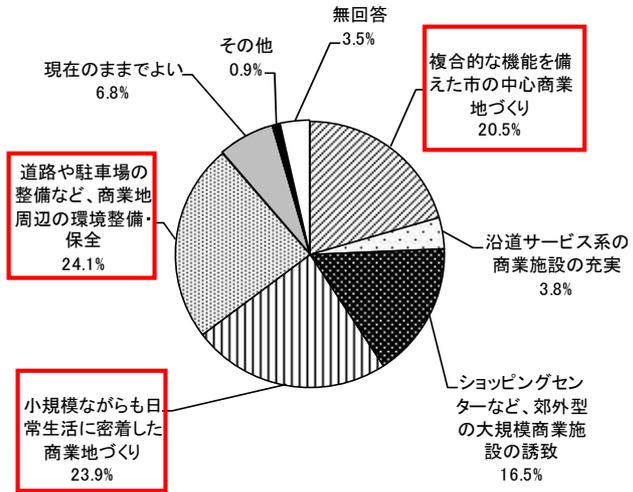
問13 「豊見城市」の将来の土地利用について、何が重要だと思いますか？

以下に示すそれぞれの分野ごとにお答えください。※それぞれ1つに○印

【商業地の土地利用について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 複合的な機能を備えた市の中心商業地づくり	239	20.5%
2. 沿道サービス系の商業施設の充実	44	3.8%
3. ショッピングセンターなど、郊外型の大規模商業施設の誘致	192	16.5%
4. 小規模ながらも日常生活に密着した商業地づくり	278	23.9%
5. 道路や駐車場の整備など、商業地周辺の環境整備・保全	280	24.1%
6. 現在のままでよい	79	6.8%
7. その他	11	0.9%
無回答	41	3.5%
計	1,164	100.0%

複数回答による集計除外3名



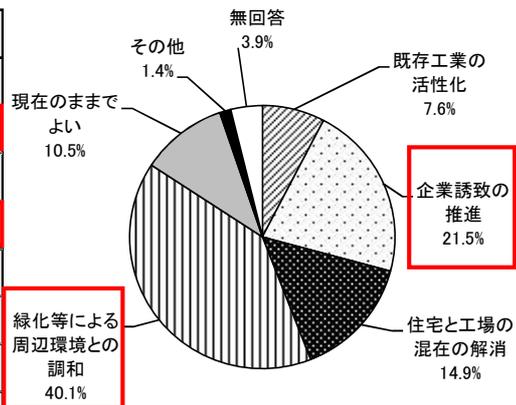
- ・重要と考える商業地の土地利用では、「道路や駐車場の整備など、商業地周辺の環境整備・保全」、「小規模ながらも日常生活に密着した商業地づくり」が同程度で最も多い
- ・また、「複合的な機能を備えた市の中心商業地づくり」も高い数値となっている

・地域特性に応じた商業地の形成と周辺環境の整備が必要

【工業地の土地利用について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 既存工業の活性化	89	7.6%
2. 企業誘致の推進	251	21.5%
3. 住宅と工場の混在の解消	174	14.9%
4. 緑化等による周辺環境との調和	468	40.1%
5. 現在のままでよい	123	10.5%
6. その他	16	1.4%
無回答	45	3.9%
計	1,166	100.0%

複数回答による集計除外1名



- ・重要と考える工業地の土地利用では、「緑化等による周辺環境との調和」が最も多い
- ・次いで「企業誘致の推進」が高い数値となっている

・周辺環境との調和や企業誘致の推進による産業振興が必要

④働く場

図表 現状の満足度（アンケート結果）

問8 あなたがお住まいの地域のまちづくりについてどう思いますか？
※それぞれの項目について、該当する「現状の満足度」、「今後の重要度」1つずつ〇印

【現状の満足度】

〔件数〕

項目	1 満足	2 ほぼ 満足	3 普通	4 やや 不満	5 不満	無回答	計	平均値
1. 住環境の快適さ	231	549	165	122	50	50	1,167	2.29
2. 日常の買い物のしやすさ	350	518	130	92	42	35	1,167	2.08
3. 就業の場の充実度	105	209	441	178	95	139	1,167	2.95

← 中間値 (3.0)

・就業の場の充実度に関する満足度は「普通」という意見が多く、中間値程度となっている

参考：アンケート結果（主な設問における年齢別の比較）

[39歳以下]

【現状の満足度】

〔件数〕

項目	1 満足	2 ほぼ 満足	3 普通	4 やや 不満	5 不満	無回答	計	平均値
1. 住環境の快適さ	85	145	28	30	10	9	307	2.11
2. 日常の買い物のしやすさ	137	118	24	17	9	2	307	1.83
3. 就業の場の充実度	41	63	124	48	27	4	307	2.86

← 中間値 (3.0)

[40歳以上]

【現状の満足度】

〔件数〕

項目	1 満足	2 ほぼ 満足	3 普通	4 やや 不満	5 不満	無回答	計	平均値
1. 住環境の快適さ	142	391	130	88	39	36	826	2.36
2. 日常の買い物のしやすさ	202	389	105	71	32	27	826	2.18
3. 就業の場の充実度	61	144	310	123	64	124	826	2.98

← 中間値 (3.0)

・39歳以下、40歳以上に大きな差はない

⑤社会情勢

図表 現状の満足度（アンケート結果）

問8 あなたがお住まいの地域のまちづくりについてどう思いますか？

※それぞれの項目について、該当する「現状の満足度」、「今後の重要度」1つずつ〇印

【現状の満足度】

〔件数〕

項目	1 満足	2 ほぼ 満足	3 普通	4 やや 不満	5 不満	無回答	計	平均値
11. 良好な景観の保全・形成	61	351	513	135	45	62	1,167	2.78
12. 騒音や悪臭などの環境対策	76	330	374	231	113	43	1,167	2.98
13. レジャー・スポーツ施設の充実度	33	149	490	301	135	59	1,167	3.32

← 中間値 (3.0)

・ 環境対策の満足度は「普通」という意見が多く、ほぼ中間値程度となっている

参考：アンケート結果（主な設問における年齢別の比較）

[39歳以下]

【現状の満足度】

〔件数〕

項目	1 満足	2 ほぼ 満足	3 普通	4 やや 不満	5 不満	無回答	計	平均値
11. 良好な景観の保全・形成	29	112	131	23	10	2	307	2.58
12. 騒音や悪臭などの環境対策	23	104	92	56	29	3	307	2.88
13. レジャー・スポーツ施設の充実度	18	48	115	86	37	3	307	3.25

← 中間値 (3.0)

[40歳以上]

【現状の満足度】

〔件数〕

項目	1 満足	2 ほぼ 満足	3 普通	4 やや 不満	5 不満	無回答	計	平均値
11. 良好な景観の保全・形成	31	230	371	109	32	53	826	2.85
12. 騒音や悪臭などの環境対策	49	216	278	168	80	35	826	3.02
13. レジャー・スポーツ施設の充実度	14	100	364	202	96	50	826	3.34

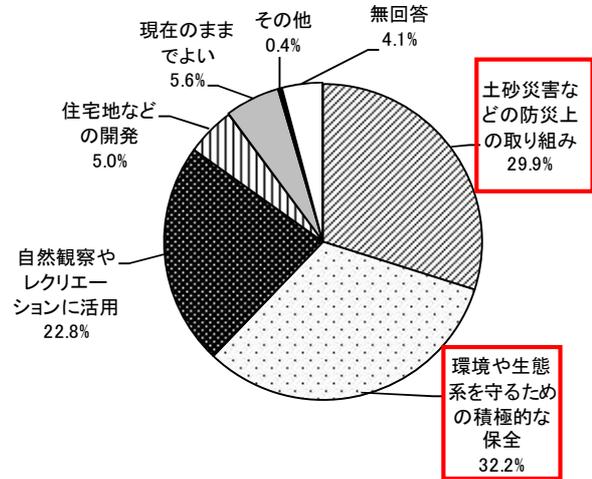
← 中間値 (3.0)

・ 39歳以下、40歳以上に大きな差はない

図表 将来の土地利用（アンケート結果）

【森林・自然地の土地利用について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 土砂災害などの防災上の取り組み	349	29.9%
2. 環境や生態系を守るための積極的な保全	376	32.2%
3. 自然観察やレクリエーションに活用	266	22.8%
4. 住宅地などの開発	58	5.0%
5. 現在のままでよい	65	5.6%
6. その他	5	0.4%
無回答	48	4.1%
計	1,167	100.0%



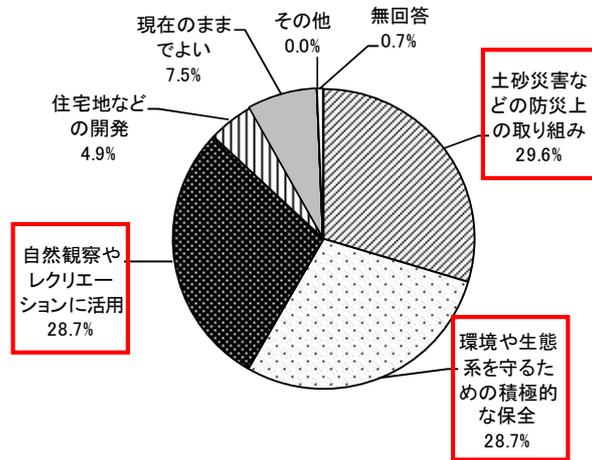
・森林・自然地の土地利用では、「環境保全」が最も多く、次いで「防災上の取り組み」となっている

参考：アンケート結果（主な設問における年齢別の比較）

[39歳以下]

【森林・自然地の土地利用について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 土砂災害などの防災上の取り組み	91	29.6%
2. 環境や生態系を守るための積極的な保全	88	28.7%
3. 自然観察やレクリエーションに活用	88	28.7%
4. 住宅地などの開発	15	4.9%
5. 現在のままでよい	23	7.5%
6. その他	0	0.0%
無回答	2	0.7%
計	307	100.0%

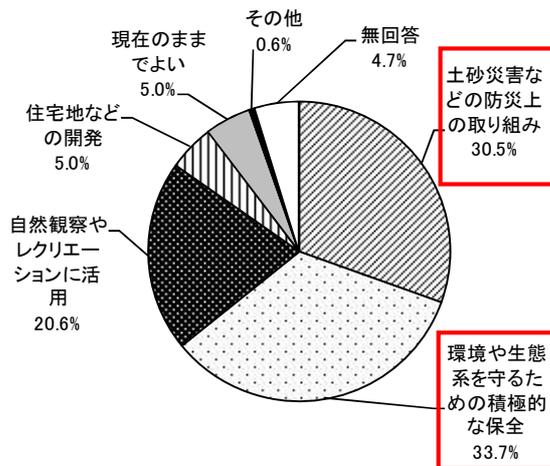


・「環境保全」、「防災上の取り組み」は両者ともに高い
 ・39歳以下の方が「レクリエーションに活用」は高い

[40歳以上]

【森林・自然地の土地利用について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 土砂災害などの防災上の取り組み	252	30.5%
2. 環境や生態系を守るための積極的な保全	278	33.7%
3. 自然観察やレクリエーションに活用	170	20.6%
4. 住宅地などの開発	41	5.0%
5. 現在のままでよい	41	5.0%
6. その他	5	0.6%
無回答	39	4.7%
計	826	100.0%



2-5 都市構造上の課題の整理

都市づくりに係わる現況、これまでの成果、市民アンケート結果を踏まえ、都市づくりに関する5つの視点（①まちの顔、②居住、③交流、④働く場、⑤社会情勢）で都市構造上の課題を整理する。

図表 都市構造上の課題

5つの視点	これまでの成果	現況調査・市民アンケート【結果】※ページは資料2に対応	都市構造上の課題
①まちの顔	<ul style="list-style-type: none"> 豊見城・高安地区地区計画による道路整備 県道68号線拡幅に合わせた商業系用途変更による中心市街地の利便性向上 幹線道路の拡幅整備による中心市街地へのアクセス性向上 	P13 図表①-1 商業施設の集積状況 P14 図表①-2 買物動向	・「まちの顔」としての商業系用途地域の適正配置と商業機能の立地誘導
		P15 図表①-3 生活利便施設の集積状況 P15 図表①-4 市街化区域内の低未利用地と用途地域の状況	・多様な都市機能の集積による求心力の向上
		P15 図表①-4 市街化区域内の低未利用地と用途地域の状況	・豊見城交差点北側のまとまりのある低未利用地の有効活用
		P16 図表①-5 公共交通の運行水準 P16 図表①-6 道路混雑度と交通量	・中心市街地と市内外の他拠点を結ぶ道路・交通ネットワークの強化
		P32 図表 市全体のまちづくりで重要な場所（アンケート結果）	・豊崎地区等の他拠点との役割・機能分担
②居住	<ul style="list-style-type: none"> 宜保土地区画整理事業による良好な住宅地の形成 豊崎地先開発事業による良好な住宅地、産業拠点の形成 	P17 図表②-1 人口増加率 H27-47 P34 図表 将来のイメージ（アンケート結果）	・人口増加に対する受け皿の確保と良質な住宅地の形成
		P18 図表②-2 都市計画道路の整備状況 P18 図表②-3 都市公園の整備状況 P18 図表②-4 下水道の整備状況	・都市施設の継続的な整備による整備水準の向上
		P19 図表②-5 都市基盤整備の状況	・継続的な都市基盤の整備と基盤整備された地区の有効活用
		P19 図表②-6 公共交通の運行水準 P37 図表 これからのまちづくり（アンケート結果）	・市内の拠点を結ぶ公共交通の維持、利便性の向上
		P20 図表②-7 H22 可住地人口密度と生活利便施設の分布状況	・人口密度や生活利便施設集積の維持・向上
		P21 図表②-8 市街化区域内の低未利用地と用途地域の状況	・市街化区域内におけるまとまりのある低未利用地の有効活用と用途地域の適正配置
		P23 図表②-10 人口の推移 P23 図表②-11 H47 字別高齢化率と災害危険箇所	・防災対策や公共交通施策などの超高齢社会を見据えた都市づくり
		P22 図表②-9 産業系土地利用の分布状況	・市街化区域縁辺部で立地する工業・産業系施設と隣接する住宅地との調和
③交流	<ul style="list-style-type: none"> 各種道路整備による交通利便性の向上 豊崎総合公園の整備による豊崎地区の観光レクリエーション機能の向上 瀬長島の開発や周辺整備による観光レクリエーション機能の向上 	P24 図表③-1 国道及び県道の整備状況	・広域インフラを活かした近隣都市や市内拠点間の連携・交流の強化
		P25 図表③-2 道路混雑度と交通量	・国道331号等の広域的な幹線道路、拠点間を結ぶ幹線道路の整備
		P25 図表③-3 主な景観要素の分布状況 P38 図表 将来の土地利用（アンケート結果）	・市街地内・外に残存する斜面緑地や漫湖の干潟、文化財など景観資源の一体的な保全・活用による地域活性化
④働く場	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄西海岸道路の整備や豊崎地先開発事業による業務・流通機能の集積 	P26 図表④-1 年間商品販売と製造品出荷額等の状況 P28 図表④-4 産業系土地利用の分布状況	・沖縄西海岸道路の整備、那覇空港第2滑走路の増設や那覇空港自動車道の整備による交通利便性や地理的優位性を活かした産業用地の集積
		P27 図表④-2 自市内就業率と中夜間人口比率	・職住近接による自立性の向上に寄与する産業振興
		P28 図表④-3 H12～H22 流出・流入人口（就業者数）	・地域特性に応じた産業振興と周辺環境との調和
⑤社会情勢	<ul style="list-style-type: none"> 市内一周バスの運行開始による市内公共交通の充実 	P29 図表⑤-1 世界の平均気温の変化 P29 図表⑤-2 日本の部門別二酸化炭素排出量の割合（2012年度）	・低炭素まちづくりの推進
		P30 図表⑤-3 自家用車保有台数	・環境負荷の低減に向けて公共交通の充実が必要

第3章 都市づくりの目標

3-1 都市の将来像

都市計画マスタープランは20年先を見据えた10カ年計画であることが基本である。

- 現行都市マス(2001~2020)の将来像を

みどり豊かな健康文化都市・豊見城
(サブテーマ)
~すべての住民が安心して生き活きと暮らせる・活力と賑わいのある街~

- 第四次総合計画(2011~2020)の将来像を

「ひと・そら・みどり がつなぐ^{とよ}響むまち とみぐすく」

が示されている。また、改定都市マスの市民アンケートでは「市の将来イメージ」は、

- 「住みやすい住環境のまち」
- 「高齢者や障害者が住みやすい福祉のまち」
- 「防災性に優れた安全に暮らせるまち」
- 「交通の便の良いまち」

などが挙げられ、

「誰もが暮らしやすい都市づくり」

を共通としている。また、第1章1-2改定のポイントで示した2つのテーマ

- 「市の自立性・求心力を高める都市づくり」
- 「広域都市圏の一体的な発展に貢献する都市づくり」

を踏まえた改定都市マスの将来像(2017~2027)を設定する。

3-2 都市づくりの目標

前章では、5つの視点（①まちの顔②居住③交流④働く場⑤社会情勢）で都市構造上の課題を整理した。

図表 都市構造上の課題

5つの視点	これまでの成果	都市構造上の課題
①まちの顔	<ul style="list-style-type: none"> ・豊見城・高安地区地区計画による道路整備 ・県道68号線拡幅に合わせた商業系用途変更による中心市街地の利便性向上 ・幹線道路の拡幅整備による中心市街地へのアクセス性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちの顔」としての商業系用途地域の適正配置と商業機能の立地誘導 ・多様な都市機能の集積による求心力の向上 ・豊見城交差点北側のまとまりのある低未利用地の有効活用 ・中心市街地と市内外の他拠点をつなぐ道路・交通ネットワークの強化 ・豊崎地区等の他拠点との役割・機能分担
②居住	<ul style="list-style-type: none"> ・豊見城土地区画整理事業による良好な住宅地の形成 ・宜保土地区画整理事業による良好な住宅地の形成 ・豊崎地先開発事業による良好な住宅地、産業拠点の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口増加に対する受け皿の確保と良質な住宅地の形成 ・都市施設の継続的な整備による整備水準の向上 ・継続的な都市基盤の整備と基盤整備された地区の有効活用 ・市内の拠点を結ぶ公共交通の維持、利便性の向上 ・人口密度や生活利便施設集積の維持・向上 ・市街化区域内におけるまとまりのある低未利用地の有効活用と用途地域の適正配置 ・防災対策や公共交通施策などの超高齢社会を見据えた都市づくり ・市街化区域縁辺部で立地する工業・産業系施設と隣接する住宅地との調和
③交流	<ul style="list-style-type: none"> ・各種道路整備による交通利便性の向上 ・豊崎総合公園の整備による豊崎地区の観光レクリエーション機能の向上 ・瀬長島の開発や周辺整備による観光レクリエーション機能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域インフラを活かした近隣都市や市内拠点間の連携・交流の強化 ・国道331号等の広域的な幹線道路、拠点間をつなぐ幹線道路の整備 ・市街地内・外に残存する斜面緑地や漫湖の干潟、文化財など景観資源の一体的な保全・活用による地域活性化
④働く場	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄西海岸道路の整備や豊崎地先開発事業による業務・流通機能の集積 	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄西海岸道路の整備、那覇空港第2滑走路の増設や那覇空港自動車道の整備による交通利便性や地理的優位性を活かした産業用地の集積 ・職住近接による自立性の向上に寄与する産業振興 ・地域特性に応じた産業振興と周辺環境との調和
⑤社会情勢	<ul style="list-style-type: none"> ・市内一周バスの運行開始による市内公共交通の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・低炭素まちづくりの推進 ・環境負荷の低減に向けて公共交通の充実が必要

3-1 都市の将来像を踏まえ、5つの視点（①まちの顔②居住③交流④働く場⑤社会情勢）に対する目標とそれらを推進するためのプラス1の目標を次のように設定する。

「誰もが暮らしやすい都市づくり」をテーマに将来像を設定

サブテーマ～「市の自立性・求心力を高める都市づくり」～
～「広域都市圏の一体的な発展に貢献する都市づくり」～

①「まちの顔」の視点に対する目標：魅力的なまちの顔の創出

中心地の利便性・拠点性を活かしたまちの顔づくりや多様な都市機能の集積を図る
[関連する都市計画施策分野] 市街地整備、土地利用、環境・景観
例：庁舎の建設、計画的な市街地の形成（地区計画等）

②「居住」の視点に対する目標：便利で快適な住宅地の形成

地域特性に応じた良好な住宅地の形成や、快適な暮らしを支える各種基盤施設の整備を進める
[関連する都市計画施策分野] 市街地整備、土地利用、環境・景観、下水道・河川、防災
例：景観計画による良好な景観の形成、市街化調整区域の地区計画

③「交流」の視点に対する目標：交流・連携の促進によるにぎわいの創出

円滑な移動を支える都市基盤施設を整備し、市内外の交流・連携の強化を図る
[関連する都市計画施策分野] 道路・交通、土地利用、環境・景観
例：西海岸道路の整備、那覇空港自動車道・ICの整備、幹線道路の整備、
瀬長島の整備、豊見城城址跡地の整備、グスクを活用した公園の整備

④「働く場」の視点に対する目標：雇用と活力を生み出す産業の振興

空港、港湾、那覇市との近接性や地域特性を活かした観光地・産業地を形成する
[関連する都市計画施策分野] 道路・交通、土地利用
例：物流産業の集積

⑤「社会情勢」の視点に対する目標：都市とみどりが調和する環境にやさしい都市の構築

公共交通への利用転換、斜面緑地等の自然環境との調和など、環境負荷の小さい都市づくりを進める
[関連する都市計画施策分野] 土地利用、道路・交通、環境・景観、下水道・河川
例：モノレールの延伸やLRTの導入を含めた公共交通ネットワークの構築

⑥「プラス1」の目標：協働・参画による地域のまちづくりの推進

市民や事業者等との協働による個性豊かな都市づくりを進める
[関連する都市計画施策分野] すべて
例：都市計画提案制度の推進、地区計画の申出制度の創設

卷末資料

巻末－1 アンケート調査結果（単純集計）

■調査概要

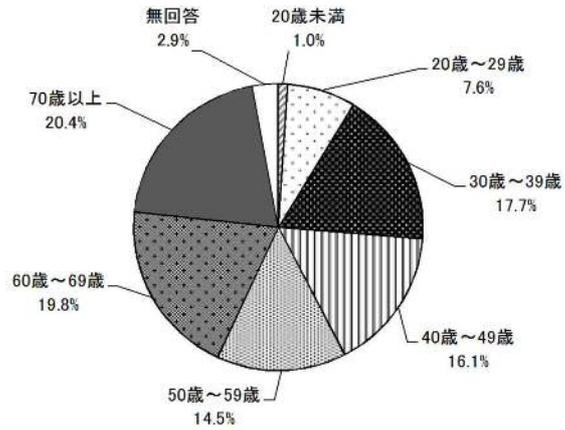
項目	概要						
調査の目的	<p>■下記の内容を調査し、「豊見城市都市計画マスタープラン」改定の基礎資料として活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のまちづくりに関する満足度・重要度について ・市全体のまちづくりに関する将来のイメージについて ・市全体の今後の土地利用について（分野ごと） ・市民参加のまちづくりについて 						
調査対象	<p>■平成 26 年 7 月 31 日時点で豊見城市在住の 18 歳以上の方について、字別に無作為抽出（計 3,500 人）</p>						
調査の実施方法	<p>■郵送によるアンケート用紙の配布・回収</p>						
調査実施期間	<p>■平成 26 年 9 月 12 日（金） ～ 9 月 29 日（月）</p>						
発送・回収状況	<p>■発送・回収状況は以下のとおり</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>発送数</th> <th>回収数</th> <th>回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,500 件</td> <td>1,167 件</td> <td>33.3%</td> </tr> </tbody> </table>	発送数	回収数	回収率	3,500 件	1,167 件	33.3%
発送数	回収数	回収率					
3,500 件	1,167 件	33.3%					

回答者: 1,167人

◆あなたご自身のことについて、お聞きます

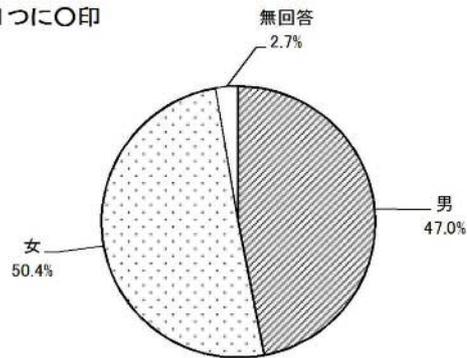
問1 あなたの年齢は、次のうちどれですか? ※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 20歳未満	12	1.0%
2. 20歳～29歳	89	7.6%
3. 30歳～39歳	206	17.7%
4. 40歳～49歳	188	16.1%
5. 50歳～59歳	169	14.5%
6. 60歳～69歳	231	19.8%
7. 70歳以上	238	20.4%
無回答	34	2.9%
計	1,167	100.0%



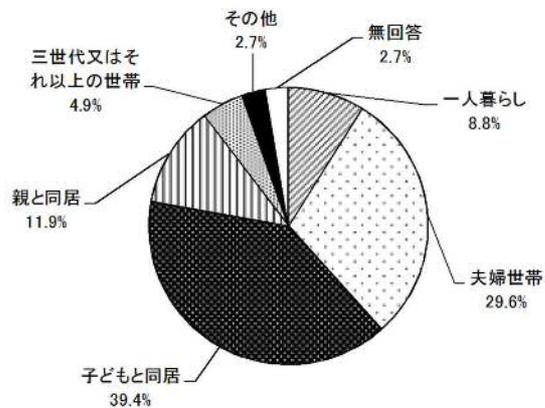
問2 あなたの性別は、次のうちどれですか? ※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 男	548	47.0%
2. 女	588	50.4%
無回答	31	2.7%
計	1,167	100.0%



問3 あなたの世帯構成は、次のうちどれですか? ※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 一人暮らし	103	8.8%
2. 夫婦世帯	344	29.6%
3. 子どもと同居	459	39.4%
4. 親と同居	138	11.9%
5. 三世代又はそれ以上の世帯	57	4.9%
6. その他	32	2.7%
無回答	31	2.7%
計	1,164	100.0%



複数回答による集計除外3名

問4 あなたがお住まいの地域は、次のうちどれですか？※1つに○印

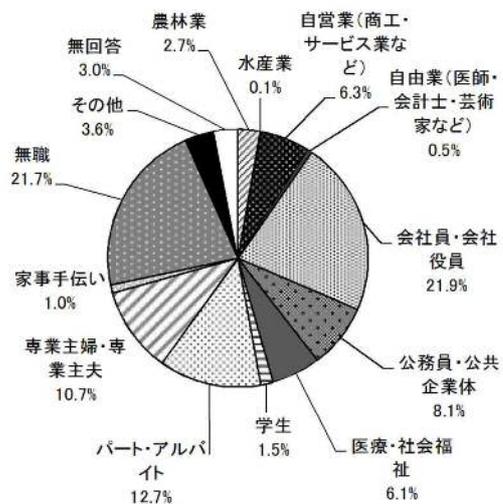
選択肢	件数	比率
1. 豊見城	155	13.3%
2. 宜保	90	7.7%
3. 我那覇	68	5.8%
4. 名嘉地	27	2.3%
5. 田頭	4	0.3%
6. 瀬長	7	0.6%
7. 与根	30	2.6%
8. 伊良波	15	1.3%
9. 座安	9	0.8%
10. 渡橋名	21	1.8%
11. 上田	85	7.3%
12. 渡嘉敷	14	1.2%
13. 翁長	39	3.3%
14. 保栄茂	24	2.1%
15. 高嶺	56	4.8%
16. 平良	46	3.9%
17. 高安	105	9.0%
18. 饒波	16	1.4%
19. 金良	22	1.9%
20. 長堂	20	1.7%
21. 嘉数	52	4.5%
22. 真玉橋	79	6.8%
23. 根差部	72	6.2%
24. 豊崎	75	6.4%
無回答	35	3.0%
計	1,166	100.0%

複数回答による集計除外1名

問5 あなたの職業は、次のうちどれですか？※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 農林業	32	2.7%
2. 水産業	1	0.1%
3. 自営業(商工・サービス業など)	73	6.3%
4. 自由業(医師・会計士・芸術家など)	6	0.5%
5. 会社員・会社役員	255	21.9%
6. 公務員・公共企業体	94	8.1%
7. 医療・社会福祉	71	6.1%
8. 学生	18	1.5%
9. パート・アルバイト	148	12.7%
10. 専業主婦・専業主夫	125	10.7%
11. 家事手伝い	12	1.0%
12. 無職	253	21.7%
13. その他	42	3.6%
無回答	35	3.0%
計	1,165	100.0%

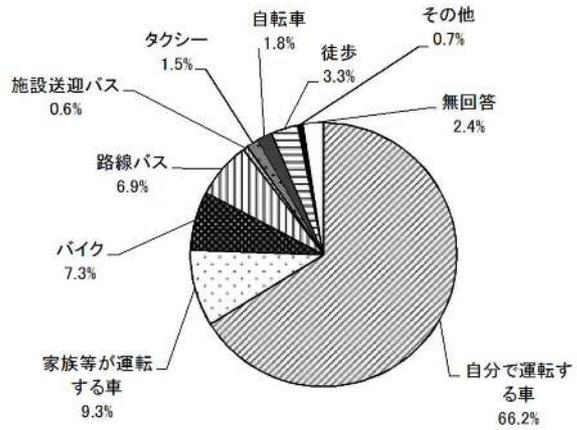
複数回答による集計除外2名



問6 あなたの交通手段は、次のうちどれですか？※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 自分で運転する車	765	66.2%
2. 家族等が運転する車	108	9.3%
3. バイク	84	7.3%
4. 路線バス	80	6.9%
5. 施設送迎バス	7	0.6%
6. タクシー	17	1.5%
7. 自転車	21	1.8%
8. 徒歩	38	3.3%
9. その他	8	0.7%
無回答	28	2.4%
計	1,156	100.0%

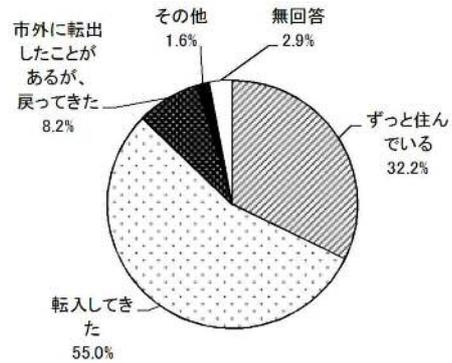
複数回答による集計除外11名



問7 あなたは豊見城市にいつから住んでいますか？※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. ずっと住んでいる	376	32.2%
2. 転入してきた	641	55.0%
3. 市外に転出したことがあるが、戻ってきた	96	8.2%
4. その他	19	1.6%
無回答	34	2.9%
計	1,166	100.0%

複数回答による集計除外1名



◆現在の「豊見城市」についてお聞きます

問8 あなたがお住まいの地域のまちづくりについてどう思いますか？

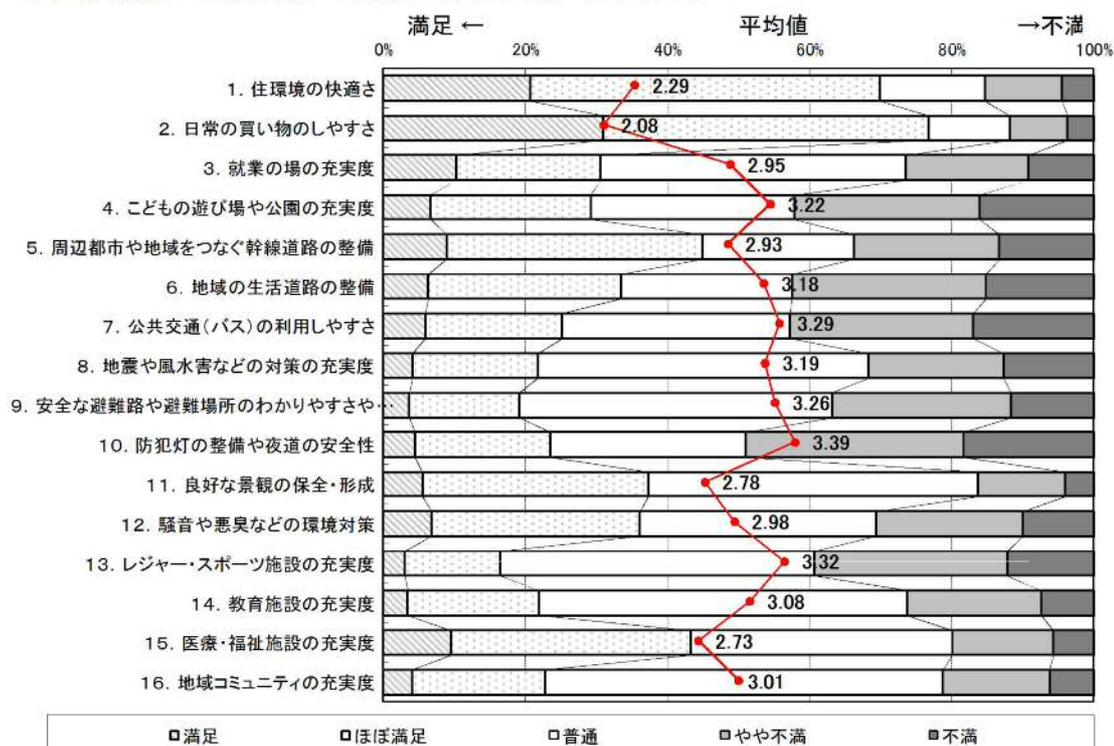
※それぞれの項目について、該当する「現状の満足度」、「今後の重要度」1つずつ〇印

【現状の満足度】

【件数】

項目	1 満足	2 ほぼ満足	3 普通	4 やや不満	5 不満	無回答	計	平均値
1. 住環境の快適さ	231	549	165	122	50	50	1,167	2.29
2. 日常の買い物のしやすさ	350	518	130	92	42	35	1,167	2.08
3. 就業の場の充実度	105	209	441	178	95	139	1,167	2.95
4. こどもの遊び場や公園の充実度	73	251	318	290	178	57	1,167	3.22
5. 周辺都市や地域をつなぐ幹線道路の整備	99	403	238	228	149	50	1,167	2.93
6. 地域の生活道路の整備	71	304	270	306	171	45	1,167	3.18
7. 公共交通(バス)の利用しやすさ	66	216	359	289	191	45	1,166	3.29
8. 地震や風水害などの対策の充実度	46	197	520	213	142	48	1,166	3.19
9. 安全な避難路や避難場所のわかりやすさや充実度	41	173	495	282	131	44	1,166	3.26
10. 防犯灯の整備や夜道の安全性	50	215	310	346	207	39	1,167	3.39
11. 良好な景観の保全・形成	61	351	513	135	45	62	1,167	2.78
12. 騒音や悪臭などの環境対策	76	330	374	231	113	43	1,167	2.98
13. レジャー・スポーツ施設の充実度	33	149	490	301	135	59	1,167	3.32
14. 教育施設の充実度	37	204	570	207	82	65	1,165	3.08
15. 医療・福祉施設の充実度	106	378	411	159	64	49	1,167	2.73
16. 地域コミュニティの充実度	45	210	628	169	70	45	1,167	3.01

※平均値(満足・1、ほぼ満足・2、普通・3、やや不満・4、不満・5)



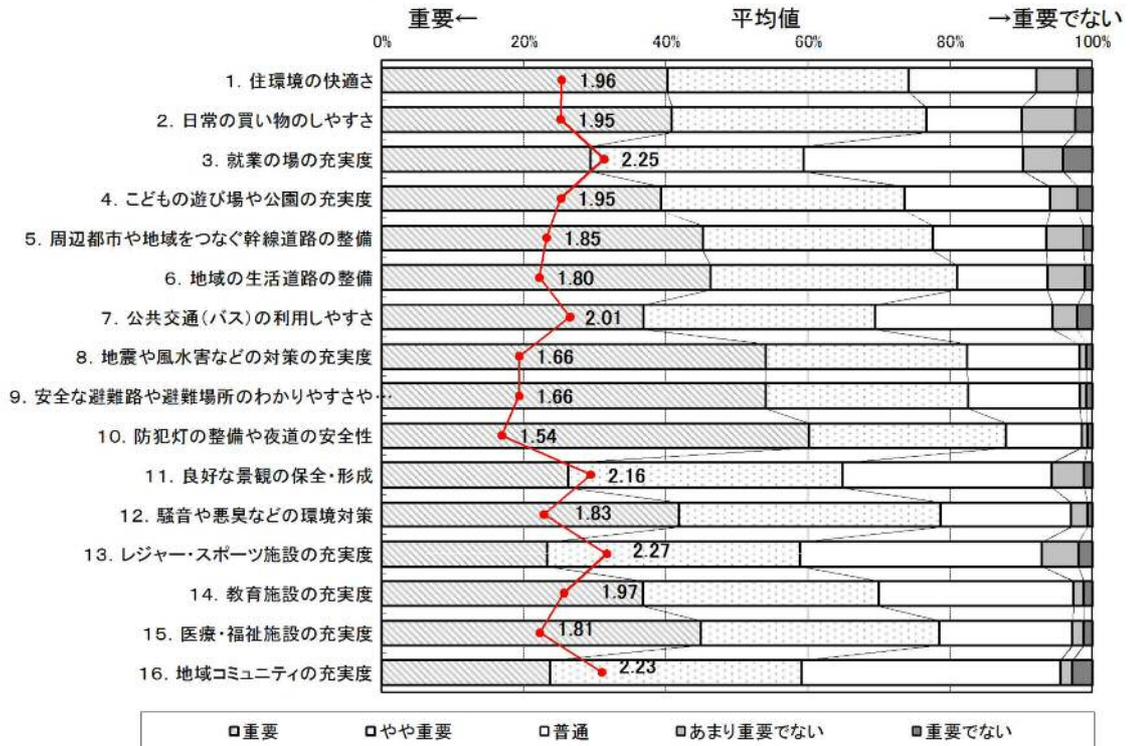
※折れ線は平均値。無回答は除く。

【今後の重要度】

[件数]

項目	1 重要	2 やや 重要	3 普通	4 あまり 重要 でない	5 重要 でない	無回答	計	平均値
1. 住環境の快適さ	406	343	181	59	21	157	1,167	1.96
2. 日常の買い物のしやすさ	414	364	136	77	24	152	1,167	1.95
3. 就業の場の充実度	283	289	298	54	40	203	1,167	2.25
4. こどもの遊び場や公園の充実度	404	353	210	40	21	138	1,166	1.95
5. 周辺都市や地域をつなぐ幹線道路の整備	465	334	164	54	13	137	1,167	1.85
6. 地域の生活道路の整備	475	356	131	54	11	139	1,166	1.80
7. 公共交通(バス)の利用しやすさ	379	336	256	36	22	137	1,166	2.01
8. 地震や風水害などの対策の充実度	557	292	163	11	8	136	1,167	1.66
9. 安全な避難路や避難場所のわかりやすさや充実度	559	294	163	10	8	133	1,167	1.66
10. 防犯灯の整備や夜道の安全性	625	289	110	9	7	127	1,167	1.54
11. 良好な景観の保全・形成	270	398	304	47	12	136	1,167	2.16
12. 騒音や悪臭などの環境対策	438	387	192	25	7	118	1,167	1.83
13. レジャー・スポーツ施設の充実度	243	372	356	54	20	122	1,167	2.27
14. 教育施設の充実度	384	347	287	14	13	121	1,166	1.97
15. 医療・福祉施設の充実度	470	353	196	16	13	119	1,167	1.81
16. 地域コミュニティの充実度	249	372	383	18	29	116	1,167	2.23

※平均値(重要・1、やや重要・2、普通・3、あまり重要でない・4、重要でない・5)



※折れ線は平均値。無回答は除く。

◆ 将来の「豊見城市」全体のまちづくりについてお聞きします

問9 あなたは「豊見城市」が将来どのようなイメージのまちになってほしいと思いますか？

※3つに○印

選択肢	件数	比率	
1. 農業を活かしたのどかなまち	262	7.8%	7.8%
2. 商業・サービス業の盛んなまち	165	4.9%	4.9%
3. 水産業の盛んなまち	11	0.3%	0.3%
4. 工業が盛んで働く場が充実したまち	65	1.9%	1.9%
5. 住みやすい住環境のまち	758	22.6%	22.6%
6. 山・川などの自然が豊かなまち	137	4.1%	4.1%
7. 歴史・文化の趣のあるまち	75	2.2%	2.2%
8. 多くの人を訪れる観光や交流のまち	117	3.5%	3.5%
9. 高齢者や障害者が住みやすい福祉のまち	500	14.9%	14.9%
10. 防災性に優れた安全に暮らせるまち	408	12.2%	12.2%
11. 美しい街並み・景観のあるまち	220	6.6%	6.6%
12. 地域活動が活発なふれあいのまち	196	5.9%	5.9%
13. 交通の便の良いまち	387	11.6%	11.6%
14. その他	15	0.4%	0.4%
無回答	32	1.0%	1.0%
計	3,348	100.0%	

問10 「豊見城市」全体のまちづくりを図る際に、重要な場所(要所)として、重点的に

活用、整備すべき場所・資源を教えてください。※2つに○印

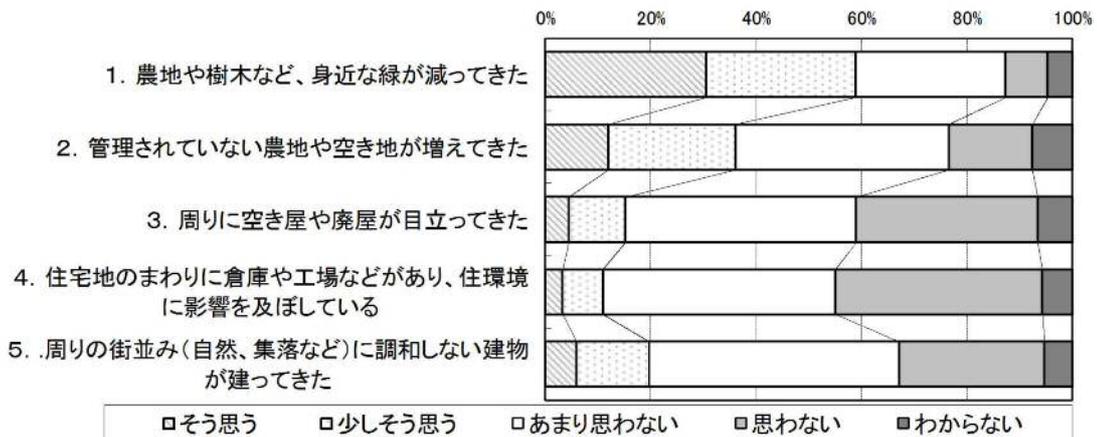
選択肢	件数	比率	
1. 市の中心部(旧市役所周辺)の活性化	376	17.5%	17.5%
2. 真玉橋や根差部などの東部地域	153	7.1%	7.1%
3. 県道11号や国道331号など幹線道路の沿道	271	12.6%	12.6%
4. 瀬長島や豊崎などの西海岸地域	313	14.6%	14.6%
5. ラムサル条約登録湿地の漫湖周辺	124	5.8%	5.8%
6. 豊見城城址の周辺一帯	281	13.1%	13.1%
7. 地域を流下する饒波川	88	4.1%	4.1%
8. 与根漁港などの漁港	47	2.2%	2.2%
9. 豊かな緑に被われた丘陵地	136	6.3%	6.3%
10. 平坦地に広がる農業地域	107	5.0%	5.0%
11. 海辺や海岸	118	5.5%	5.5%
12. 特に活用すべき場所・資源は無い	31	1.4%	1.4%
13. その他	40	1.9%	1.9%
無回答	63	2.9%	2.9%
計	2,148	100.0%	

◆豊見城市の「まちづくりのための土地利用(土地の使い方)」についてお聞きます

問11 あなたがお住まいの周辺の土地・建物の現状について、どのように感じますか？

※それぞれの項目について、あてはまる評価1つずつに○印

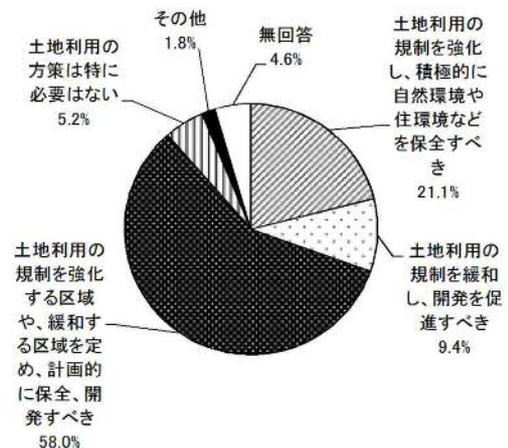
項目	そう思う	少しそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	無回答	計
1. 農地や樹木など、身近な緑が減ってきた	337	313	314	88	53	62	1,167
2. 管理されていない農地や空き地が増えてきた	132	266	448	174	85	61	1,166
3. 周りに空き屋や廃屋が目立ってきた	49	117	479	377	72	71	1,165
4. 住宅地のまわりに倉庫や工場などがあり、住環境に影響を及ぼしている	36	83	484	430	63	69	1,165
5. 周りの街並み(自然、集落など)に調和しない建物が建ってきた	65	151	521	303	59	67	1,166



問12 望ましい土地利用を実現するためには、土地の使い方に関する様々な制限やルールを定めることが重要です。これからの豊見城市の「土地利用の方策」について、どのようなことが必要とお考えですか。※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 土地利用の規制を強化し、積極的に自然環境や住環境などを保全すべき	245	21.1%
2. 土地利用の規制を緩和し、開発を促進すべき	109	9.4%
3. 土地利用の規制を強化する区域や、緩和する区域を定め、計画的に保全、開発すべき	675	58.0%
4. 土地利用の方策は特に必要はない	60	5.2%
5. その他	21	1.8%
無回答	53	4.6%
計	1,163	100.0%

複数回答による集計除外4名

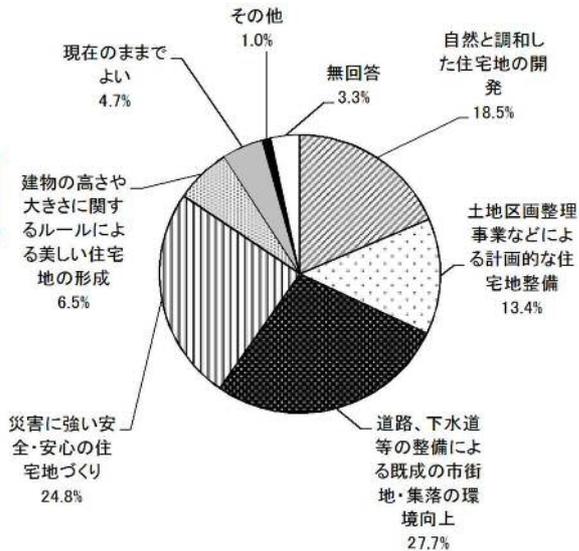


問13 「豊見城市」の将来の土地利用について、何が重要だと思いますか？
以下に示すそれぞれの分野ごとにお答えください。※それぞれ1つに○印

【住宅地の土地利用について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 自然と調和した住宅地の開発	215	18.5%
2. 土地区画整理事業などによる計画的な住宅地整備	156	13.4%
3. 道路、下水道等の整備による既成の市街地・集落の環境向上	321	27.7%
4. 災害に強い安全・安心の住宅地づくり	288	24.8%
5. 建物の高さや大きさに関するルールによる美しい住宅地の形成	75	6.5%
6. 現在のままでよい	55	4.7%
7. その他	12	1.0%
無回答	38	3.3%
計	1,160	100.0%

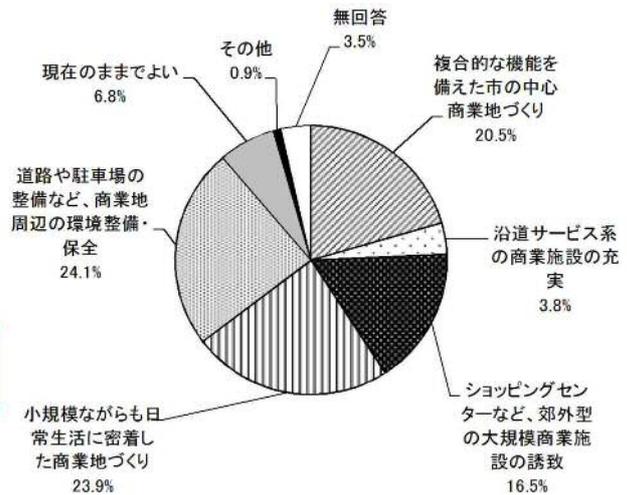
複数回答による集計除外7名



【商業地の土地利用について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 複合的な機能を備えた市の中心商業地づくり	239	20.5%
2. 沿道サービス系の商業施設の充実	44	3.8%
3. ショッピングセンターなど、郊外型の大規模商業施設の誘致	192	16.5%
4. 小規模ながらも日常生活に密着した商業地づくり	278	23.9%
5. 道路や駐車場の整備など、商業地周辺の環境整備・保全	280	24.1%
6. 現在のままでよい	79	6.8%
7. その他	11	0.9%
無回答	41	3.5%
計	1,164	100.0%

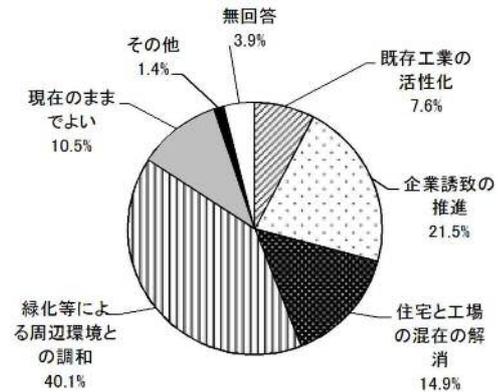
複数回答による集計除外3名



【工業地の土地利用について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 既存工業の活性化	89	7.6%
2. 企業誘致の推進	251	21.5%
3. 住宅と工場の混在の解消	174	14.9%
4. 緑化等による周辺環境との調和	468	40.1%
5. 現在のままでよい	123	10.5%
6. その他	16	1.4%
無回答	45	3.9%
計	1,166	100.0%

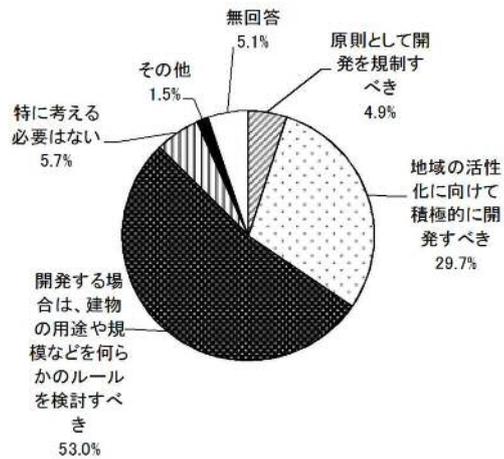
複数回答による集計除外1名



【幹線道路の沿道の土地利用について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 原則として開発を規制すべき	57	4.9%
2. 地域の活性化に向けて積極的に開発すべき	346	29.7%
3. 開発する場合は、建物の用途や規模などを何らかのルールを検討すべき	618	53.0%
4. 特に考える必要はない	67	5.7%
5. その他	18	1.5%
無回答	60	5.1%
計	1,166	100.0%

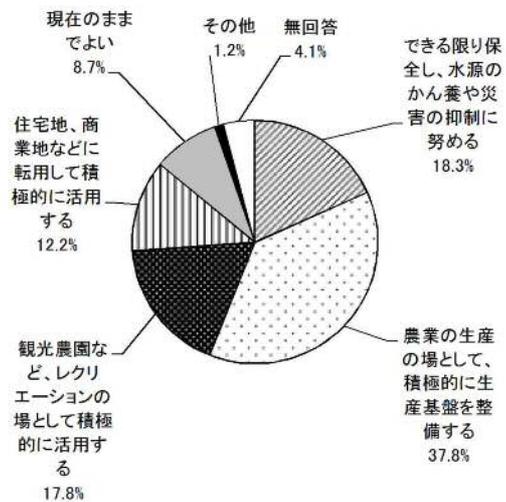
複数回答による集計除外1名



【農地の土地利用について】※1つに○印

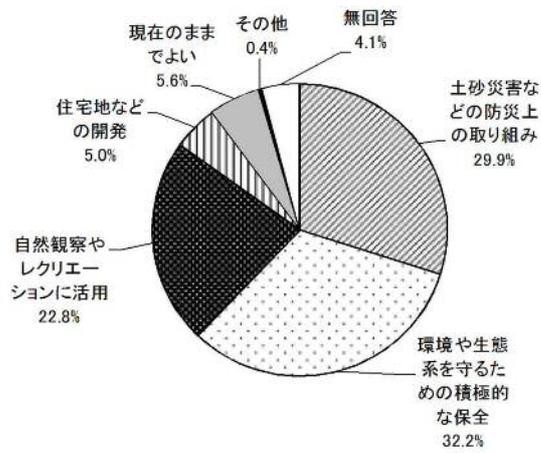
選択肢	件数	比率
1. できる限り保全し、水源のかん養や災害の抑制に努める	213	18.3%
2. 農業の生産の場として、積極的に生産基盤を整備する	440	37.8%
3. 観光農園など、レクリエーションの場として積極的に活用する	207	17.8%
4. 住宅地、商業地などに転用して積極的に活用する	142	12.2%
5. 現在のままでよい	101	8.7%
6. その他	14	1.2%
無回答	48	4.1%
計	1,165	100.0%

複数回答による集計除外2名



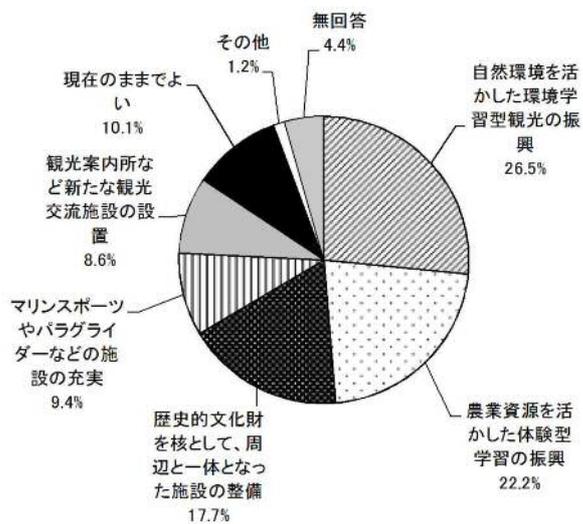
【森林・自然地の土地利用について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 土砂災害などの防災上の取り組み	349	29.9%
2. 環境や生態系を守るための積極的な保全	376	32.2%
3. 自然観察やレクリエーションに活用	266	22.8%
4. 住宅地などの開発	58	5.0%
5. 現在のままでよい	65	5.6%
6. その他	5	0.4%
無回答	48	4.1%
計	1,167	100.0%



【観光・レクリエーションの土地利用について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 自然環境を活かした環境学習型観光の振興	309	26.5%
2. 農業資源を活かした体験型学習の振興	258	22.2%
3. 歴史的文化財を核として、周辺と一体となった施設の整備	206	17.7%
4. マリンスポーツやパラグライダーなどの施設の充実	109	9.4%
5. 観光案内所など新たな観光交流施設の設定	100	8.6%
6. 現在のままでよい	117	10.1%
7. その他	14	1.2%
無回答	51	4.4%
計	1,164	100.0%



複数回答による集計除外3名

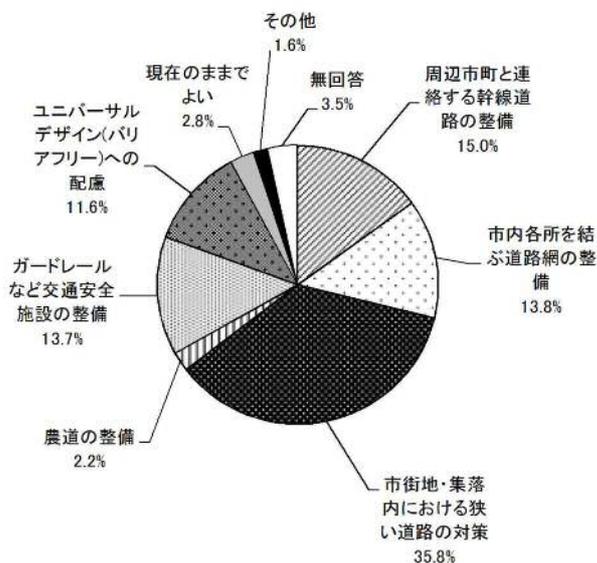
問14 これからの「豊見城市」のまちづくりについて、何が重要だと感じますか？

次に示す分野ごとにお答えください。※それぞれ1つに○印

【道路について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 周辺市町と連絡する幹線道路の整備	174	15.0%
2. 市内各所を結ぶ道路網の整備	160	13.8%
3. 市街地・集落内における狭い道路の対策	414	35.8%
4. 農道の整備	26	2.2%
5. ガードレールなど交通安全施設の整備	159	13.7%
6. ユニバーサルデザイン(バリアフリー)への配慮	134	11.6%
7. 現在のままでよい	32	2.8%
8. その他	19	1.6%
無回答	40	3.5%
計	1,158	100.0%

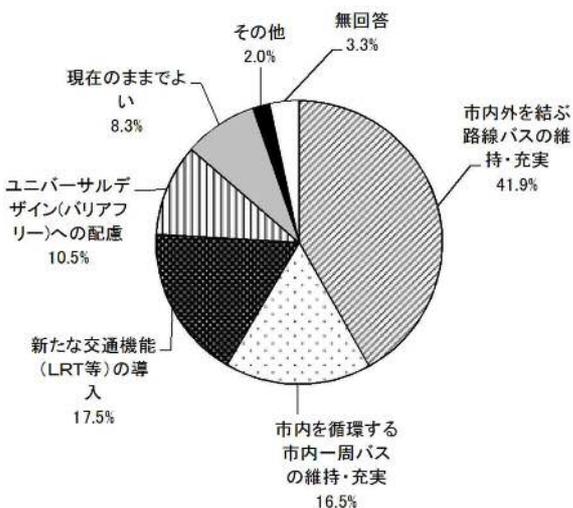
複数回答による集計除外9名



【公共交通について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 市内外を結ぶ路線バスの維持・充実	487	41.9%
2. 市内を循環する市内一周バスの維持・充実	192	16.5%
3. 新たな交通機能(LRT等)の導入	204	17.5%
4. ユニバーサルデザイン(バリアフリー)への配慮	122	10.5%
5. 現在のままでよい	97	8.3%
6. その他	23	2.0%
無回答	38	3.3%
計	1,163	100.0%

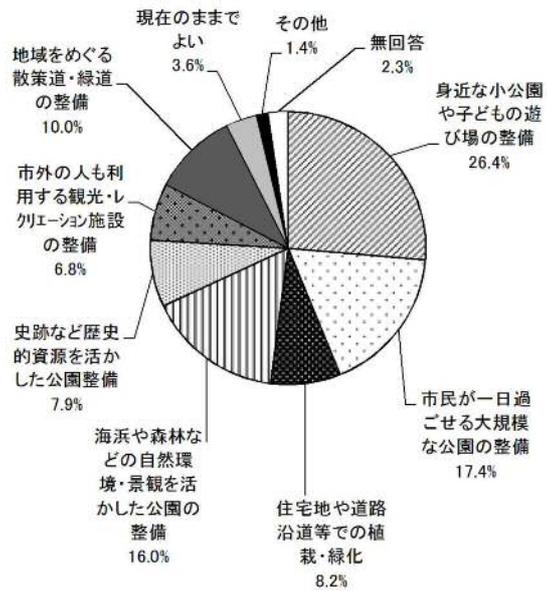
複数回答による集計除外4名



【公園・緑地について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 身近な小公園や子どもの遊び場の整備	307	26.4%
2. 市民が一日過ごせる大規模な公園の整備	203	17.4%
3. 住宅地や道路沿道等での植栽・緑化	96	8.2%
4. 海浜や森林などの自然環境・景観を活かした公園の整備	186	16.0%
5. 史跡など歴史的資源を活かした公園整備	92	7.9%
6. 市外の人も利用する観光・レクリエーション施設の整備	79	6.8%
7. 地域をめぐる散策道・緑道の整備	116	10.0%
8. 現在のままでよい	42	3.6%
9. その他	16	1.4%
無回答	27	2.3%
計	1,164	100.0%

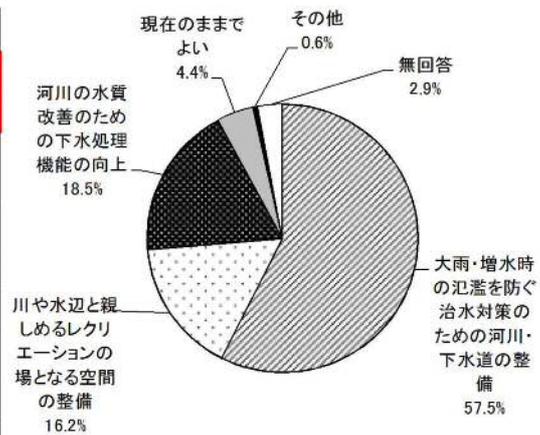
複数回答による集計除外3名



【河川・下水道の整備について】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 大雨・増水時の氾濫を防ぐ治水対策のための河川・下水道の整備	669	57.5%
2. 川や水辺と親しめるレクリエーションの場となる空間の整備	188	16.2%
3. 河川の水質改善のための下水処理機能の向上	215	18.5%
4. 現在のままでよい	51	4.4%
5. その他	7	0.6%
無回答	34	2.9%
計	1,164	100.0%

複数回答による集計除外3名



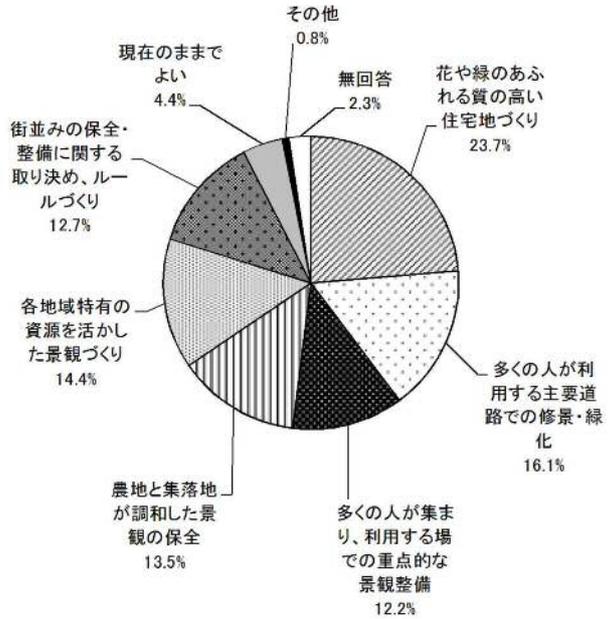
◆これからの「豊見城市」の自然や景観、安全・安心についてお聞きます

問15 「豊見城市」の街並みや景観づくりについて、何が重要だと感じますか？

※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 花や緑のあふれる質の高い住宅地づくり	275	23.7%
2. 多くの人が利用する主要道路での修景・緑化	187	16.1%
3. 多くの人が集まり、利用する場での重点的な景観整備	142	12.2%
4. 農地と集落地が調和した景観の保全	157	13.5%
5. 各地域特有の資源を活かした景観づくり	167	14.4%
6. 街並みの保全・整備に関する取り決め、ルールづくり	147	12.7%
7. 現在のままでよい	51	4.4%
8. その他	9	0.8%
無回答	27	2.3%
計	1,162	100.0%

複数回答による集計除外5名



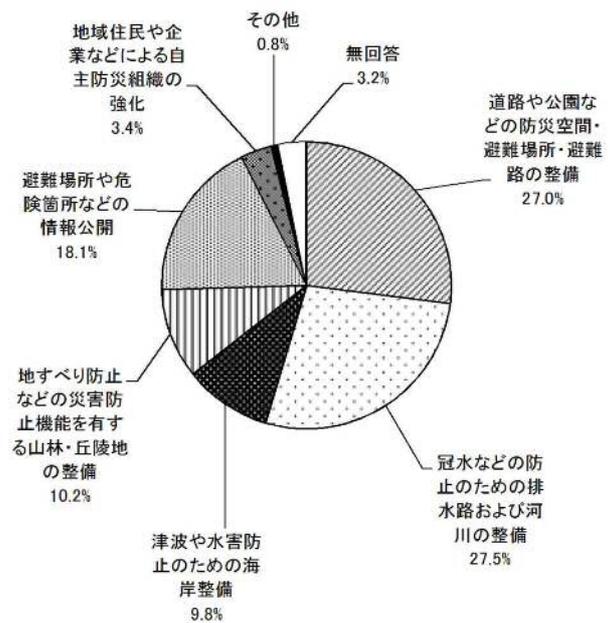
問16 「豊見城市」の安全・安心の確保について、何が重要だと感じますか？

次に示すそれぞれの分野ごとにお答えください。※1つに○印

【災害に強いまちづくりについて】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 道路や公園などの防災空間・避難場所・避難路の整備	314	27.0%
2. 冠水などの防止のための排水路および河川の整備	320	27.5%
3. 津波や水害防止のための海岸整備	114	9.8%
4. 地すべり防止などの災害防止機能を有する山林・丘陵地の整備	118	10.2%
5. 避難場所や危険箇所などの情報公開	210	18.1%
6. 地域住民や企業などによる自主防災組織の強化	40	3.4%
7. その他	9	0.8%
無回答	37	3.2%
計	1,162	100.0%

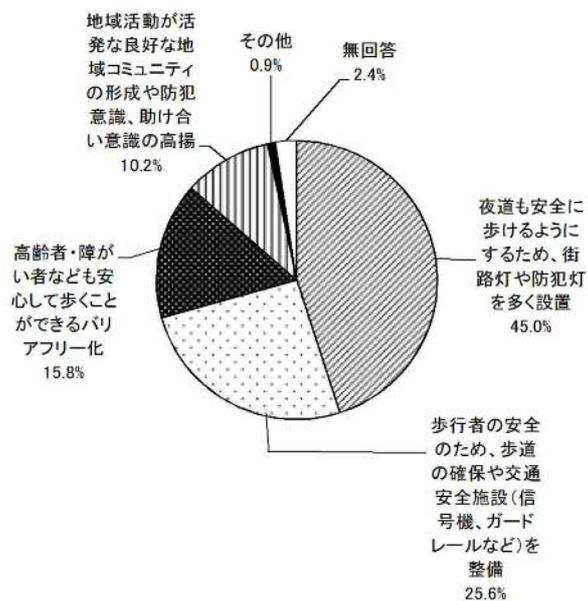
複数回答による集計除外5名



【防犯などについて】※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 夜道も安全に歩けるようにするため、街路灯や防犯灯を多く設置	523	45.0%
2. 歩行者の安全のため、歩道の確保や交通安全施設(信号機、ガードレールなど)を整備	297	25.6%
3. 高齢者・障がい者なども安心して歩くことができるバリアフリー化	184	15.8%
4. 地域活動が活発な良好な地域コミュニティの形成や防犯意識、助け合い意識の高揚	118	10.2%
5. その他	11	0.9%
無回答	28	2.4%
計	1,161	100.0%

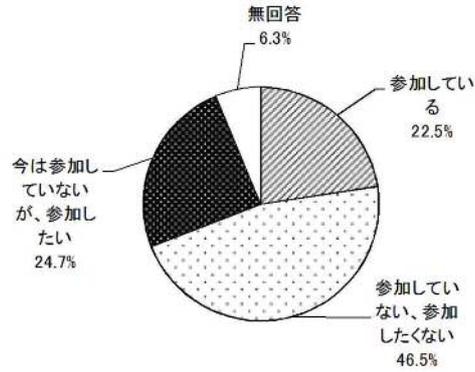
複数回答による集計除外6名



問17 あなたは現在、何らかの地域活動に参加していますか？

参加希望、現在の参加状況についてお答えください。※1つに○印

選択肢	件数	比率
1. 参加している	263	22.5%
2. 参加していない、参加したくない	543	46.5%
3. 今は参加していないが、参加したい	288	24.7%
無回答	73	6.3%
計	1,167	100.0%



【具体的な活動内容】

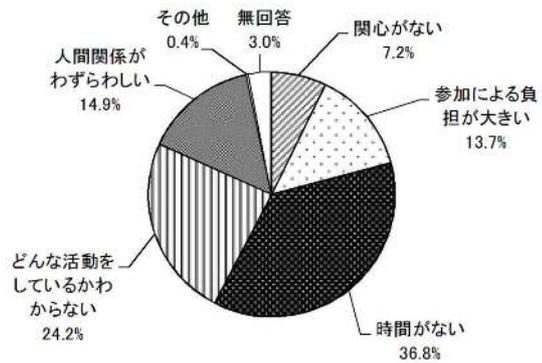
回答 457人

【参加していない、参加したくない】とお答えになった方は、参加したくない理由をお答えください。

※1つに○印

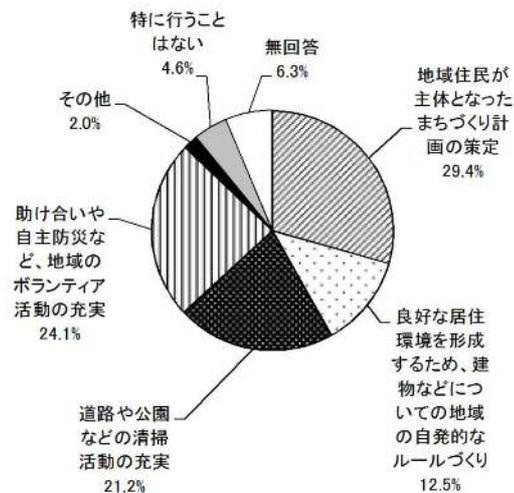
「参加していない、参加したくない」・・・ 543人

選択肢	件数	比率
1. 関心がない	41	7.2%
2. 参加による負担が大きい	78	13.7%
3. 時間がない	210	36.8%
4. どんな活動をしているかわからない	138	24.2%
5. 人間関係がわずらわしい	85	14.9%
6. その他	2	0.4%
無回答	17	3.0%
計	571	100.0%



問18 今後まちづくりに住民はどのような方法で関わっていく(協働)ことが望ましいと思いますか。

選択肢	件数	比率
1. 地域住民が主体となったまちづくり計画の策定	342	29.4%
2. 良好な居住環境を形成するため、建物などについての地域の自発的なルールづくり	145	12.5%
3. 道路や公園などの清掃活動の充実	246	21.2%
4. 助け合いや自主防災など、地域のボランティア活動の充実	280	24.1%
5. その他	23	2.0%
6. 特に行うことはない	53	4.6%
無回答	73	6.3%
計	1,162	100.0%



複数回答による集計除外5名

問19 あなたが考えるまちづくりのアイデアや、これからのまちづくりで重要だと思う方策

回答 335 人

問20 自由意見欄

回答 272 人

豊見城市からアンケートのお願い ～まちづくりに関する市民意識調査～

日頃より、市政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

豊見城市では、「豊見城市都市計画マスタープラン」の改定作業を進めています。この計画は、豊見城市の将来のまちづくりに関する基本方針を示し、今後のまちづくりの指針としていくものです。

計画の改定にあたり、市民の皆様から市の現状についての意見や「将来こんなまちになったらいい」など様々なご意見をお伺いし計画に反映させるために、今回、アンケート調査を実施することになりました。

今回、本状を送付した方々は、市内にお住まいの18歳以上の市民の皆様の中から無作為に選ばせていただきました。アンケート調査は無記名です。また、その結果については、統計的に処理し目的以外には使用しませんので、皆様にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

平成26年9月
豊見城市（都市計画部 都市計画課）

ご記入にあたってのお願い

- 宛名のご本人が記入してください。（ご本人が記入できない場合は、ご家族の方が記入していただいても結構です）
- 設問に沿って、あなたのお考えに近い選択肢に○印をつけてください。
設問によってお答えいただく数が一つの場合と複数の場合とがありますので、ご注意ください。



- ご記入後、同封の「返送用封筒」に入れ、切手を貼らずに**9月29日(月)までに郵便ポスト**に投函してください。
(なお、返送用封筒のバーコードは郵便料金を支払うためのもので、個人を特定するものではありません)

アンケートに関するお問合せ

豊見城市役所 都市計画部 都市計画課 都市計画係 電話：098-850-5332（直通）

◆あなたご自身のことについて、お聞きします

問1 あなたの年齢は、次のうちどれですか？ ※1つに○印

1. 20歳未満 2. 20～29歳 3. 30～39歳
4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上

問2 あなたの性別は、次のうちどれですか？ ※1つに○印

1. 男性 2. 女性

問3 あなたの世帯構成は、次のうちどれですか？ ※1つに○印

1. 一人暮らし 2. 夫婦世帯
3. 子どもと同居 4. 親と同居
5. 三世代又はそれ以上の世帯 6. その他【 】

問4 あなたがお住まいの地域は、次のうちどれですか？ ※1つに○印

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 豊見城 | 2. 宜保 | 3. 我那覇 |
| 4. 名嘉地 | 5. 田頭 | 6. 瀬長 |
| 7. 与根 | 8. 伊良波 | 9. 座安 |
| 10. 渡橋名 | 11. 上田 | 12. 渡嘉敷 |
| 13. 翁長 | 14. 保栄茂 | 15. 高嶺 |
| 16. 平良 | 17. 高安 | 18. 饒波 |
| 19. 金良 | 20. 長堂 | 21. 嘉数 |
| 22. 真玉橋 | 23. 根差部 | 24. 豊崎 |

問5 あなたの職業は、次のうちどれですか？

※1つに○印

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 農林業 | 2. 水産業 |
| 3. 自営業（商工・サービス業など） | 4. 自由業（医師・会計士・芸術家など） |
| 5. 会社員・会社役員 | 6. 公務員・公共企業体 |
| 7. 医療・社会福祉 | 8. 学生 |
| 9. パート・アルバイト | 10. 専業主婦・専業主夫 |
| 11. 家事手伝い | 12. 無職 |
| 13. その他【 | 】 |

問6 あなたの交通手段は、次のうちどれですか？

※1つに○印

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 自分で運転する車 | 2. 家族等が運転する車 |
| 3. バイク | 4. 路線バス |
| 5. 施設送迎バス | 6. タクシー |
| 7. 自転車 | 8. 徒歩 |
| 9. その他【 | 】 |

問7 あなたは豊見城市にいつから住んでいますか？

※1つに○印

- | | |
|------------------------|---|
| 1. ずっと住んでいる | |
| 2. 転入してきた | |
| 3. 市外に転出したことがあるが、戻ってきた | |
| 4. その他【 | 】 |

◆現在の「豊見城市」についてお聞きます

問8 あなたがお住まいの地域のまちづくりについてどう思いますか？
 ※それぞれの項目について、該当する「現状の満足度」、「今後の重要度」1つずつ〇印

項目	現状の満足度					今後の重要度					
	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	
記入例) ○○について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
住宅地・市街地	①住環境の快適さ (日照、静寂さ、敷地や住居の広さ)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	②日常の買い物のしやすさ (近くにある、まとまっている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	③就業の場の充実度 (やりたい仕事がある)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	④こどもの遊び場や公園の充実度	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
道路・交通	⑤周辺都市や地域をつなぐ幹線道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑥地域の生活道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑦公共交通(バス)の利用しやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
安全・安心	⑧地震や風水害などの対策の充実度 (河川・下水道の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑨安全な避難路や避難場所のわかりやすさや充実度	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑩防犯灯の整備や夜道の安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

⇒次ページへつづく

項目	現状の満足度					今後の重要度					
	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	
記入例) ○○について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
環境・景観	⑪良好な景観の保全・形成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑫騒音や悪臭などの環境対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
その他	⑬レジャー・スポーツ施設の充実度	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑭教育施設の充実度	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑮医療・福祉施設の充実度	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑯地域コミュニティの充実度	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

◆豊見城市の「まちづくりのための土地利用(土地の使い方)」についてお聞きします

問 11 あなたがお住まいの周辺の土地・建物の現状についてどのように感じますか？

※次のそれぞれの項目について、あてはまる評価 1 つずつに〇印

項 目	そう思う	少しそう 思う	あまり思 わない	思わない	わからない
1) 農地や樹木など、身近な緑が減ってきた	1	2	3	4	5
2) 管理されていない農地や空き地が増えてきた	1	2	3	4	5
3) 周りに空き屋や廃屋が目立ってきた	1	2	3	4	5
4) 住宅地のまわりに倉庫や工場などがあり、住環境に影響を及ぼしている	1	2	3	4	5
5) 周りの街並み(自然、集落など)に調和しない建物が建ってきた	1	2	3	4	5

問 12 望ましい土地利用を実現するためには、土地の使い方に関する様々な制限やルールを定めることが重要です。これからの豊見城市の「土地利用の方策」について、どのようなことが必要とお考えですか。 ※ 1 つに〇印

1. 土地利用の規制を強化し、積極的に自然環境や住環境などを保全すべき
2. 土地利用の規制を緩和し、開発を促進すべき
3. 土地利用の規制を強化する区域や、緩和する区域を定め、計画的に保全、開発すべき
4. 土地利用の方策は特に必要はない
5. その他【 】

問 13 「豊見城市」の将来の土地利用について、何が重要だと思いますか？

以下に示すそれぞれの分野ごとにお答えください。 ※それぞれ 1 つに〇印

【“住宅地”の土地利用について】 ※ 1 つに〇印

1. 自然と調和した住宅地の開発
2. 土地区画整理事業などによる計画的な住宅地整備
3. 道路、下水道等の整備による既成の市街地・集落の環境向上
4. 災害に強い安全・安心の住宅地づくり
5. 建物の高さや大きさに関するルールによる美しい住宅地の形成
6. 現在のままでよい
7. その他【 】

【“商業地”の土地利用について】 ※1つに○印

1. 複合的な機能を備えた市の中心商業地づくり
2. 沿道サービス系の商業施設の充実
3. ショッピングセンターなど、郊外型の大規模商業施設の誘致
4. 小規模ながらも日常生活に密着した商業地づくり
5. 道路や駐車場の整備など、商業地周辺の環境整備・保全
6. 現在のままでよい
7. その他【 】

【“工業地”の土地利用について】 ※1つに○印

1. 既存工業の活性化
2. 企業誘致の推進
3. 住宅と工場の混在の解消
4. 緑化等による周辺環境との調和
5. 現在のままでよい
6. その他【 】

【“幹線道路の沿道”の土地利用について】 ※1つに○印

1. 原則として開発を規制すべき
2. 地域の活性化に向けて積極的に開発すべき
3. 開発する場合は、建物の用途や規模など何らかのルールを検討すべき
4. 特に考える必要はない
5. その他【 】

【“農地”の土地利用について】 ※1つに○印

1. できる限り保全し、水源のかん養や災害の抑制に努める
2. 農業の生産の場として、積極的に生産基盤を整備する
3. 観光農園など、レクリエーションの場として積極的に活用する
4. 住宅地、商業地などに転用して積極的に活用する
5. 現在のままでよい
6. その他【 】

【“公園・緑地”について】 ※1つに○印

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. 身近な小公園や子どもの遊び場の整備 | 2. 市民が一日過ごせる大規模な公園の整備 |
| 3. 住宅地や道路沿道等での植栽・緑化 | 4. 海浜や森林などの自然環境・景観を活かした公園の整備 |
| 5. 史跡など歴史的資源を活かした公園整備 | 6. 市外の人も利用する観光・レクリエーション施設の整備 |
| 7. 地域をめぐる散策道・緑道の整備 | 8. 現在のままでよい |
| 9. その他【 | 】 |

【“河川・下水道”の整備について】 ※1つに○印

1. 大雨・増水時の氾濫を防ぐ治水対策のための河川・下水道の整備
2. 川や水辺と親しめるレクリエーションの場となる空間の整備
3. 河川の水質改善のための下水処理機能の向上
4. 現在のままでよい
5. その他【

◆これからの「豊見城市」の自然や景観、安全・安心についてお聞きします

問15 「豊見城市」の街並みや景観づくりについて、何が重要だと感じますか？

※1つに○印

1. 花や緑のあふれる質の高い住宅地づくり
2. 多くの人利用する主要道路での修景・緑化
3. 多くの人集まり、利用する場での重点的な景観整備
4. 農地と集落地が調和した景観の保全
5. 各地域特有の資源を活かした景観づくり
6. 街並みの保全・整備に関する取り決め、ルールづくり
7. 現在のままでよい
8. その他【

問 16 「豊見城市」の安全・安心の確保について、何が重要だと感じますか？
次に示すそれぞれの分野ごとにお答えください。 ※1つに〇印

【“災害に強いまちづくり”について】 ※1つに〇印

1. 道路や公園などの防災空間・避難場所・避難路の整備
2. 冠水などの防止のための排水路および河川の整備
3. 津波や水害防止のための海岸整備
4. 地すべり防止などの災害防止機能を有する山林・丘陵地の整備
5. 避難場所や危険箇所などの情報公開
6. 地域住民や企業などによる自主防災組織の強化
7. その他【 】

【“防犯など”について】 ※1つに〇印

1. 夜道も安全に歩けるようにするため、街路灯や防犯灯を多く設置
2. 歩行者の安全のため、歩道の確保や交通安全施設（信号機、ガードレールなど）を整備
3. 高齢者・障がい者なども安心して歩くことができるバリアフリー化
4. 地域活動が活発な良好な地域コミュニティの形成や防犯意識、助け合い意識の高揚
5. その他【 】

◆市民や地域が主体となったまちづくりについてお聞きします

問 17 あなたは現在、何らかの地域活動に参加していますか？
参加希望、現在の参加状況についてお答えください。 ※1つに〇印

1. 参加している ⇒①へ
2. 参加していない、参加したくない ⇒②へ
3. 今は参加していないが、参加したい ⇒①へ



①【1.参加している、3.参加したい】とお答えになった方は、具体的な活動内容をご記入ください。

記入例：自治会活動、道路や公園の清掃ボランティア活動、学校での読み聞かせボランティア活動 など

巻末－２ 有識者ヒアリング結果

有識者	意見の要旨
琉球大学 教授 安藤 徹哉 氏	①ライフスタイル提案型の都市マス ・ソフトの目標を掲げて、なぜハード整備を行うのか（整備の目的）が住民にとって分かりやすい計画とすべき
専門分野： 都市計画	②沖縄住みたいまち No. 1 ・那覇市のベッドタウンではなく、豊見城市のブランド化を図るべき（生活の質の向上）
	③まちづくりのテーマ（イメージ戦略）を定める ・子育て環境が充実したまち →ゆとりある子育て世代の転入・定住促進（教育分野の強化：児童園の誘致等）。若者にターゲットを絞り込み、豊見城市を選択する動機付けを図る ・センスの良いまち（＝車を使わないまち） →公共交通の整備（モノレール延伸がベスト）＋質の高い景観。公共交通指向型開発（TOD）が有効 →自転車・歩行者空間の整備（豊崎等でペDESTリアンモール整備） →高級住宅地の形成（敷地規模の大きい住宅地） →瀬長島は景観モデル地区 ・生涯現役のまち →文化：国際空手会館を国際観光拠点とする。具体的には21世紀型赤瓦を使用（伝統と現代の融合）。経済的にゆとりのある外国人観光客のための宿泊施設など →食事：地域農業の振興、野菜流通拠点の形成、食品加工業の誘致

有識者	意見の要旨
琉球大学 名誉教授 上間 清 氏 専門分野： 都市交通	①広域的な視点について ・本市の立地、文化、自然等の優位性を活かし、他市町との差別化を図るべき →これからは各自治体の競争となる
	②沿岸地域の発展について ・沿岸地域は市の発展を牽引する地域とすべき。また、国道 331 号沿道は計画的に市街化すべき ・逆に、旧市街地の特性を考慮し、新たなエリア（沿岸地域）との違いを生み出すべき（オールドタウン、ニュータウン） ・新庁舎はまちの顔として重要であり、シビックセンターとして考えるべき →単純な行政機能としてではなく、空間デザインの充実を図るべき
	③県全体の発展について ・沖縄県全体で 1,000 万人の観光客を目標としている。この観光客を豊見城市に呼び込む ・臨空港、那覇市・糸満市との隣接を活かす
	④交通ネットワークについて ・都市幹線道路が必要（東西軸、北へのアクセスが必要） ・空港への定時アクセスの導入（モノレールがよい、鉄道は道路への影響大） ・交通の位置づけは重要（定時性のある公共交通は都市構造の考え方に盛り込む）
	⑤アメニティの充実 ・良好な景観の形成として、道路美観等を取り入れるべき
	⑥その他 ・感覚的に、H32 将来人口 70,000 人は少ないように感じる

有識者	意見の要旨
<p>沖縄国際大学 理事長・学長 大城 保 氏</p> <p>専門分野： 都市経済</p>	<p>①住民の息遣いが感じられるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市＝人が住む場所であることから、「人がより快適に生活する（安心・安全を感じられる）ための都市づくり」を考えるべき ・コミュニティの再生（小学校区単位等）が都市づくりにとって重要。 ・ソフトを活かすためのハード整備となるような計画とすべき
	<p>②多様なまちづくりのテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりのテーマはもっと多くても良い ・都市構造の拠点や軸の形成に結び付くようなテーマを設定すべき
	<p>③広域的なまちづくりの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内、県内のみならず、全国内、海外（アジア圏）を視野にいれた都市づくり ・全国の中の沖縄の良さ、県内での豊見城市の良さ（地理的優位性等）を活かした都市づくり
	<p>④交通網について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内のどこに住んでいても便利に移動ができる交通網 ・円滑な交通のためにはボトルネックをつくらぬ道路整備が必要 ・安全な通学路、防災面に優れた避難路など
	<p>⑤独自性のあるマスタープラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他都市にない独自性のあるマスタープラン ・将来の変化の見通しを立てた計画づくり